

令和 6 年度

阿賀野市まちづくり報告書

(阿賀野市総合計画進捗状況報告)



令和 7 年 10 月

阿賀野市

目次

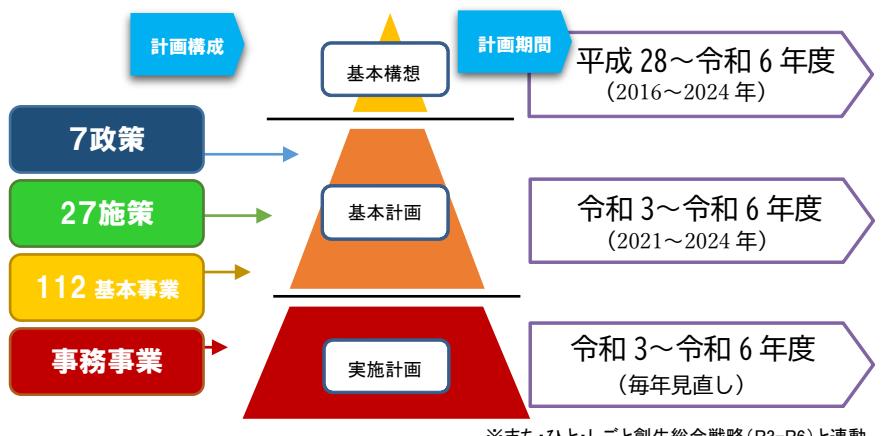
1. はじめに	1
(1) 阿賀野市総合計画の概要	1
(2) 行政評価と阿賀野市まちづくり報告書	1
2. 総合計画の体系図.....	2
3. まちづくりの進捗状況	3
(1) 成果指標の動き	3
(2) 成果指標の動き（基本事業・政策別）	4
(3) 成果指標の目標達成度	7
(4) 成果指標の目標達成度（基本事業・政策別）	8
4. まちづくりアンケートの結果	11
(1) まちづくりアンケートの実施方法等	11
(2) アンケートの信頼性について	11
5. 施策・基本事業評価結果.....	12
評価結果の見方	12
政策 1 安全・安心な暮らしの実現	13
政策 2 子どもの育成支援の充実	39
政策 3 高齢者や障がい者福祉の充実	51
政策 4 地域経済の活性化	59
政策 5 生活に密着した住環境整備の促進	70
政策 6 市民協働の推進	92
政策 7 信頼される行政経営	107
参 考 第2期阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略における横断的目標	117

1. はじめに

(1) 阿賀野市総合計画の概要

阿賀野市総合計画（以下「総合計画」と表記します。）は、阿賀野市の目指す姿を定めたまちづくりの指針となるもので、それに向かって行うべき政策及び施策を体系化した、本市における最上位計画です。

総合計画では、本市の目指す将来の都市像を「元気で明るく活力のある魅力的なまち」とし、地勢（地理的位置づけ）やまちの発展過程等を踏まえたまちづくりの方向性を示す基本構想を定めています。さらに、将来の都市像を実現するため、7つの政策を掲げ、それぞれの政策ごとに取組の方針を決めています。7つの政策の下には、27の「施策」と112の「基本事業」を位置づけ、さらに基本事業を実現する最も具体的な手段としての「事務事業」があり、総合計画の体系を構築しています。【下図及び2ページの図を参照】



年度	H28	H29	H30	H31 R元	R2	R3	R4	R5	R6
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
基本構想									
次期策定									
基本計画 2016-2020						策定	基本計画 2021-2024		
							次期策定		

(2) 行政評価と阿賀野市まちづくり報告書

総合計画では、分野別に目指す姿（目標）を定めており、成果指標というモノサシも設定しています。このモノサシによって、行政活動の成果を数値で具体的・客観的に把握し、検証と分析を行うことで次の改善策につなげる行政評価の考え方を導入したまちづくりを阿賀野市では進めています。

阿賀野市まちづくり報告書は、成果指標の動向による現在までのまちづくりの進捗状況や達成状況をまとめ、皆様にお知らせするものです。

2. 総合計画の体系図



3. まちづくりの進捗状況

施策別・基本事業別の評価は、成果指標の推移を踏まえた成果状況やその原因分析等の評価結果を階層ごとに示すものです。施策と基本事業の成果指標の動向を、「成果指標の動き」と「目標達成度」の2つの視点からとらえ、総合計画の進捗状況の全体像を示します。

(1) 成果指標の動き

阿賀野市では毎年4段階で前年度との比較を行っています。

「向上」=成果が向上しているもの

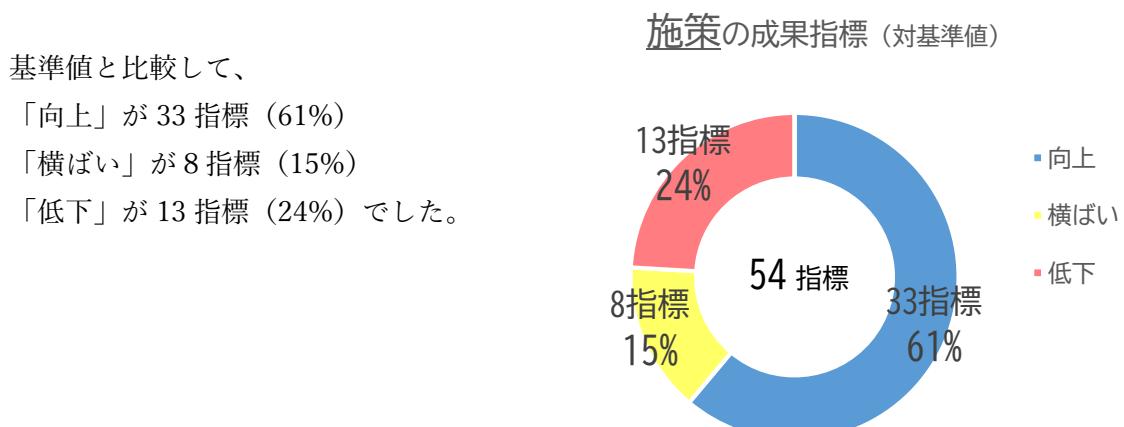
「横ばい」=成果が横ばいとなっているもの（若干の数値の動きを含む）

「低下」=成果が低下しているもの

「比較不可」=基準値を設けていないものや、個別の事情により評価が出来ないもの

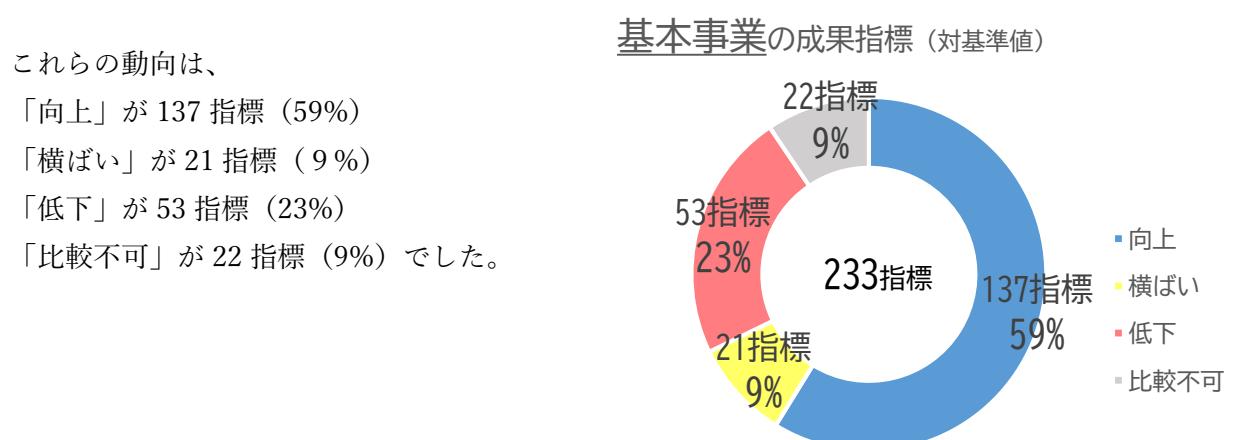
①施策の成果指標【27施策54指標】

27施策の成果として設定されている54の成果指標について、



②基本事業の成果指標【112基本事業233指標】

前述の27施策54指標を向上させるための手段として、112の基本事業が紐づけられており、この成果として233の指標が設定されています。

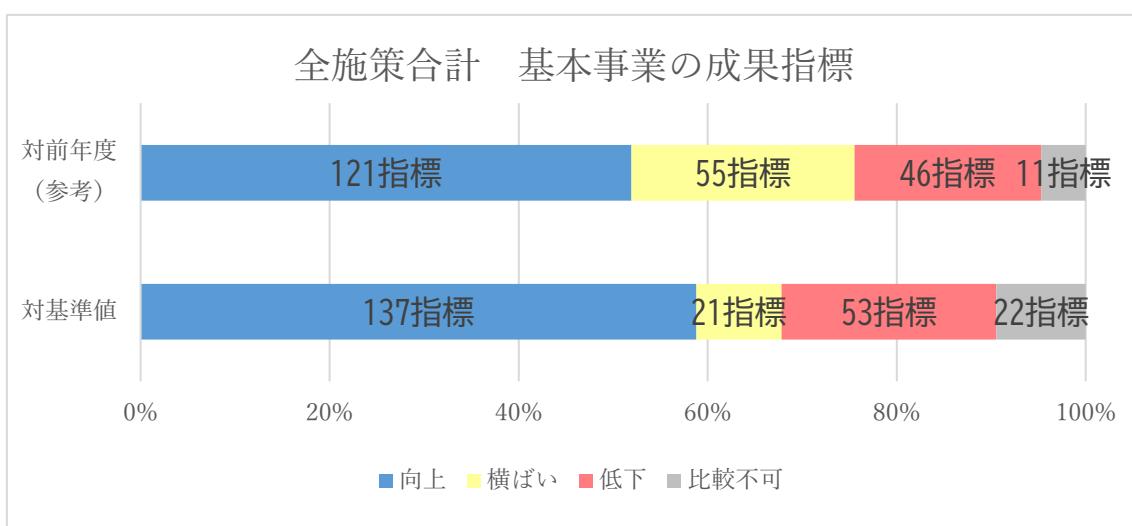


(2) 成果指標の動き（基本事業・政策別）

①全体の傾向

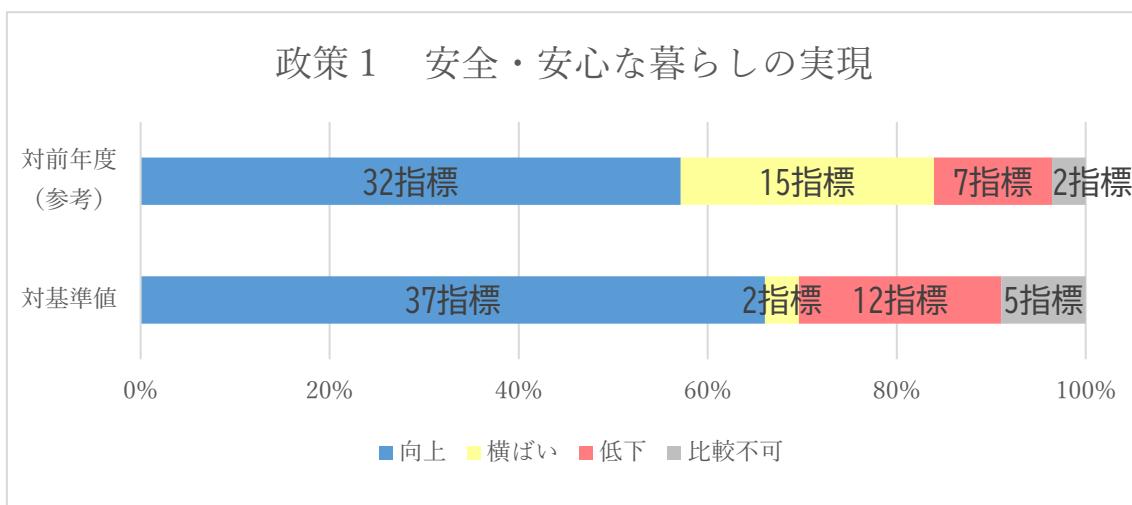
基本事業の成果指標の動きを、全政策でまとめた状況は下図のとおりです。

基準値と比較して「向上」、「横ばい」が68%を占めています。



②政策別の動向

基本事業の成果指標の動きを政策ごとにまとめた状況はそれぞれ図のとおりです。



施策1 地域医療体制の充実

➡市内の医療機関に従事する医師数

施策2 健康づくりの推進

※人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等
での死亡率

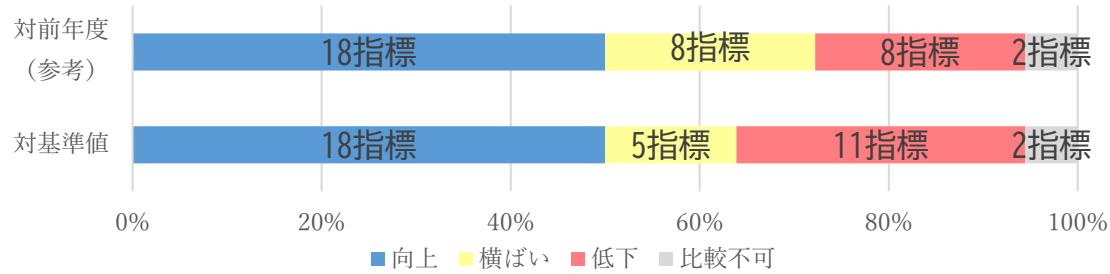
施策6 防犯対策の充実

※人口1万人当たりの犯罪発生件数

施策7 交通安全対策の推進

➡人口1万人当たりの交通事故発生件数

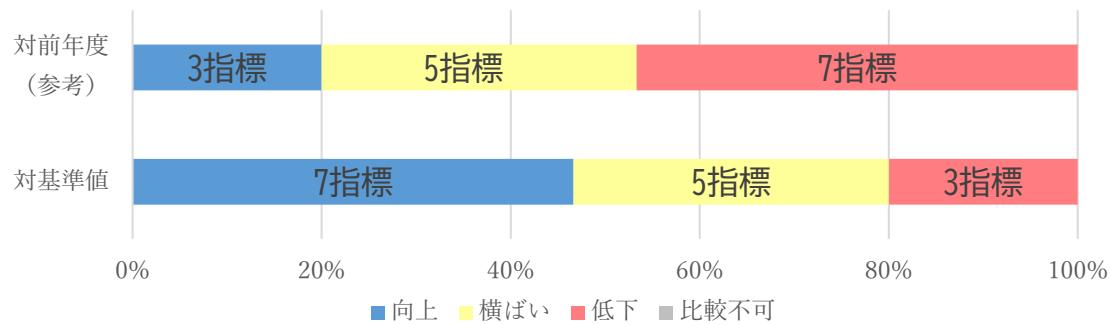
政策2 子どもの育成支援の充実



施策1 子育て環境の充実 ☀ 0歳から14歳までの人口

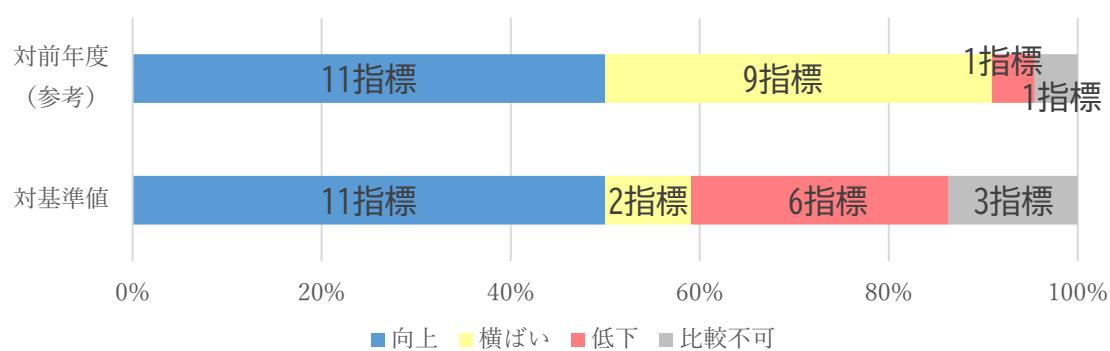
施策2 学校教育の充実 ☀ 学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合（生徒）

政策3 高齢者や障がい者福祉の充実



施策1 高齢者福祉の充実 ☀ 介護サービスの満足度

政策4 地域経済の活性化



施策1 農業の振興

⌚農業産出額（合計）

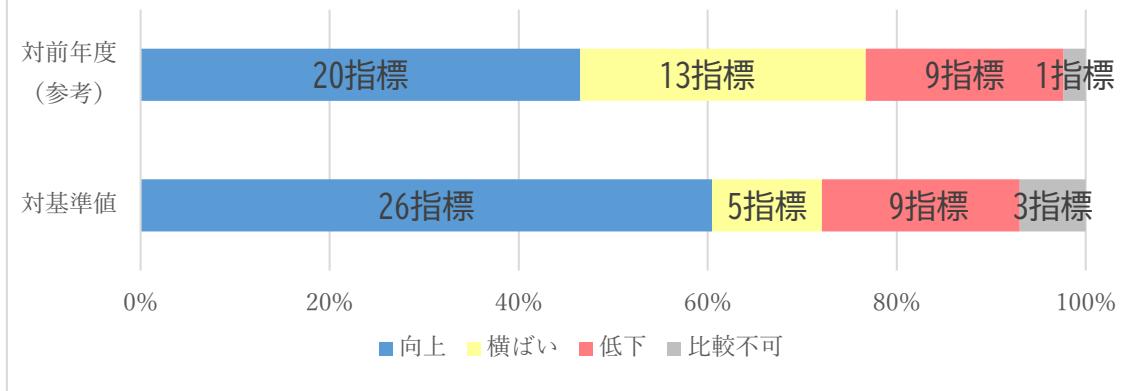
施策2 商工業の振興

⌚製造品出荷額等

施策3 観光の振興

⌚観光客入込数

政策5 生活に密着した住環境整備の促進



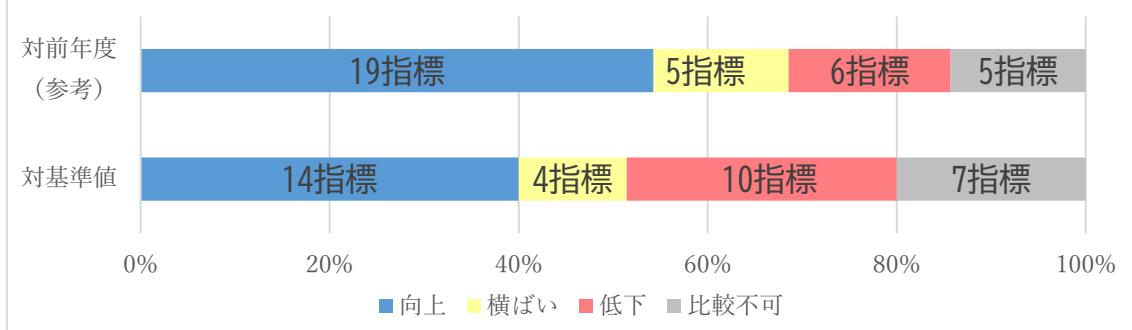
施策3 公共交通の充実

※市外移動の公共交通機関の満足度

施策7 地球環境・自然環境の保全

※部門別CO₂排出量(家庭系)

政策6 市民協働の推進



施策1 市民によるまちづくり活動の推進と支援

※コミュニティ活動に参加している市民の割合

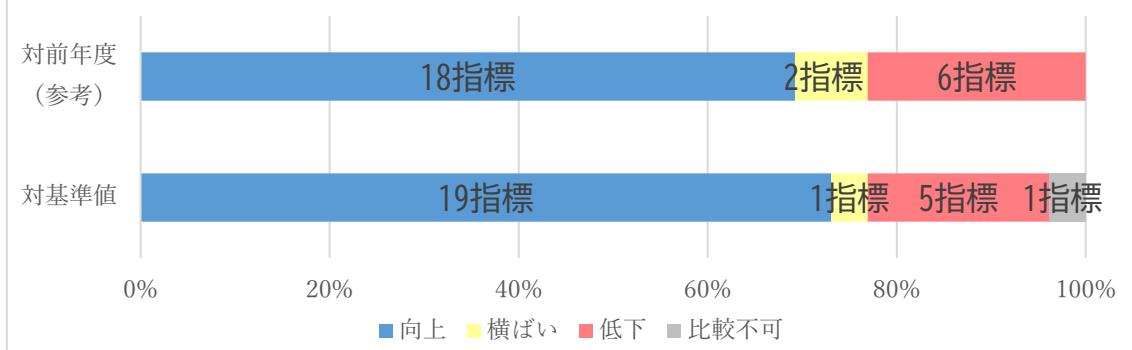
施策3 人権を尊重するひとづくり

※差別や偏見のないまちになっていると感じる市民の割合

施策4 開かれた市制の推進と効果的な情報発信

※市からの情報発信に満足している市民の割合

政策7 信頼される行政経営



施策1 行政経営の推進

※総合計画の施策成果指標の向上割合

(3) 成果指標の目標達成度

阿賀野市総合計画では、成果指標の目標値（令和 6 年度時点）を設定し、毎年 6 段階で評価を行っています。

「達成」 = 目標を達成したもの

「高」 = 目標の達成まで残りわずかなもの

「中」 = 目標に半分以上近づいているもの

「低」 = 目標の達成には努力が必要なもの

「マイナス」 = 基準値を下回るもの

「比較不可」 = 個別の事情により評価が出来ないもの

①施策の目標達成度【27 施策 54 指標】

27 施策の成果として設定されている 54 の成果指標について、

目標達成度は、

「達成」が 18 指標 (33%)

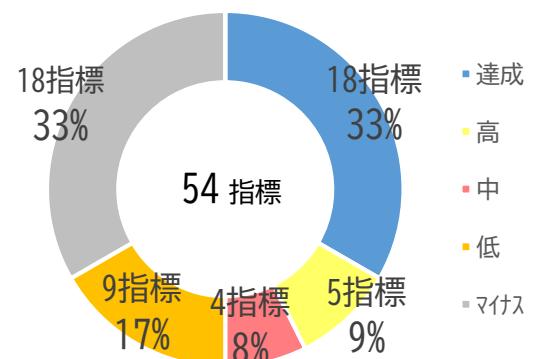
「高」が 5 指標 (9%)

「中」が 4 指標 (8%)

「低」が 9 指標 (17%)

「マイナス」が 18 指標 (33%) でした。

施策の成果指標（目標達成度）



②基本事業の目標達成度【112 基本事業 233 指標】

前述の 27 施策 54 指標を向上させるための手段として、112 の基本事業が紐づけられており、この成果として 233 の指標が設定されています。

これらの動向は、

「達成」が 89 指標 (38%)

「高」が 10 指標 (4%)

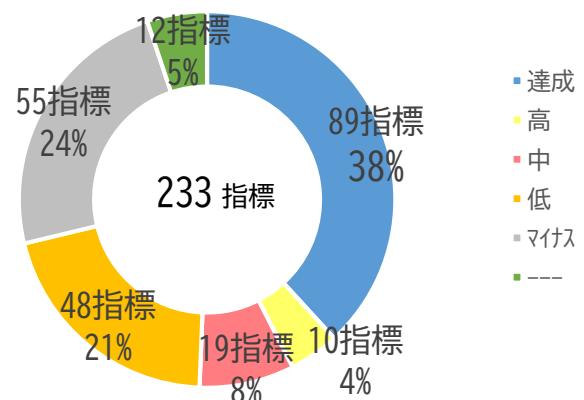
「中」が 19 指標 (8%)

「低」が 48 指標 (21%)

「マイナス」が 55 指標 (24%)

「比較不可」は 12 指標 (5%) でした。

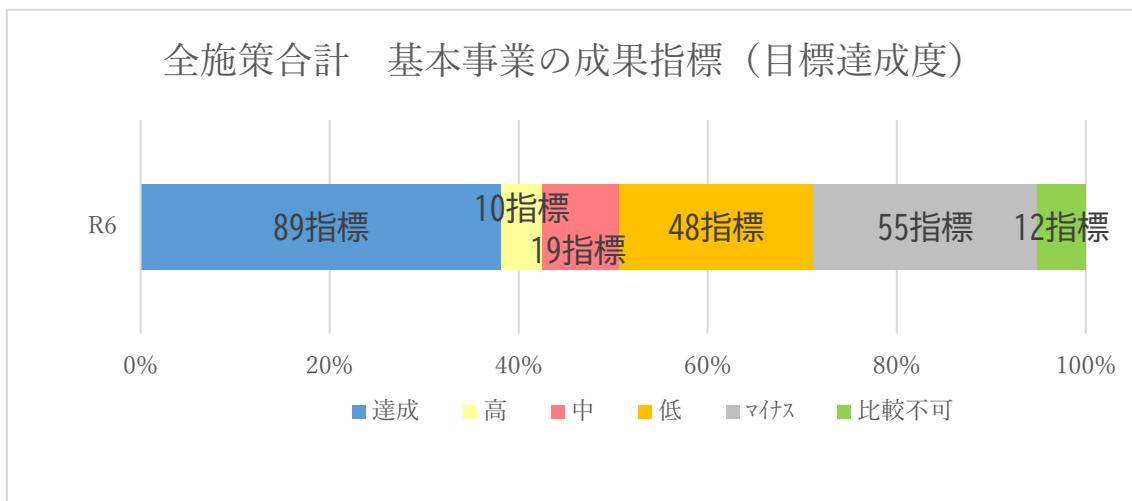
基本事業の成果指標
(目標達成度)



(4) 成果指標の目標達成度（基本事業・政策別）

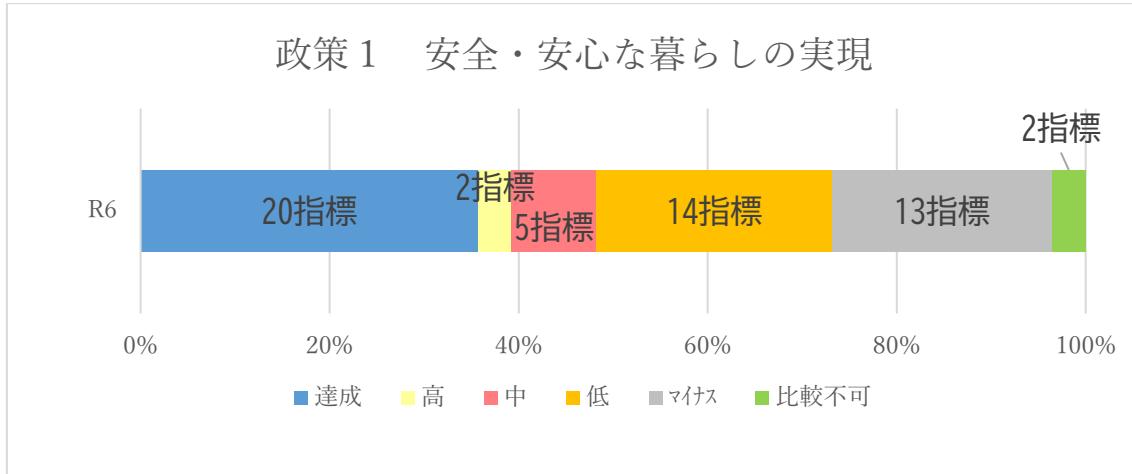
①全体の傾向

基本事業の成果指標の目標達成度を全政策ごとにまとめた状況は下図のとおりです。計画最終期間である令和6年度は、前年度に比べ「達成」が14指標増加しましたが、依然して「低」や「マイナス」が46%と約半数であり、目標達成まで努力が必要です。



②政策別の傾向

基本事業の成果指標の目標達成度を政策ごとにまとめた状況はそれぞれ図のとおりです。



👑 目標を達成している主な基本事業の成果指標

施策1 地域医療体制の充実

👑 あがの市民病院外来患者数

施策2 健康づくりの推進

👑 定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている市民の割合

施策3 地域福祉の推進

👑 社会福祉協議会によるボランティア活動活性化年間活動件数

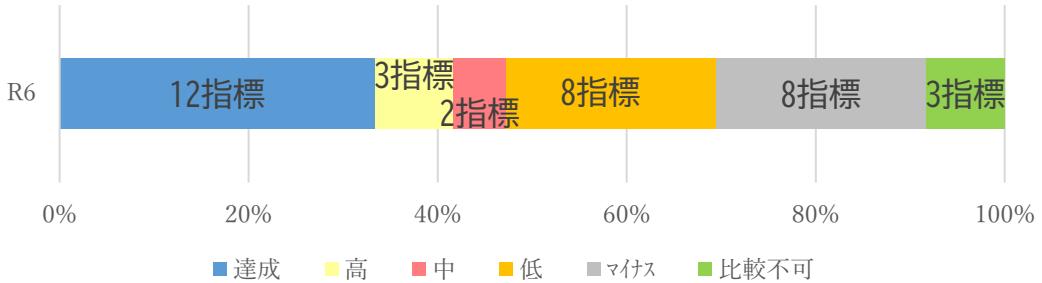
施策4 防災減災体制の充実

👑 県の備蓄指針に対する充足率

施策5 消防・救急体制の充実

👑 消防車両・装備の出動時トラブル・不具合件数

政策2 子どもの育成支援の充実



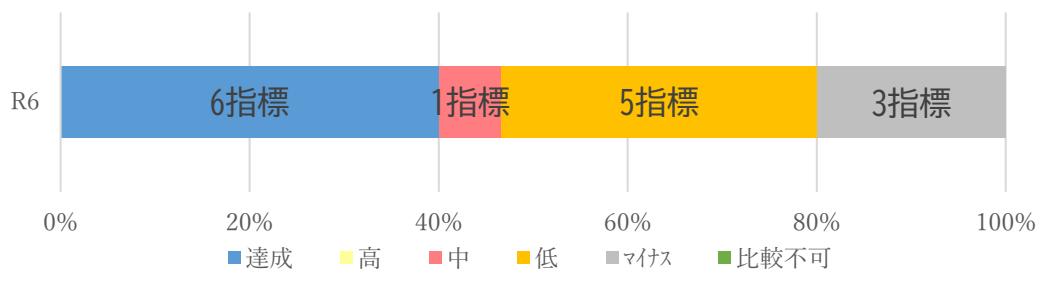
施策1 子育て環境の充実

放課後児童クラブ待機児童数

施策2 学校教育の充実

通学環境に関する満足度

政策3 高齢者や障がい者福祉の充実



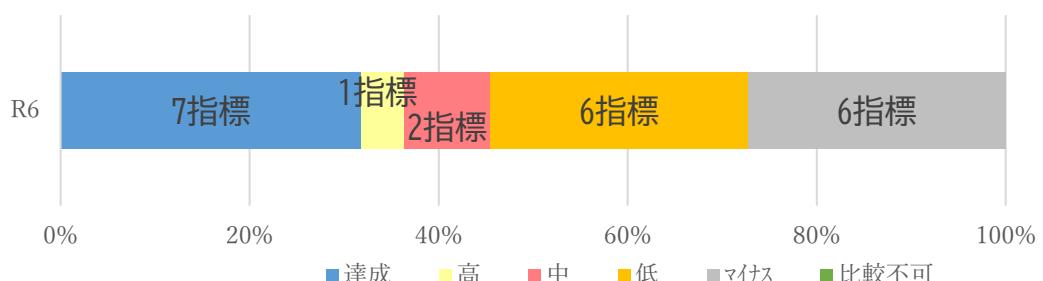
施策1 高齢者福祉の充実

介護医療保険利用者における医療と介護連携の満足度

施策2 障がい者福祉の充実

就労訓練施設から就職し、1年以上働き続けている障がい者数

政策4 地域経済の活性化



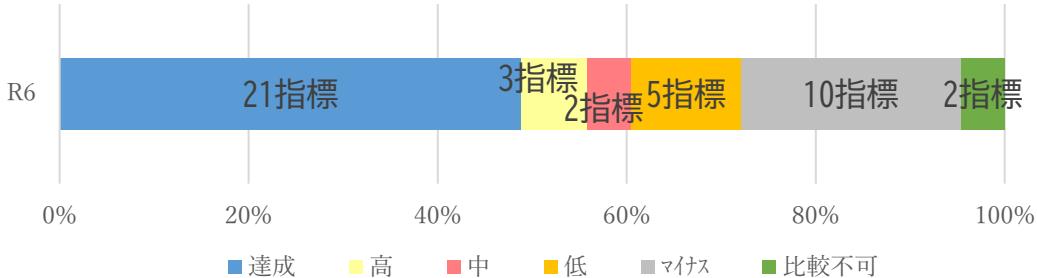
施策1 農業の振興

圃場整備率

施策3 観光の振興

市及び観光協会のSNS登録者数

政策5 生活に密着した住環境整備の促進



施策5 污水処理の推進

■水洗化率

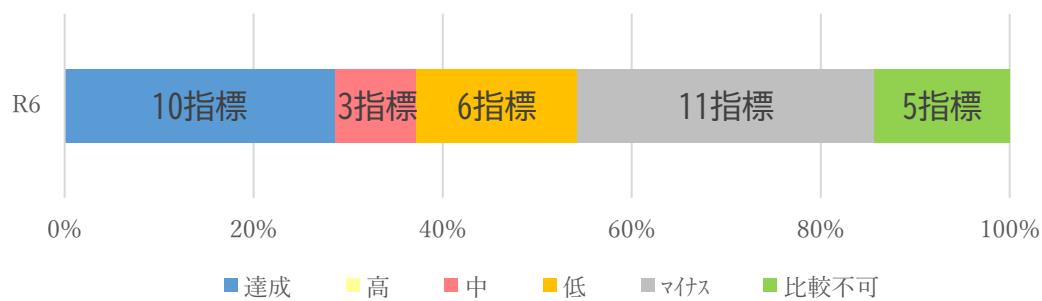
施策6 生活衛生・環境の保全

■犬・猫の飼育マナーに関する苦情件数

施策7 地球環境・自然環境の保全

■河川等の水質基準を上回った件数

政策6 市民協働の推進



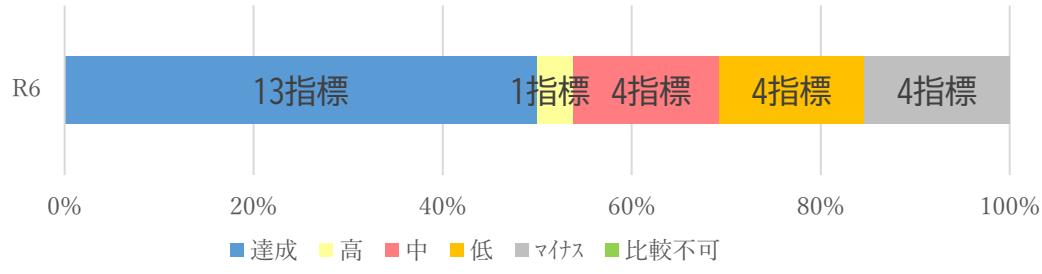
施策3 人権を尊重するひとづくり

■固定的な性別役割分担意識を持つ市民の割合

施策4 開かれた市政の推進と効率的な情報発信

■年間ホームページアクセス数

政策7 信頼される行政経営



施策1 行政経営の推進

■将来負担比率

施策2 適切な事務執行とサービス提供

■情報漏えい件数

4. まちづくりアンケートの結果

(1) まちづくりアンケートの実施方法等

まちづくりアンケートは、総合計画の施策や基本事業に設定している成果指標の進捗状況を調査するとともに、各施策に対する市民ニーズ（重要度・満足度）の状況を調査し、これらを今後のまちづくりに生かしていくことを目的として、毎年実施します。

令和6年度実施状況	
アンケート発送日	令和7年1月
調査対象者数	2,000人
有効回収数	1,050人(52.5%)

(2) アンケートの信頼性について

アンケートは回収した票数が多いほど結果の誤差は小さくなります。統計学的には、この誤差が3~5%程度であれば、アンケート結果に信頼性があるとされています。誤差3%を達成するために必要な有効回収数は約1,000票です。

そこでまちづくりアンケートについても有効回収数1,000票以上を目指して実施しましたが、この度は市民の皆さまのご協力で1,050人からの回答を頂くことができ、信頼性の高い結果を得ることができました。

5. 施策・基本事業評価結果

評価結果の見方

政策 01 安全・安心な暮らしの実現	
施策 01 地域医療体制の充実	総合計画の体系です。 7 政策、27 施策、112 基本事業があります。
あるべき姿 必要な時に、必要な医療を受けられるようになっています。	

■ 施策の成果状況と評価

指標 ①	市内の医療機関に従事する医師数（人） 【健康推進課】	総合計画基準値実績値(R02)実績値(R03)目標値(R06)対基準値						
		40.4	41.7	41.7	40.4			
評価	<p>（状況）令和3年度は41.7人で令和2年度と同数ですが、総合計画基準より1.3名増加し、目標値を達成しています。</p> <p>（原因）歯科を除く開業医は16人、あがの市民病院（口腔外科除く）は、健診担当常勤医師が1名増員となり20名、阿賀野病院医師は0.3名増員となりました。引き続き、医師確保に努め、地域の医療機関や施設と連携し、地域医療体制の確保を図ります。</p> <p>※後期基本計画からの新規指標</p>	(人)	100	80	60	40	20	0
		基準	R03	R04	R05	R06		

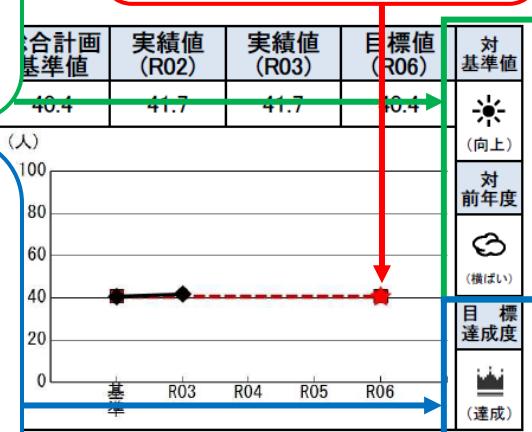
施策・基本事業の成果指標ごとに評価内容を記載しています。評価結果に基づき、次年度以降の施策、事業の方向性を検討するための判断材料としています。

実績値の推移を実線で示しています。
また基準値(一部を除き令和元年度)から目標値(令和6年度)への方向性を点線で示しています。

【評価区分】

- 向上 : 成果が向上しているもの
- 横ばい : 成果が横ばいとなっているもの
- 低下 : 成果が低下しているもの
- 比較不可 : 成果を比較できないもの

まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業のみ令和6年度の目標値を★で示しています。



【目標達成度】

達成	：目標を達成したもの
高	：目標の達成まで残りわずかなもの
中	：目標に半分以上近づいているもの
低	：目標の達成には努力が必要なもの
マイナス	：基準値を下回るもの
――	：目標達成度を評価できないもの

政策 1

安全・安心な暮らしの実現

P 14～P 38

施策 1. 地域医療体制の充実

施策 2. 健康づくりの推進

施策 3. 地域福祉の推進

施策 4. 防災減災体制の充実

施策 5. 消防・救急体制の充実

施策 6. 防犯対策の充実

施策 7. 交通安全対策の推進

政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 01 地域医療体制の充実

あるべき姿

必要な時に、必要な医療を受けられるようになっています。

施策の成果状況と評価

指標	市内の医療機関に従事する医師数（人） 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値				
		40.4	39.0	39.9	40.4	傘 (低下)				
評価	(状況)令和6年度は39.9人で、基準値より0.5人減少し、総合計画目標値40.4人には0.5人届きませんでした。 (原因)基本計画期間では、歯科を除く開業医は3人減って13人となりましたが、あがの市民病院(口腔外科除く)医師は2人増加し21人、阿賀野病院医師は0.2人増加し5.9人となりました。市内開業医の高齢化が進んでおり閉院が続きました。医師の確保・医師の偏在解消は、地域の医療提供体制維持の要となっていますので、今後も継続的に医師の確保に取り組み、地域医療体制の確保に努めています。	(人)	50	40	30	20	10	0	基準 R03 R04 R05 R06	対前年度 太陽 (向上) 目標達成度 マイナス

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 あがの市民病院の機能強化

指標	外来患者数（人） 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		100,025	101,271	97,479	95,280	傘(低下)
評価	(状況) 外来患者数は97,479人で基準値より2,546人減少し、総合計画目標値95,280人より2,199人増加し、目標値を達成しました。 (原因) 人口減少を見込んで目標値をたてましたが、診療科を維持できたこと、医師数の確保がある程度できたことなどが、総合計画目標値を上回った主な要因です。	(人)	120,000 100,000 80,000 60,000 40,000 20,000 0	100,000 101,271 97,479 95,280	100,000 101,271 97,479 95,280	傘(低下) 対前年度 傘(低下) 目標達成度 達成

基本事業01 あがの市民病院の機能強化

指標	病床利用率（%） 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		78.5	80.2	80.6	80.0	太陽(向上)
評価	(状況) 病床利用率は80.6%で、基準値より2.1ポイント向上しました。総合計画目標値の80.0%より0.6%上回り、目標を達成しました。 (原因) 入院診療科の維持、入院患者を診れる医師数が増員されたことで、積極的に入院を受け入れたことが要因です。	(%)	100 90 80 70 60 50	80 80.2 80.6 80.0	80 80.2 80.6 80.0	太陽(向上) 対前年度 太陽(向上) 目標達成度 達成

基本事業01 あがの市民病院の機能強化

指標	あがの市民病院における紹介率（%） 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		23.7	31.6	26.1	30.0	太陽(向上)
評価	(状況) あがの市民病院における紹介率は、26.1%で、基準値より2.4ポイント向上しました。総合計画目標値30.0%には3.9ポイント届きませんでした。 (原因) 基本計画期間は、目標値と同じような数値で推移していましたが、今年度は病院システムの更新があったことで、入力漏れなどの要因もあると考えられます。可能な限り受け入れを行い、地域の医療機関と連携し、医療提供体制の確保に取り組んでいます。	(%)	35 30 25 20 15 10 5 0	30 31.6 26.1 30.0	30 31.6 26.1 30.0	太陽(向上) 対前年度 傘(低下) 目標達成度 低(低)

基本事業02 各医療機関の機能分担の強化

指標	市内にかかりつけ医を持っている市民の割合（%） 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		52.3	45.9	47.1	60.0	傘(低下)
評価	基準値は令和2年度の値 (状況) 市内にかかりつけ医を持っている市民の割合は、47.1%で、基準値より5.2ポイント下回りました。また、総合計画目標値60.0%にも届きませんでした。 (原因) 市内の内科開業医が3機関閉院したことなどが影響し、総合計画期間はほぼ同じような推移で維持しました。年齢が若い方は市外にかかりつけ医を持っている割合が高くなっています。近隣市町村に受診されていると思われます。これからも限られた医療資源の中で受診してもらうよう、「かかりつけ医」の役割やメリットを周知していく必要があります。	(%)	80 60 40 20 0	47.1 45.9 47.1 60.0	47.1 45.9 47.1 60.0	対前年度 傘(低下) 雲(横ばい) 目標達成度 マイナス(マイナス)

基本事業02 各医療機関の機能分担の強化

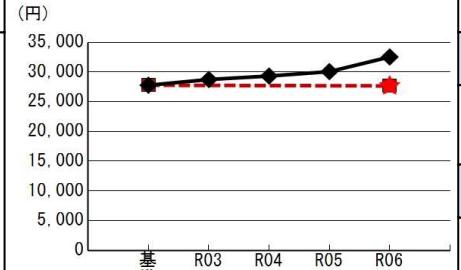
政策 01 安全・安心な暮らしの実現

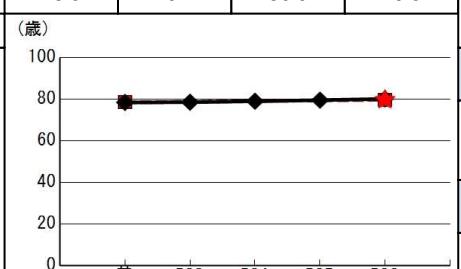
施策 02 健康づくりの推進

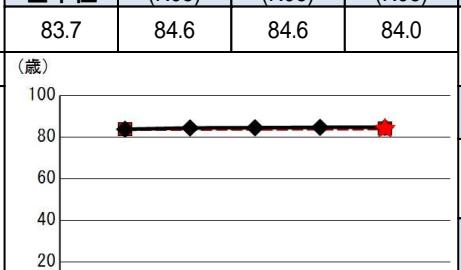
あるべき姿

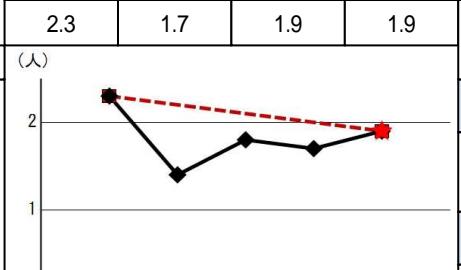
心身の健康が保たれ、元気に生活を送っています。
市民の自発的な健康づくりの取組が活発化しています。

施策の成果状況と評価

指標	人口1人当たりの医療費（国民健康保険）（円） 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(円)	27,777	30,065	32,531	傘(低下)
評価	(状況) 基準値より4,754円上昇し、令和6年度は、32,531円で、目標値に達成しませんでした。 (原因) 高齢化の進展や医療技術の高度化などにより、人口一人当たりの医療費が年々増加していることが考えられます。		35,000 30,000 25,000 20,000 15,000 10,000 5,000 0	30,000 25,000 20,000 15,000 10,000 5,000 0	27,665	傘(低下) 対前年度 傘(低下) 目標達成度 マイナス

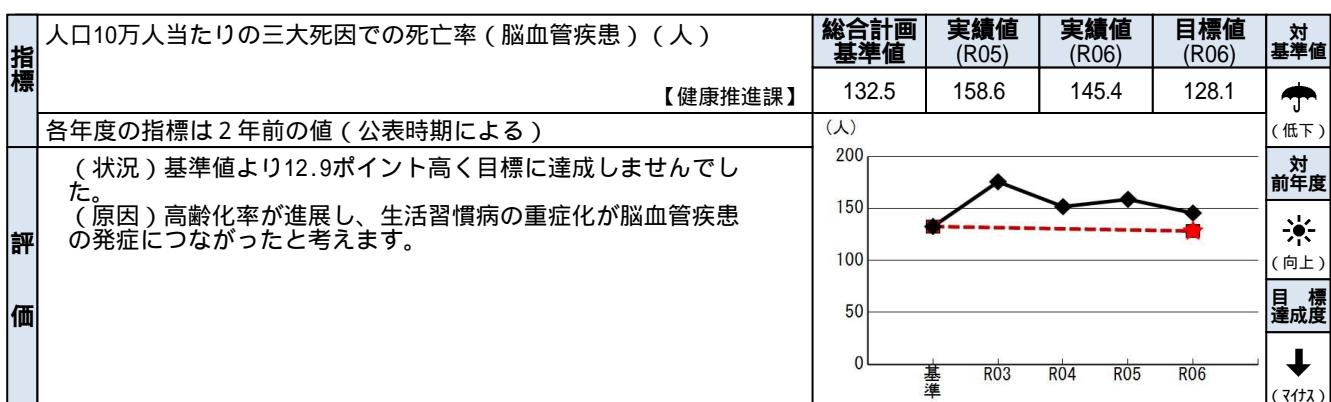
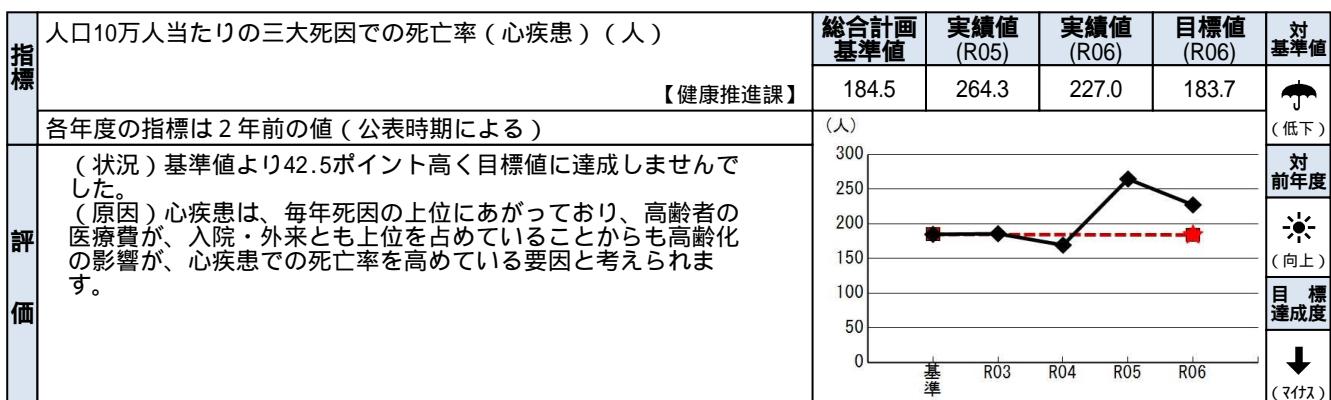
指標	平均自立期間（男性）（歳） 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(歳)	78.3	79.4	80.0	太陽(向上)
評価	(状況) 令和6年度は80.0歳で、令和5年度より0.6歳上昇しました。基準値と比べ1.7歳上昇し、目標値の79.6歳を0.4歳上回り、目標を達成しました。また、県(79.6歳)や国(79.7歳)の値をも上回る結果となっています。 (原因) 望ましい食習慣の確立、運動・身体活動の推進、禁煙と適正飲酒の推進、こころの健康づくりの推進、健(検)診受診率の向上、歯と口腔の健康づくりの推進に係るそれぞれの事業成果が長年の取組によって効果が得られたものと考えられます。		100 80 60 40 20 0	80 78 76 74 72 70 68 66 64 62 60 58 56 54 52 50 48 46 44 42 40 38 36 34 32 30 28 26 24 22 20 18 16 14 12 10 8 6 4 2 0	79.6	太陽(向上) 対前年度 雲(横ばい) 目標達成度 達成

指標	平均自立期間（女性）（歳） 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(歳)	83.7	84.6	84.6	太陽(向上)
評価	(状況) 令和6年度は84.6歳で、令和5年度と同じ結果でした。基準値と比べ0.9歳上昇し、目標値の84.0歳を0.6歳上回り、目標を達成しました。また、県(83.9歳)や国(84.0歳)の値をも上回る結果となっています。 (原因) 望ましい食習慣の確立、運動・身体活動の推進、禁煙と適正飲酒の推進、こころの健康づくりの推進、健(検)診受診率の向上、歯と口腔の健康づくりの推進に係るそれぞれの事業成果が長年の取組によって効果が得られたものと考えられます。		100 80 60 40 20 0	80 78 76 74 72 70 68 66 64 62 60 58 56 54 52 50 48 46 44 42 40 38 36 34 32 30 28 26 24 22 20 18 16 14 12 10 8 6 4 2 0	84.0	太陽(向上) 対前年度 雲(横ばい) 目標達成度 達成

指標	人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く。)（人） 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(人)	2.3	1.7	1.9	太陽(向上)
評価	(状況) 基準値より0.4人下がり、目標値を達成しました。 (原因) 生活習慣の改善や疾病の早期発見・治療により向上していると考えます。		2 1 0	1.7 1.5 1.3 1.1 0.9 0.7 0.5 0.3 0.1 0	1.9	太陽(向上) 対前年度 傘(低下) 目標達成度 達成

施策の成果状況と評価

指標	人口10万人当たりの三大死因での死亡率（悪性新生物）（人） 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			392.7	422.9	395.3	351.0
評価	各年度の指標は2年前の値（公表時期による） (状況) 基準値より2.6ポイント下がりましたが、目標値に達成しませんでした。 (原因) 検診未受診者によるがん発見の遅れ等が影響していると考えます。	(人)	500			傘 (低下) 対前年度
		400	300	400	400	太陽 (向上) 目標達成度
		300	200	300	300	△ (マイナス)
		200	100	200	200	
		100	0	100	100	
		0	0	0	0	
			基準	R03	R04	R05
						R06



基本事業の成果状況と評価

基本事業01 望ましい食習慣の確立

指標	高血圧症の受療件数(件) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	1,379	1,206	1,139	1,200
評価	国民健康保険の2月分診療件数 (状況)高血圧症の受療件数は、基準値より240件減少の1,139件で基準値より向上し、併せて目標値を達成しました。 (原因)基本計画期間を通して、減塩などの食生活改善の普及啓発活動により、生活習慣を見直し改善する人が増えてきたことが、高血圧予防につながっていると考えられます。	(件)	1,600 1,400 1,200 1,000 800 600 400 200 0	1,379 1,206 1,139	1,200	☀ (向上)
	取得先の算定月変更により、5月診療分から2月診療分に変更となりました。					

基本事業01 望ましい食習慣の確立

指標	適正な体重を維持していない市民の割合(40歳代から60歳代までの男女の肥満者の割合)(%) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	24.8	28.1	27.6	24.2
評価	(状況)適正な体重を維持していない市民の割合は、基準値より2.8ポイント悪化し、基本計画開始時点の基準値を上回りました。 (原因)計画期間中、コロナ禍による外出自粛により身体活動量の低下や運動習慣の低下、働き盛り世代の運動習慣が低いことなどが要因と考えられます。また、毎日飲酒する人が減らない、毎日の朝食習慣がないなどの生活習慣も影響しているものと考えます。	(%)	40 34 28 22 16 10	24.8 28.1 27.6 24.2	☀ (向上)	☂ (低下)

基本事業02 運動・身体活動の推進

指標	1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している市民の割合(%) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	22.6	17.4	18.1	34.0
評価	(状況)1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している市民の割合は、基準値より4.5ポイント低下し、計画開始の基準値を下回りました。 (原因)年代別の傾向は、20歳代～64歳が20%未満、65歳以上が20%以上の運動習慣となっており、高齢者の運動習慣は定着しているものの、働き盛り世代の運動習慣が向上しないことが影響しているものと考えられます。	(%)	60 48 36 24 12 0	22.6 17.4 18.1 34.0	☀ (向上)	☂ (低下)

基本事業02 運動・身体活動の推進

指標	体操を定期的に実施している市民の割合(%) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	30.5	29.9	32.2	40.0
評価	(状況)体操を定期的に実施している市民の割合は、基準値より1.7ポイント向上しましたが、目標値には届きませんでした。 (原因)基本計画期間を通して、ラジオ体操講習会やシャキ！いき！健康法、けんこつ体操などの教室を継続して実施してきたことが、体操実施者の増加につながったものと考えられます。	(%)	60 48 36 24 12 0	30.5 29.9 32.2 40.0	☀ (向上)	☂ (低下)

基本事業03 禁煙と適正飲酒の推進

指標	習慣的に喫煙している市民の割合 (%) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	16.9	15.5	14.4	14.0 (向上)
評価	<p>(状況) 基準値より、2.5ポイント低下し14.4%となりましたが目標値に達しませんでした。</p> <p>(原因) 健康増進法の改定以降、地域、事業所での受動喫煙防止の取り組みが進み、中学校や成人式での若い年代からの禁煙教育を継続してきたことやタバコの値段が上がっていることなどが影響して、市民に禁煙の習慣が浸透してきているものと考えられます。</p>		40 32 24 16 8 0	R03 R04 R05 R06	(向上) (向上) (高)	

基本事業03 禁煙と適正飲酒の推進

指標	適正飲酒を守っている市民の割合 (%) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	71.9	71.5	84.5	80.0 (向上)
評価	<p>(状況) 基準値より12.6 ポイント下がり84.5%となり、目標値に達成しました。</p> <p>(原因) 特定健診問診表の集計結果では、毎日飲酒する人や飲酒量が県平均よりも高く、3合以上飲酒する40~50歳代が多い傾向にあることから、適正飲酒を守っている人と守っていない人の差は大きいと考えます。</p>		100 92 84 76 68 60	R03 R04 R05 R06	(向上) (向上) (達成)	

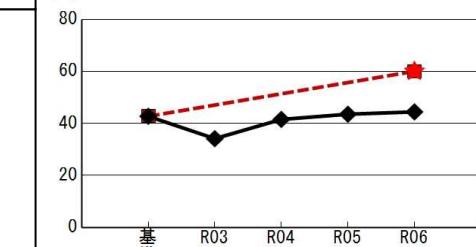
基本事業04 こころの健康づくりの推進

指標	悩みを相談できる人や場所を持っている市民の割合 (%) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	89.6	86.5	89.3	90.0 (横ばい)
評価	<p>(状況) 基準値より、0.3ポイント低い89.3%でした。目標値にわずかに届きませんでした。年代・性別によって実績値に差があります。</p> <p>(原因) 「こころの健康」について、継続的に普及啓発してきた結果と考えられます。</p>		100 92 84 76 68 60	R03 R04 R05 R06	(向上) (向上) (マケ入)	

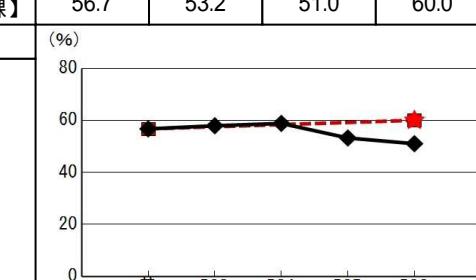
基本事業04 こころの健康づくりの推進

指標	自殺者数(人) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(人)	8	4.3	6	7 (向上)
評価	<p>各年度の指標は、過去3年の自殺者数の平均</p> <p>(状況) 基準値の8人から、6人(概算値)に減り、目標値を達成しました。</p> <p>(原因) 長年、相談窓口の啓発や、こころの健康づくりに関する講演会、庁内や関係機関と連携した相談支援事業などを継続的に実施してきた結果と考えます。</p>		20 16 12 8 4 0	R03 R04 R05 R06	(低下) (達成)	

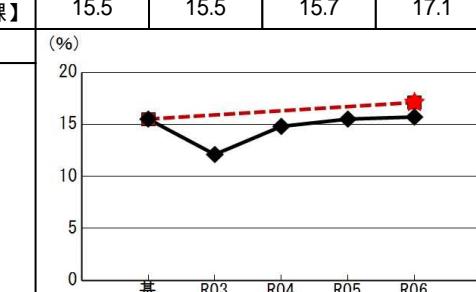
基本事業05 健(検)診受診率の向上

指標	特定健診受診率(%)	【健康推進課】				対基準値  (向上)		
		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)			
		42.7	43.5	44.4	60.0			
評価	(状況) 特定健診受診率は、基準値の42.7%からコロナ禍の影響により大幅に減少しましたが、徐々に増え1.7ポイント増の44.4%となりました。しかし、目標値に達成しませんでした。 (原因) 特定健診未申込者や40歳、50歳、65歳の未申込者への受診勧奨の取り組みを継続的にしてきた結果と思われます。	(%)	80	60	40	20	0	 基準 R03 R04 R05 R06

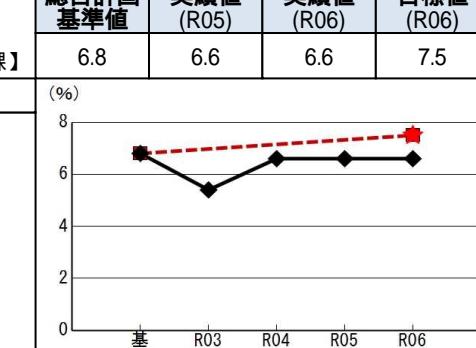
基本事業05 健(検)診受診率の向上

指標	特定保健指導実施率(%)	【健康推進課】				対基準値  (低下)		
		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)			
		56.7	53.2	51.0	60.0			
評価	(状況) 特定保健指導受診率は、基準値より5.7ポイント低下し51.0%で目標値に達成しませんでした。県平均38.9%と比較して高い状態です。 (原因) 働き盛り世代の実施率が低く、全体の実施率が高くならない要因があります。	(%)	80	60	40	20	0	 基準 R03 R04 R05 R06

基本事業05 健(検)診受診率の向上

指標	市が実施する各種がん検診の受診率[肺](%)	【健康推進課】				対基準値  (向上)		
		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)			
		15.5	15.5	15.7	17.1			
評価	(状況) 肺がん検診受診率は、コロナ禍の影響により受診率が低下しました。徐々に増え基準値より0.2ポイント上昇し15.7%となりましたが、目標値に達成しませんでした。しかし、県平均13.0%と比較して高い状況です。 (原因) コロナ禍の影響により、医療機関等で受診する人が増えたことや、国保加入者が年々減少しているため、職場等で検診を受ける人が増え、市の検診を受診する対象者が減っていることも受診率が上がらない要因と考えられます。	(%)	20	15	10	5	0	 基準 R03 R04 R05 R06

基本事業05 健(検)診受診率の向上

指標	市が実施する各種がん検診の受診率[胃](%)	【健康推進課】				対基準値  (低下)		
		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)			
		6.8	6.6	6.6	7.5			
評価	(状況) 胃がん検診受診率は、コロナ禍の影響により一旦低下しました。徐々に戻りましたが基準値より0.2ポイント低下し6.6%で、目標値7.5%に達成しませんでした。しかし、県平均5.5%と比較して高い状況です。 (原因) コロナ禍の影響により、医療機関等で受診する人が増えたことや、国保加入者が年々減少しているため、職場等で検診を受ける人が増え、市の検診を受診する対象者が減っていることも受診率が上がらない要因と考えられます。	(%)	8	6	4	2	0	 基準 R03 R04 R05 R06

基本事業05 健（検）診受診率の向上

指標	市が実施する各種がん検診の受診率【大腸】(%) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	12.6	12.8	13.2	(向上)
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(%)	12.6	12.8	13.2	(向上)
	(状況) 大腸がん検診受診率は、コロナ禍の影響により受診率が低下しました。その後、徐々に増え基準値より0.6ポイント上昇し13.2%となりましたが、目標値に達しませんでした。また、県平均13.7%より低い状況です。 (原因) コロナ禍の影響により、医療機関等で受診する人が増えたことや、国保加入者が年々減少しているため、職場等で検診を受ける人が増え、市の検診を受診する対象者が減っていることも受診率が上がらない要因と考えられます。					

期間	実績値 (%)
基準	12.6
R03	12.8
R04	13.2
R05	14.2

基本事業05 健（検）診受診率の向上

指標	市が実施する各種がん検診の受診率【乳】(%) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	16.0	14.9	15.3	(低下)
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(%)	16.0	14.9	15.3	(低下)
	(状況) 乳がん検診受診率は、コロナ禍の影響により一旦低下し、徐々に増えてきましたが基準値より0.7ポイント低い15.3%となり、目標値に達しませんでした。また、県平均15.5%より低い状況です。 (原因) コロナ禍の影響が大きく、その後の戻りが緩やかであることや、国保加入率が年々減少し、職場等での検診受診者が多く市の検診を受ける対象者が減っているためと思われます。しかし、他のがん検診に比べ乳がん検診は職場で実施するところが少ないため、市が発行している無料クーポンの利用率が約3割と高い状況です。					

期間	実績値 (%)
基準	16.0
R03	14.9
R04	15.3
R05	17.6

基本事業05 健（検）診受診率の向上

指標	市が実施する各種がん検診の受診率【子宮】(%) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	10.9	10.6	10.7	(低下)
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(%)	10.9	10.6	10.7	(低下)
	(状況) 子宮がん検診受診率は、コロナ禍の影響により一旦低下しましたが、徐々に増えました。しかし、基準値より0.2ポイント低い10.7%となり、目標値に達しませんでした。また、県平均12.2%より低い状況です。 (原因) 国保加入率が年々減少しているため、職場等での検診受診者が多く市の検診を受ける対象者が減っているため受診者が大きく増えない状況にあると考えられます。					

期間	実績値 (%)
基準	10.9
R03	10.6
R04	10.7
R05	13.1

基本事業06 歯と口腔の健康づくりの推進

指標	定期的に歯科医院等で歯石除去や歯面清掃を受けている市民の割合(%) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	30.0	39.9	39.4	(向上)
評価	(状況) 定期的に歯科医院等で歯石除去や歯面清掃を受けている市民の割合は、基準値より9.4ポイント向上し、総合計画の目標値30%を達成しました。 (原因) 成人歯科健診や、歯周病節目検診、後期高齢者歯科健診、健康講座等などの場で普及啓発を継続的に実施したこと、口腔ケア意識が根付いていたものと考えられます。	(%)	30.0	39.9	39.4	(向上)

期間	実績値 (%)
基準	30.0
R03	39.9
R04	39.4
R05	40.0

基本事業06 歯と口腔の健康づくりの推進

指標	歯間部清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用している市民の割合（%） 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			40.0	48.0	42.0	(向上)
評価	<p>（状況）歯間部清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用している市民の割合は、基準値より5.8ポイント高く、総合計画の目標値40.0%を達成しました。</p> <p>（原因）成人歯科健診や、歯周病節目検診、後期高齢者歯科健診、健康講座塾等などの場で普及啓発を継続的に実施したこと、口腔ケア意識が根付いていたものと考えられます。</p>	(%)	40	48	45.8	42

Year	Actual Value (%)	Target (%)
R03	40.0	42.0
R04	44.0	42.0
R05	45.8	42.0
R06	45.8	42.0

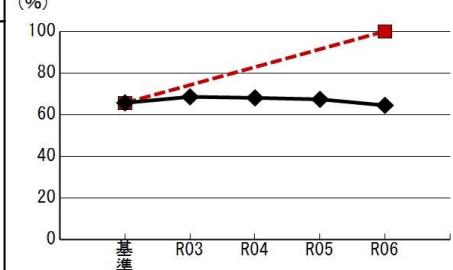
政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 03 地域福祉の推進

あるべき姿

住民同士で相互扶助ができていると思う市民が増えています。
自立に困難を抱える人が、セーフティネットによって安心して生活を送っています。

施策の成果状況と評価

指標	住民同士で相互扶助ができていると思う市民の割合(%) 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値												
		(%)	65.6	67.3	64.4	 (横ばい)												
評価	<p>(状況) 令和6年度は64.4%で、令和5年度より2.9ポイント減少し、総合計画基準値65.6ポイントを1.5ポイント下回りましたが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲で横ばいでです。</p> <p>(原因) 年齢別では30~39歳が59.1ポイントと60ポイントを下回り特に低くなっています。子育て世代や結婚適齢期である30歳代に向けた相互扶助を感じさせる支援が効果的と考えられます。</p>	 <table border="1"><caption>Line Chart Data</caption><thead><tr><th>年</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>65.6</td></tr><tr><td>R03</td><td>65.0</td></tr><tr><td>R04</td><td>65.0</td></tr><tr><td>R05</td><td>64.4</td></tr><tr><td>R06</td><td>67.3</td></tr></tbody></table>	年	実績値 (%)	基準	65.6	R03	65.0	R04	65.0	R05	64.4	R06	67.3	67.3	64.4	100	 (横ばい)  (横ばい)  (マイナス) 目標達成度
年	実績値 (%)																	
基準	65.6																	
R03	65.0																	
R04	65.0																	
R05	64.4																	
R06	67.3																	

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域福祉の担い手の育成

指標	阿賀野市ボランティアセンターへの登録人数（人） 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値																											
		(人)	1,755	1,768	1,854	1,900	☀ (向上)																										
評価	<p>（状況）令和6年度は1,854人で、前年度より86人増加し、総合計画の基準値1,755人を99人上回り、向上しました。</p> <p>（原因）社会福祉協議会による広報誌ボランティア通信の毎月発行及び市いきいきボランティア応援事業等により、市民の理解と関心が高まっているためと考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>登録ボランティア数（人）</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>1,755</td> <td>1,768</td> <td>1,854</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>1,755</td> <td>1,768</td> <td>1,854</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>1,755</td> <td>1,768</td> <td>1,854</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>1,755</td> <td>1,768</td> <td>1,854</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>1,755</td> <td>1,768</td> <td>1,854</td> <td>1,900</td> </tr> </tbody> </table>	期間	R03	R04	R05	R06	基準	1,755	1,768	1,854	1,900	R03	1,755	1,768	1,854	1,900	R04	1,755	1,768	1,854	1,900	R05	1,755	1,768	1,854	1,900	R06	1,755	1,768	1,854	1,900	<p>☀ (向上)</p> <p>対前年度</p> <p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p>
期間	R03	R04	R05	R06																													
基準	1,755	1,768	1,854	1,900																													
R03	1,755	1,768	1,854	1,900																													
R04	1,755	1,768	1,854	1,900																													
R05	1,755	1,768	1,854	1,900																													
R06	1,755	1,768	1,854	1,900																													

基本事業01 地域福祉の担い手の育成

指標	この1年間に福祉分野のボランティア活動に参加したことがある市民の割合（%） 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値																											
		(%)	2.4	4.5	4.7	7.0	☀ (向上)																										
評価	<p>（状況）令和6年度は4.7ポイントで、令和5年度より0.2ポイント増加し、総合計画基準値2.4ポイントを2.3ポイント増加し、順調です。</p> <p>（原因）マスメディアでも福祉現場の人手不足が大きく報道されるようになり、市民にも福祉分野のボランティア活動の必要性が広く知られるようになったからではと考えられます。</p> <p>年代別では、10代0.2%、20代5.5%、30代6.4%、40代11.9%、50代7.4%、60代18.8%、70代以上48.9%となっています。</p> <p>70代以上のボランティア参加率が約半数と高くなっています。会社を退職してから参加する方が多いと推察されます。</p>	<table border="1"> <caption>ボランティア活動参加率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>2.4</td> <td>4.5</td> <td>4.7</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>2.4</td> <td>4.5</td> <td>4.7</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>2.4</td> <td>4.5</td> <td>4.7</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>2.4</td> <td>4.5</td> <td>4.7</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>2.4</td> <td>4.5</td> <td>4.7</td> <td>7.0</td> </tr> </tbody> </table>	期間	R03	R04	R05	R06	基準	2.4	4.5	4.7	7.0	R03	2.4	4.5	4.7	7.0	R04	2.4	4.5	4.7	7.0	R05	2.4	4.5	4.7	7.0	R06	2.4	4.5	4.7	7.0	<p>☀ (向上)</p> <p>対前年度</p> <p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p>
期間	R03	R04	R05	R06																													
基準	2.4	4.5	4.7	7.0																													
R03	2.4	4.5	4.7	7.0																													
R04	2.4	4.5	4.7	7.0																													
R05	2.4	4.5	4.7	7.0																													
R06	2.4	4.5	4.7	7.0																													

基本事業01 地域福祉の担い手の育成

指標	社会福祉協議会によるボランティア活動活性化年間活動件数（件） 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値																											
		(件)	31	47	47	35	☀ (向上)																										
評価	<p>（状況）令和6年度は、令和4年度及び令和5年度と同数でしたが、総合計画基準値31件より16件多く、目標値を達成している状態が続いています。</p> <p>（原因）社会福祉協議会による市協議会としてのボランティア活動の活性化に向けた講習会・検討会の開催や、県協議会事業等の積極的な誘致による影響と考えられます。また、講演会によって保育ルームの設置や手話通訳を準備するなど、講習会単位で参加者目線に立った事業推進を図るといった継続的な取り組みが、活動の活性化につながっているものと考察されます</p>	<table border="1"> <caption>活動件数 (件)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>31</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>31</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>31</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>31</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>31</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	期間	R03	R04	R05	R06	基準	31	47	47	35	R03	31	47	47	35	R04	31	47	47	35	R05	31	47	47	35	R06	31	47	47	35	<p>☀ (向上)</p> <p>対前年度</p> <p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p>
期間	R03	R04	R05	R06																													
基準	31	47	47	35																													
R03	31	47	47	35																													
R04	31	47	47	35																													
R05	31	47	47	35																													
R06	31	47	47	35																													

基本事業02 地域で見守り合う仕組みづくり

指標	近所で見守りが必要な人の存在を知っている市民の割合（%） 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値																											
		(%)	46.0	43.0	45.4	51.0	☁ (横ばい)																										
評価	<p>（状況）令和6年度の数字は、令和5年度を2.4ポイント上回っていますが、統計誤差の範囲と考えており、横ばいです。</p> <p>（原因）地区別では、笛神地区が61.7ポイントと高く、年代別は65～69歳が55.3ポイント、70～74歳が55.7ポイント、75～79歳が62.6ポイントと年齢が上がるに比例してポイントも高くなっています。逆に20～29歳が25.0ポイント、30～39歳が19.2ポイントと低くなっています。</p> <p>若い年代は支援の必要性を感じづらく、逆に高齢者の多い、笛神地区で認知度が高くなっていると考察されます。</p>	<table border="1"> <caption>見守り必要な人の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>46.0</td> <td>43.0</td> <td>45.4</td> <td>51.0</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>46.0</td> <td>43.0</td> <td>45.4</td> <td>51.0</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>46.0</td> <td>43.0</td> <td>45.4</td> <td>51.0</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>46.0</td> <td>43.0</td> <td>45.4</td> <td>51.0</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>46.0</td> <td>43.0</td> <td>45.4</td> <td>51.0</td> </tr> </tbody> </table>	期間	R03	R04	R05	R06	基準	46.0	43.0	45.4	51.0	R03	46.0	43.0	45.4	51.0	R04	46.0	43.0	45.4	51.0	R05	46.0	43.0	45.4	51.0	R06	46.0	43.0	45.4	51.0	<p>☁ (横ばい)</p> <p>対前年度</p> <p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p>
期間	R03	R04	R05	R06																													
基準	46.0	43.0	45.4	51.0																													
R03	46.0	43.0	45.4	51.0																													
R04	46.0	43.0	45.4	51.0																													
R05	46.0	43.0	45.4	51.0																													
R06	46.0	43.0	45.4	51.0																													

基本事業03 生活困窮者自立支援の推進

指標	支援により就労した人員数（計画期間累計）(件) 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	11	13	76	(比較不可)
評価	(状況)令和6年度は2件となりました。 (原因)高齢者や傷病者の相談が多く、相談件数に比べてなかなか就労につながっていない状況です。 しかし、就労収入の増加が4件あり、一定の成果は上がっていると考えられます。	80 60 40 20 0	■	■	■	● (比較不可) ● (対前年度) ● (向上) ● (目標達成度) ■ (低)

基本事業03 生活困窮者自立支援の推進

指標	問題を解決できた件数（計画期間累計）(件) 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	51	69	144	(比較不可)
評価	(状況)令和6年度は18件となりました。 (原因)新規相談件数は103件で前年と比べ30件の増でした。40代の相談者が17件と前年に比べ約3倍になっています。 最近は低年金、無年金の高齢者やシングルマザーの相談が増加傾向にあります。 家族形態も複雑化、多様化しており支援方法も高度化しています。	160 140 120 100 80 60 40 20 0	■	■	■	● (比較不可) ● (対前年度) ● (向上) ● (目標達成度) ■ (低)

基本事業04 生活保護制度の適正な実施

指標	生活保護率(%) 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	6.53	7.78	7.81	(比較不可)
評価	(状況)令和6年度は7.81%(パーセント)で、令和5年度より0.35ポイント上回り、基準値と比較して1.60ポイント上回っています。 (原因)前年に比べて4世帯増となっています。全体の半数以上が高齢者世帯になっており、低年金、無年金者が多いほか、障がい者世帯、傷病者世帯も多く、自立が困難なケースが多く見られます。	8 6 4 2 0	■	■	■	● (比較不可) ● (対前年度) ● (比較不可) ● (目標達成度) ---

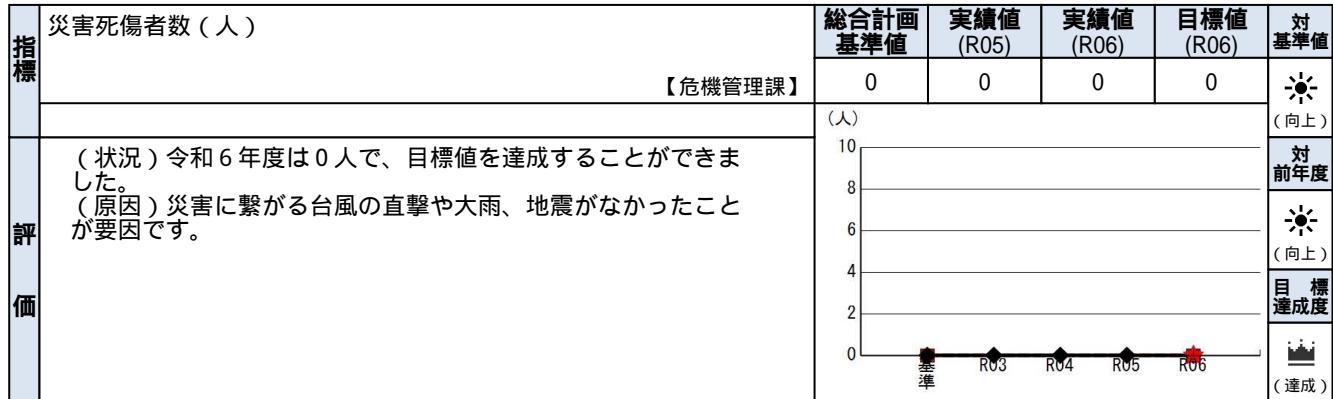
政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 04 防災減災体制の充実

あるべき姿

安全・安心に暮らせる環境が整備されています。

施策の成果状況と評価



基本事業の成果状況と評価

基本事業01 防災減災意識の向上

指標	災害に備え家庭で実践している事項数（全15項目）（項目） 【危機管理課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		3.9	4.63	4.64	8.0	☀ (向上)
評価	全15項目での平均実施項目 (状況)令和6年度が4.64項目で、令和5年度より0.01項目上昇しました。基準値より0.74ポイント増加しましたが、目標値である8項目には届きませんでした。 (原因)広報等を活用し周知を図り、項目数の増加に繋がるよう努めましたが、大きな意識向上は图れませんでした。	(項目) 13 10 8 5 3 0				☀ (向上)
評価		R03 R04 R05 R06	3.5 4.0 4.0 4.0	4.63 4.64 4.64 4.64	8.0	目標達成度
評価		基準				■ (低)

基本事業01 防災減災意識の向上

指標	防災訓練参加者数（市及び自主防災組織等の訓練）（人） 【危機管理課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		989	323	419	1,500	☂ (低下)
評価	（状況）市防災訓練は安田地区で開催し、364人の参加がありました。又、自治会における避難訓練は堀越地区で開催し、55名の参加があり、令和5年度より96名増加しました。 (原因)市防災訓練では、能登半島地震の影響等もあり、市民の防災意識が高まっていることで、参加者数の増加に繋がりましたが、コロナ禍による事業中止、人数制限等により、目標値である1,500人には届きませんでした。	(人) 2,000 1,500 1,000 500 0				☀ (向上)
評価		R03 R04 R05 R06	1,000 0 100 300	864 55 96 419	1,500	目標達成度
評価		基準				↓ (マイナス)

基本事業02 地域防災力の強化

指標	自主防災組織に加入している世帯の割合（%） 【危機管理課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		87.2	84.8	84.8	89.0	☂ (低下)
評価	（状況）令和6年度は自主防災組織数に変更はありませんでした。又、基準値より2.4ポイント低下し、目標値には4.2ポイント届きませんでした。 (原因)防災塾の開催数は増加しましたが、新規組織化には至りませんでした。	(%) 100 80 60 40 20 0				☀ (向上)
評価		R03 R04 R05 R06	87.2 84.8 84.8 84.8	84.8 84.8 84.8 84.8	89.0	目標達成度
評価		基準				↓ (マイナス)

基本事業02 地域防災力の強化

指標	防災訓練を実施した自主防災組織及び自治会数（組織） 【危機管理課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		22	14	27	93	☀ (向上)
評価	（状況）令和6年度の防災訓練参加自治会は27自治会となり、基準値より、5ポイント向上して目標達成しました。 (原因)市の防災訓練で参加自治会数が増加したことが要因です。	(組織) 100 80 60 40 20 0				☀ (向上)
評価		R03 R04 R05 R06	22 14 14 27	14 27 14 27	93	目標達成度
評価		基準				■ (低)

基本事業02 地域防災力の強化

指標	避難行動要支援者避難支援個別計画のある自主防災組織及び自治会数（組織） 【危機管理課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		24	37	53	140	(向上)
評価	(状況) 毎年実施している自主防災組織実態調査により、令和6年度は53組織となり、16組織増加しました。 (原因) 防災塾等の啓発活動により、自治会の防災意識の向上につながり、計画策定数が増加したものと考えます。	(組織)	160 140 120 100 80 60 40 20 0	140	53	(向上)

基本事業03 災害情報伝達力の向上

指標	各種災害情報ツール登録者数（人） 【危機管理課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		6,253	18,722	19,764	14,000	(向上)
評価	(状況) 令和6年度は、19,764人となり、前年度より1,042人(5.3%)増となり、目標値を達成しています。 (原因) SNS等の利用増により、安全安心メール登録者数259件増加、LINE登録者数783件増加によるものです。	(人)	20,000 15,000 10,000 5,000 0	14,000	(達成)	(向上)

基本事業04 災害時対応力の向上

指標	自治体及び事業者等との災害時応援協定締結数（組織） 【危機管理課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		43	57	59	45	(向上)
評価	(状況) 令和6年度は2者と新規協定を締結し、災害応援協定数は65件、締結団体数を59者とし、目標値を上回り達成しています。 (原因) 近年増加する大規模災害に備え、事業者側から災害復旧や食料提供に関する協定締結の申し入れが増加したためです。	(組織)	60 40 20 0	45	(達成)	(向上)

基本事業04 災害時対応力の向上

指標	県の備蓄指針に対する充足率（%） 【危機管理課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		100	113.2	133	100	(向上)
評価	(状況) 県備蓄指針に基づく4項目（主食、副食、飲料水、毛布）に対する充足率の平均が令和6年度は133%となり、目標値に達しています。 (原因) 災害備蓄計画に基づき備蓄品を購入していることから、計画期間中には一時的に不足となる時期が生じる場合がありますが、災害時において不足が生じる場合は、流通備蓄で対応します。	(%)	135 108 81 54 27 0	100	(達成)	(向上)

基本事業04 災害時対応力の向上

指標	職員を対象とした訓練等の実施回数（回） 【危機管理課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		3	4	12	6	 (向上)
評価	(状況)令和6年度は12回実施することができました。 (原因)毎年実施している避難所開設訓練(年3回)に加え、災害対策本部員を対象とした訓練(1回)及び災害対策班員を対象とした訓練(8回)を新たに実施したことにより、基準値より9ポイント向上させることができました。	(回)	14 12 10 8 6 4 2 0	12	6	 (向上)  (達成度)  (達成)

基本事業05 治水対策の推進

指標	床上・床下浸水以上の被害に遭った家屋数（棟） 【建設課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		0	0	0	0	 (向上)
評価	(状況)令和6年度は0棟で、計画期間内において目標値を達成しています。また治水対策のため、国・県事業での河川改修等が行われています。 (原因)計画期間内において被害を及ぼす大規模災害がありませんでした。今後も治水対策について、国・県へ要望していきます。	(棟)	R03 R04 R05 R06	0	0	 (向上)  (達成度)  (達成)

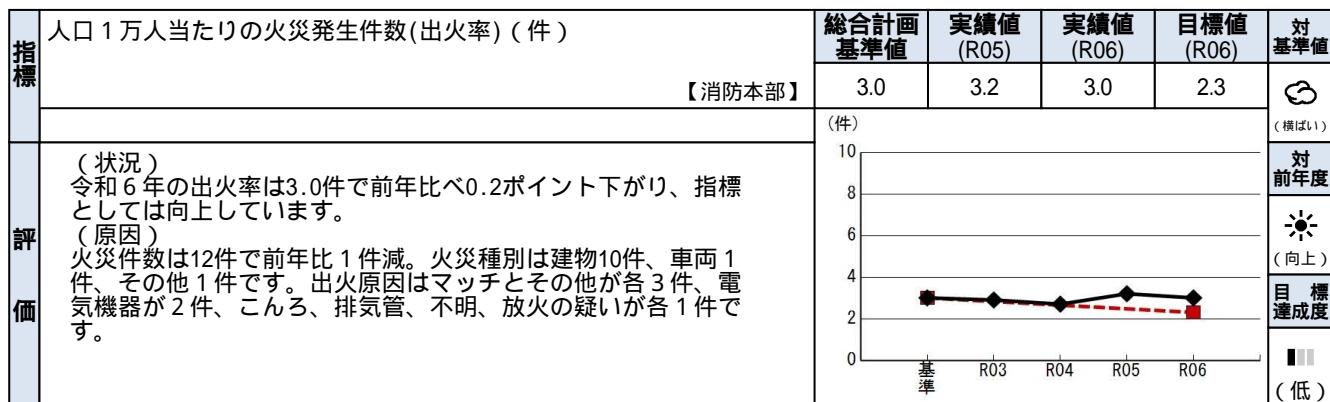
政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 05 消防・救急体制の充実

あるべき姿

消防・救急活動が迅速に行われ、市民の生命や財産が守られています。

施策の成果状況と評価



基本事業の成果状況と評価

基本事業01 防火意識の向上

指標	住宅用火災警報器の設置率(%) 【消防本部】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			75.7	84.7	90.1	☀ (向上)
評価	(状況) 令和6年度は90.1%で前年度に比べ5.4ポイント向上しています。 (原因) 令和6年度はイベント来場者を対象にアンケートを行い、調査件数は61世帯でした。	(%)	95 90 85 80 75 70 65 60	84.7 82 84 86 85	90.1 85 86 85 87	86.5 ☀ (向上) ● (達成度)
		基準	R03	R04	R05	R06

基本事業01 防火意識の向上

指標	初期消火率(%) 【消防本部】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			61.5	38.5	75.0	83.3
評価	(状況) 令和6年中の火災における初期消火実施率は75.0%で、前年度比で36.5ポイント向上しています。 (原因) 令和6年中の火災件数は12件で、そのうち初期消火実施が9件、非実施が3件でした。初期消火非実施3件の内訳は、要避難、自然消火、深夜の無人建物での火災がそれぞれ1件となっています。	(%)	90 80 70 60	38.5 45 75 83.3	75.0 78 80 83.3	☀ (向上) ● (向上) ● (達成度) ■ (中)
		基準	R03	R04	R05	R06

基本事業02 消防団体制の強化

指標	消防団員の充足率(%) 【消防本部】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			94.9	93.6	90.6	100
評価	(状況) 令和6年度は、退職する団員が少なく新規入団、再入団する団員も見受けられた。しかし、消防団員の減少傾向であることには変わりないです。 (原因) 全国的に人口減少や少子化・高齢化社会が大きく関わっていると考えられます。加えて団員の労働条件も影響していると考えられ仕事と消防団業務との両立が難しくなっていることが要因と思われます。	(%)	100 96 92 88 84 80	93.6 90 88 85 82 80	90.6 92 95 98	☂ (低下) ● (低下) ● (達成度) ▼ (マイナス)
		基準	R03	R04	R05	R06

基本事業02 消防団体制の強化

指標	消防団車両・装備の出動時トラブル・不具合件数(件) 【消防本部】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 令和元年から0件を維持し順調です。消防団員の日常点検において小さな異常を早期発見、修繕に努めています。団員も定期点検を行い異変を感じた時点で早期連絡、早期改善に努めています。 (原因) 資器材は、特に可搬ポンプは機密機材のため新旧問わず機種多様にトラブルが発生します。新型では電気系トラブル。旧型は劣化・オイル交換などが見受けられます。	(件)	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	☀ (向上) ● (向上) ● (達成度) ■ (達成)
		基準	R03	R04	R05	R06

基本事業03 救命率の向上

指標	市民による蘇生処置実施率(%) 【消防本部】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
			45.5	48.1	48.1	☀ (向上)	
評価	(状況) 令和6年は48.1%で、前年と同じ実施率となりました。 (原因) 通信指令員の口頭指導や、救急講習の際に市民の精神的負担の軽減と実施意欲を促進する声掛けの工夫を行っているとともに、出動中の救急車内から通報者に電話をかけるプレ・アライバル・コール(PAC)の際に蘇生措置の実施を促す声掛けも行っているものの、バイスタンダーが高齢者で実施が困難な場合も多くあったため実施率が向上しなかったと考えられます。	(%)	80	60	40	20	0
		45	48	50	55	60	
			R03	R04	R05	R06	基準

基本事業03 救命率の向上

指標	救急救命士複数搭乗率(%) 【消防本部】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
			55.9	57.6	60.8	64.3	
評価	(状況) 令和6年の重症以上の救急件数は120件でした。そのうち救急救命士複数搭乗は48件で、複数搭乗率は40.0%でした。救急車と同時出動した消防隊の救命士を含めた活動件数は73件で複数活動率は60.8%でした。 (原因) 令和6年の救命士数は28名で免許取得により前年比で1名増加しました。そのうち主に救急活動に従事する運用救命士は18名となっています。救急隊に救命士が複数搭乗する機会は限られましたが、緊急性度の高い事案で救急隊と同時に活動する消防隊に救命士が搭乗し活動した割合である複数活動率は増加しました。	(%)	80	60	40	20	0
		55	57	58	60	64	
			R03	R04	R05	R06	基準

基本事業04 消防力の整備

指標	消防車両・装備の出動時トラブル・不具合件数(件) 【消防本部】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 令和6年度の消防車両7台の点検整備と装備品は管理されており、出動時のトラブルは0件です。総合計画基準値と同値を維持しており、目標値を達成しています。 (原因) 法定点検や日常点検により車両、装備の管理をしていることで、未然に大きな故障となる前に対応しています。	(件)				☀ (向上)
		R03	R04	R05	R06	基準

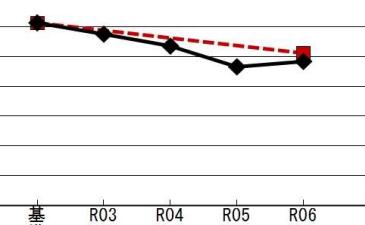
政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 06 防犯対策の充実

あるべき姿

犯罪のない安全なまちになっています。

施策の成果状況と評価

指標	人口 1 万人当たりの犯罪発生件数（件） 【総務課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値	
		30.7	23.3	24.2	25.6	 (向上)	
評価	<p>指標値は 1 ~ 12 月の暦年でカウント</p> <p>(状況) 令和 6 年度は 24.2 件で、令和 5 年度から 0.9 件増加し、総合計画目標値より 1.4 件減少し、順調に推移しています。</p> <p>(原因) 市防犯協会、自治会、警察、行政が一体となり防犯啓発活動を実施した結果、総合計画目標を達成することができました。</p> <p>今後継続して目標を達成するためには、地域の自主防犯パトロール活動を推進する必要があります。</p>	(件)	35 30 25 20 15 10 5 0	30 28 26 24 22 20 18 16 14 12 10 8 6 4 2 0	28 26 24 22 20 18 16 14 12 10 8 6 4 2 0	25.6	 (向上)  (低下)  (達成) 

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 防犯意識の向上

指標	自主防犯団体数（団体） 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値										
		35	39	38	40	☀ (向上)										
評価	<p>(状況) 令和6年度は廃止した団体が1団体あり、トータルでは1団体減となりました。</p> <p>(原因) 市の犯罪発生状況や県が主催する講演会や講習会の情報などを、既存団体に発信しています。</p> <p>新規団体設立に向けて防犯協会が自治会で行う活動の際に、既存団体の活動内容の紹介を行い、設立の機運醸成に努めていますが、高齢化や人材不足もあり、新たな団体設立には至っていません。</p>	(団体)	<table border="1"> <caption>自主防犯団体数 (団体)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>			期間	実績値	R03	35	R04	37	R05	38	R06	40	☀ (向上) 対前年度 ☁ (横ばい) 目標達成度 ■ (中)
期間	実績値															
R03	35															
R04	37															
R05	38															
R06	40															

基本事業01 防犯意識の向上

指標	自主防犯団体の延べ活動従事者数（人） 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値										
		12,625	10,893	7,525	14,625	☂ (低下) 対前年度 ☂ (低下) 目標達成度 ⬇ (マイナス)										
評価	<p>(状況) 令和6年度は7,525人で、令和5年度より3,368人減少しましたが、総合計画基準値からは7,100人減少し、順調ではありません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の位置付けが第5類に移行し、登下校時の見守りなどの活動も通常時に戻りましたが、構成員の高齢化のため、活動が停滞した団体も多く見受けられました。新規団体の設立、カウント漏れしていた団体の活動により、活動従事者数は増えましたが、目標達成に至っていません。</p>	(人)	<table border="1"> <caption>自主防犯団体の延べ活動従事者数 (人)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>12,500</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>8,500</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>10,500</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>7,500</td> </tr> </tbody> </table>				期間	実績値	R03	12,500	R04	8,500	R05	10,500	R06	7,500
期間	実績値															
R03	12,500															
R04	8,500															
R05	10,500															
R06	7,500															

基本事業01 防犯意識の向上

指標	防犯対策として実践している事項数（全12項目）（項目） 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値										
		3.2	5.09	5.05	9.00	☀ (向上) 対前年度 ☁ (横ばい) 目標達成度 ■ (低)										
評価	<p>(状況) 令和6年度は5.05項目で、令和5年度より0.04項目減少しました、総計目標値とは大きな開きがあり、順調ではありません。</p> <p>(原因) 安全安心メールによる犯罪発生情報の配信や防犯協会による街頭防犯活動及び世帯への防犯啓発活動の取り組みを行いましたが、浸透しておらず、更なる活動推進が必要です。</p>	(項目)	<table border="1"> <caption>防犯対策として実践している事項数 (項目)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>4.5</td> </tr> </tbody> </table>				期間	実績値	R03	3.5	R04	4.5	R05	4.5	R06	4.5
期間	実績値															
R03	3.5															
R04	4.5															
R05	4.5															
R06	4.5															

基本事業02 防犯設備の整備充実

指標	防犯灯のLED化実施率（%） 【建設課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値										
		49.9	83.8	87.5	85.0	☀ (向上) 対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 ■ (達成)										
評価	<p>(状況) 令和6年度は87.5%で、令和5年度より3.7ポイント増加しています。また、基本計画目標値を2.5ポイント上回りました。</p> <p>(原因) 市管理防犯灯は令和3年度末でLED化率100%になっています。自治会管理防犯灯も補助金事業によりLED化が促進されています。</p>	(%)	<table border="1"> <caption>防犯灯のLED化実施率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>				期間	実績値	R03	55	R04	70	R05	80	R06	85
期間	実績値															
R03	55															
R04	70															
R05	80															
R06	85															

基本事業02 防犯設備の整備充実

指標	市が設置した防犯カメラ設置総基數(累計)（基） 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		4	20	20	20	(向上)
評価	(状況)令和6年度は、令和元年度からの5か年を計画として、合計20基の設置を完了しました。また、令和7年度からの5か年を2次計画として、合計11基の設置を予定しております。 (原因)第1次設置計画が完了、現在20基の見守りカメラが稼働しています。カメラ画像の提供件数について、令和6年度は27件でした。今後も、地域防犯の一助となるように適切に管理する必要があります。	(基)				対前年度
		25	20	15	20	(横ばい)

年	実績値 (R05)	目標値 (R06)
R03	5	4
R04	12	10
R05	15	20
R06	20	20

基本事業03 消費者に対する防犯対策の推進

指標	市消費者相談窓口への消費生活に係る犯罪と疑われる事案の相談件数(件) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		26	16	5	-	(比較不可)
評価	(状況)令和6年度は5件で、令和5年度より11件減少、総合計画基準値より15件減少で推移しています。 (原因)5件の内訳は架空請求1件、不当請求4件となっています。原因是相談員の在籍と窓口の周知・啓発等が浸透してきたことがあります。	(件)				対前年度
		30	25	10	15	(比較不可)

年	実績値 (R05)	目標値 (R06)
R03	26	26
R04	16	15
R05	5	15
R06	5	15

基本事業04 青少年の健全育成

指標	青少年の犯罪件数(件) 【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		14	5	4	→	(向上)
評価	(状況)令和6年度は4件で、令和5年度が5件でしたので1件減少しました。また総合計画基準値に関しても過去4年間徐々に減少していく、順調な結果となりました。 (原因)阿賀野市警察署のパトロール強化や地域防犯意識の向上により、阿賀野市全体において犯罪件数が減少したと考えられます。	(件)				対前年度
		30	24	18	12	(向上)

年	実績値 (R05)	目標値 (R06)
R03	14	12
R04	10	10
R05	8	10
R06	4	10

政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 07 交通安全対策の推進

あるべき姿

交通事故が少なくなり、死傷者数が減少しています。

施策の成果状況と評価

指標	人口 1 万人当たりの交通事故発生件数 (件)	【総務課】				総合計画基準値 (R05)	実績値 (R06)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対基準値 (マイナス)
		12.1	9.4	13.6	10.5					
評価	(状況) 令和 6 年度は 13.6 件で、基準値よりも 1.5 件増加し、目標値よりも 3.1 件多くなく目標を達成できませんでした。 (原因) 季節ごとの交通安全運動、幼児や小中学校の交通安全教室が定着し、交通安全協会、交通指導員、警察、行政が一体で活動できている効果が表れていますが、更なる推進が必要です。	(件)	14	12	10	8	6	4	2	0
			12	10	8	6	4	2	0	
			12.1	9.4	13.6	10.5				
			基準	R03	R04	R05	R06			

指標	交通事故負傷者数 (人)	【総務課】				総合計画基準値 (R05)	実績値 (R06)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対基準値 (マイナス)
		52	42	64	35					
評価	指標値は 1 ~ 12 月の暦年でカウント (状況) 令和 6 年度は 64 人で、令和 5 年度より 22 人増加しています。 (原因) 交通事故の被害に遭いやすい幼児、小中学生の交通安全教室は浸透してきていますが、高齢者が被害者となる事故が増えています。	(人)	200	160	120	80	40	0	0	
			200	160	120	80	40	0	0	
			52	42	64	35				
			基準	R03	R04	R05	R06			

指標	交通事故死者数 (人)	【総務課】				総合計画基準値 (R05)	実績値 (R06)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対基準値 (中)
		3	1	1	0					
評価	指標値は 1 ~ 12 月の暦年でカウント (状況) 令和 6 年度は前年度に引き続き、死亡事故が発生し、1 人の方が亡くなられました。 (原因) 今回の死亡事故は、市道で軽自動車と歩行者による事故でしたが、このことを教訓にし、さらに交通安全運動を強化し、交通死亡事故「0」を目指す必要があります。	(人)	10	8	6	4	2	0	0	
			10	8	6	4	2	0	0	
			3	1	1	0				
			基準	R03	R04	R05	R06			

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 交通安全意識の向上

指標	交通安全のため実践している事項数（全12項目）（項目） 【総務課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値	
		6.4	8.28	8.40	9	 (向上)	
全12項目での平均実施項目		(項目)					
評価	<p>(状況) 令和6年度は8.40項目で、令和5年度より1.2項目増加しました。</p> <p>(原因) 交通安全運動などの実践により、市民の交通ルールへの意識が確実に醸成できていますが、今後目標を達成するためには、横断歩道の一時停止(69.6%)、後部座席のシートベルト着用(46.0%)、早めのライト点灯(67.1%)など実践できていない項目を改善する必要があります。</p>	11	9	7	5	3	1
		基準	R03	R04	R05	R06	

基本事業01 交通安全意識の向上

指標	市民が第1当事者となった事故件数(件) 【総務課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値															
		66	51	62	30	☀ (向上)															
	指標値は1~12月の暦年でカウント	(件)																			
評価	<p>(状況) 令和6年度は62件で、令和5年度より11件増加し、順調に推移していません。</p> <p>(原因) 交通安全運動などの実践により、市民の交通ルールへの啓発を呼びかけていますが、意識醸成は停滞しています。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値(件)</th> <th>目標値(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>51</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>35</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>55</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>62</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値(件)	目標値(件)	R03	51	66	R04	35	45	R05	55	45	R06	62	30				
年度	実績値(件)	目標値(件)																			
R03	51	66																			
R04	35	45																			
R05	55	45																			
R06	62	30																			

基本事業02 交通安全施設の整備充実

主な事業計画実績の整備充実		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値										
指標	交通安全環境が改善された箇所数（カーブミラー、ガードレール等安全施設新設設置数）（計画期間内累計）(件)															
		【建設課】	24	37	↗	(比較不可)										
評価	(状況)令和6年度はカーブミラー8基、区画線設置2箇所、視線誘導標2箇所、その他安全施設1箇所、計12箇所設置しました。 (原因)自治会要望箇所や道路パトロールで安全対策必要箇所について、対策を実施したものです。	(件)	40	30	20	10	0	基準	R03	R04	R05	R06	(対前年度)	(向上)	(目標達成度)	達成

政策 2

子どもの育成支援の充実

P 40～P 50

施策 1. 子育て環境の充実

施策 2. 学校教育の充実

政策 02 子どもの育成支援の充実

施策 01 子育て環境の充実

あるべき姿

産む・育む等の子育て環境が整い、子どもたちがたくさん暮らすまちになっています。

施策の成果状況と評価

指標	子育てしやすい環境になっていると感じる市民の割合(%) 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	73.6	74.0	71.0	80.0 (横ばい)
評価	<p>(状況) 子育てしやすい環境になっていると感じる市民の割合は、総合計画基準値より2.6ポイント低下しましたが市民アンケートの指標であり統計誤差の範囲であるため横ばい状態で、目標値には届きませんでした。</p> <p>(原因) 基本計画期間を通して、こどもを遊ばせる場所、通学のための交通手段、医療や商業施設等、生活に直結した地域資源の不足を感じていることが原因と思われます。新型コロナウイルス禍や物価高騰を経験し、よりコンパクトな生活圏で経済的負担を軽減しながら子育てすることを望む傾向が強まっています。</p>		80 70 60 50 40 30 20 10 0	73.6 74.0 71.0 80.0	80 70 60 50 40 30 20 10 0	  

指標	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合(%) 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	96.1	96.7	98.3	97.0 (向上)
評価	<p>(状況) この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合は、基準値より2.2ポイント増加し、基本計画目標値97%を達成しました。</p> <p>(原因) 基本計画期間では、出産育児助成制度や子ども医療費助成制度等の経済的負担軽減の拡充や子育て支援センター・道の駅の公園整備等あそび場の充実等が図られ、満足度が向上したと考えられます。</p>		100 80 60 40 20 0	96.1 96.7 98.3 97.0	100 80 60 40 20 0	  

指標	0歳から14歳までの人口(人) 【企画財政課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(人)	4,577	4,163	4,033	4,565 (低下)
評価	<p>(状況) 0歳から14歳までの人口は、計画開始時点より544人減少の4,033人であり、順調ではなく、基本計画開始時点の基準値を下回りました。</p> <p>(原因) 基本計画期間では、基準値時点での10~14歳(1,681人)が対象範囲から抜ける一方、範囲に加わる0~4歳は1,033人に留まります。計画期間を通して出生数の減少が続いてきたことが要因です。</p>		5,000 4,500 4,000 3,500 3,000	4,577 4,163 4,033 4,565	5,000 4,500 4,000 3,500 3,000	  

指標	合計特殊出生率(人) 【企画財政課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(人)	1.31	1.20	0.95	1.63 (低下)
評価	<p>(状況) 合計特殊出生率は、計画開始時点より0.37ポイント減少しており、順調ではなく、基本計画開始時点の基準値を下回りました。</p> <p>(原因) 基本計画期間を通して、出生数は減少を続けています。子どもを産む年代である15~49歳の女性人口が減少していることに加え、特に25~39歳での出生数が減少していることが要因です。</p>		2 1 0	1.31 1.20 0.95 1.63	2 1 0	  

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 妊産婦・乳幼児・保護者の交流と不安軽減

指標	子どもを遊ばせる場所が十分にあると感じる保護者の割合(%) 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	62.1	72.2	69.9	70.0  (向上)
評価	(状況) 子どもを遊ばせる場所が十分にあると感じる保護者の割合は、基準値より7.8ポイント向上し、基本計画目標値70%をほぼ達成しました。 (原因) 基本計画期間は、年々数値が向上しました。子育て支援センターの充実や道の駅あがの公園整備等が満足度の向上につながったと考えられます。	(%)	60	65	70	 (対前年度)
		(%)	60	65	70	 (横ばい)

基本事業01 妊産婦・乳幼児・保護者の交流と不安軽減

指標	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合(%) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	72.4	65.7	87.0	90.0  (向上)
評価	(状況) 令和6年度は87.0%で、令和5年度より21.3ポイント向上し、総合計画基準値より14.6ポイント向上しました。総合計画目標値90.0%にはやや届きませんでした。 (原因) 育てにくさを感じた時に相談先を知っている保護者の割合は、4か月児健診では92.9%、1歳6か月児健診では88.9%、3歳児健診では79.2%で、訪問・健診・教室等で保護者との接点が多い乳児期に比べ、幼児期の相談先の周知の機会が少ないことが影響していると考えます。	(%)	70	75	80	 (対前年度)
		(%)	70	75	80	 (高)

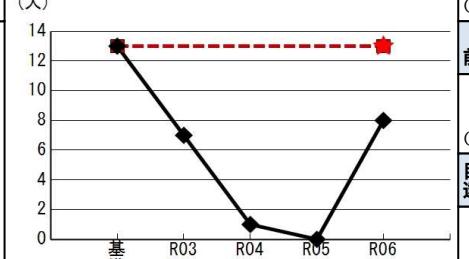
基本事業01 妊産婦・乳幼児・保護者の交流と不安軽減

指標	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合(%) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	88.5	91.2	88.9	95.0  (横ばい)
評価	(状況) 令和6年度は88.9%で、令和5年度に比べて2.3ポイント低下し、総合計画基準値より0.4ポイント向上しています。 (原因) 乳幼児健診で子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合は横ばいで、乳児のウェルカムベビー教室や2歳児教室では子どもの成長・発達の過程や育児の知識を伝えていますが、参加していない保護者も多いことが影響していると考えられます。	(%)	85	88	85	 (対前年度)
		(%)	85	88	85	 (低)

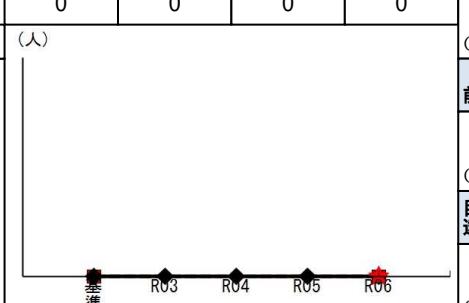
基本事業01 妊産婦・乳幼児・保護者の交流と不安軽減

指標	妊娠・出産の支援に満足している人の割合(%) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	94.8	94.1	97.3	100  (向上)
評価	(状況) 令和6年度は前年度より3.2ポイント向上し、総合計画基準値より2.5ポイント向上ましたが、目標値には届きませんでした。 (原因) 出産子育て応援事業や伴走型支援の実施や、産後ケアの宿泊・日帰り・訪問でのメニューの拡大、利用者の増加により、産後の指導・ケアへの満足度が向上したと考えられます。	(%)	90	92	95	 (対前年度)
		(%)	90	92	95	 (高)

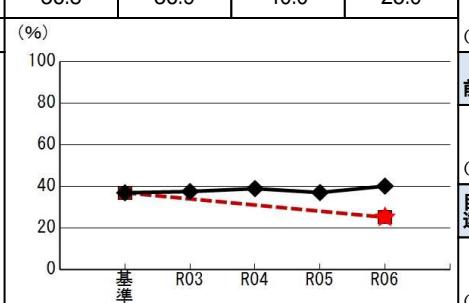
基本事業02 多様な保育サービスの充実

指標	特別保育の受入れができなかった人数（人） 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(人)	13	0	8	 (向上)
評価	(状況) 特別保育の受入れができなかった人数は、計画開始時点より5件減少し、目標を達成しました。 (原因) 児童数の減少により希望者数が減少してきていることに加え、各施設において、利用者の求める保育を提供できるよう日々努めていることが要因と考えられます。	 Y軸: (人) X軸: 基準, R03, R04, R05, R06 データ: (R03, 12), (R04, 0), (R05, 0), (R06, 8)	(人)	14 12 10 8 6 4 2 0	13	 (向上)

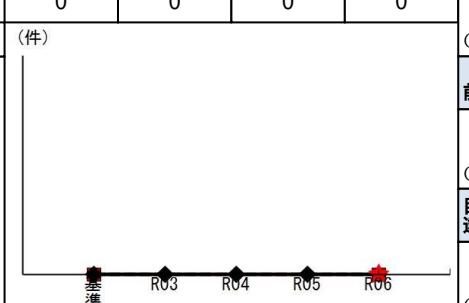
基本事業03 放課後の多様な過ごし方の提供

指標	放課後児童クラブ待機児童数（人） 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(人)	0	0	0	 (向上)
評価	(状況) 放課後児童クラブ待機児童数は、計画開始時点より0人を維持しており、目標を達成しました。 (原因) 全ての小学校区に放課後児童クラブを設置し、需要の多い京ヶ瀬地区においては定員拡充を図り、定員枠の確保に努めました。	 Y軸: (人) X軸: 基準, R03, R04, R05, R06 データ: (R03, 0), (R04, 0), (R05, 0), (R06, 0)	(人)	14 12 10 8 6 4 2 0	0	 (向上)

基本事業03 放課後の多様な過ごし方の提供

指標	放課後の子どもの過ごし方に不満を持っていたり、困っている保護者の割合（%） 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	36.8	36.9	40.0	 (低下)
評価	(状況) 放課後の子どもの過ごし方に不満や困り感をもつている保護者の割合は、基準値より3.2ポイント減少しましたが、市民アンケートの指標のため統計誤差の範囲と考え、計画開始時点から横ばい状態であり、基本計画目標値には届きませんでした。 (原因) 基本計画期間を通じて「子ども達が安全に遊べる場所が少ない」・「塾や習い事をする場所が遠くて、子どもだけで通えない」ことに不安を抱える保護者が多くあり、公園や交通状況、地域資源の整備にかかる課題であるため、期待に応えられるような状況の改善が見られなかったと考えられます。	 Y軸: (%) X軸: 基準, R03, R04, R05, R06 データ: (R03, 37), (R04, 37), (R05, 37), (R06, 37)	(%)	100 80 60 40 20 0	36.8	 (低下)

基本事業04 母子の健やかな成長の支援

指標	妊婦健診未受診での出産数（件） 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	0	0	0	 (向上)
評価	(状況) 令和6年度は0件で、総合計画目標値を達成しています。 (原因) 令和3年度より妊産婦医療費助成の拡大、令和4年からは妊娠・出産包括支援事業の中で「出産子育て応援事業」として妊娠届出後に経済的支援と伴走型支援を受けることができるようになりました。啓発としては「母子保健健康教育事業」のなかで市内の小学校・中学校・高等学校に性教育を実施しており、「予期せぬ妊娠や性感染症の話」をし、自身の体を守り、予期せぬ妊娠などの際に取るべき行動や相談支援の知識を普及しています。これらが成果向上と結びついたと考えます。	 Y軸: (件) X軸: 基準, R03, R04, R05, R06 データ: (R03, 0), (R04, 0), (R05, 0), (R06, 0)	(件)	100 80 60 40 20 0	0	 (向上)

基本事業04 母子の健やかな成長の支援

指標	乳幼児健診平均受診率(%)	【健康推進課】				対基準値 ↓(低下)
		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	
		98.4	99.3	98.0	100	(%)
評価	(状況)令和6年度は98.0%で、令和5年度に比べて1.3ポイント低下し、総合計画基準値より0.4ポイント低下しました。 (原因)乳幼児健診受診率は4か月児98.1%、10か月児97.0%、1歳6か月児96.7%、3歳児は100%となり、令和5年度と比べて4か月児は0.9ポイント、10か月児は1.5ポイント、1歳6か月児は2.4ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲と考えられます。未受診者は未熟児や疾病での医療機関管理の理由が多く、健診で確認できなかった対象者には訪問等で100%確認しています。	100 98 96 94 92 90 88 86 84 82 80	98 99.3 98 100	98 97.0 96.7 100	100	基準 R03 R04 R05 R06

基本事業04 母子の健やかな成長の支援

指標	むし歯がない3歳児の割合(%)	【健康推進課】				対基準値 ↑(向上)
		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	
		90.8	96.3	99.1	93.0	(%)
評価	(状況)令和6年度は99.1%で、令和5年度より2.8ポイント増加し、総合計画の目標値90.8を達成しました。 (原因)仕上げ磨きを毎日している割合が令和6年度は96.1%と令和5年度より0.2ポイント高くなっているためと考えます。	100 98 96 94 92 90 88 86 84 82 80	96.3 99.1 93.0	98 99.1 96.7 100	98 99.1 96.7 100	基準 R03 R04 R05 R06

基本事業05 保護者負担の軽減

指標	子どものための経済的支援の助成総額(千円)	【社会福祉課】				対基準値 ---(比較不可)
		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	
	社会情勢に左右されるため、目標値は設定しません。	54,251	67,986	150,727		(千円)
評価	(状況)子どもの為の経済的支援の助成総額は、基準値より9,647万6千円増額し、計画開始時点の277.8%となりました。 (原因)徐々に支援を拡大し、令和6年度、第2子以降の保育料無償化と副食費の減免、子ども医療費入院費・通院費とも無償化したことで大幅な増額となりました。	200,000 150,000 100,000 50,000 0	54,251 67,986 150,727	67,986 150,727	---	基準 R03 R04 R05 R06

基本事業06 結婚意識の向上

指標	婚姻率(人口千人当たり)(%)	【企画財政課】				対基準値 ↓(低下)
		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	
		3.0	2.0	1.7	3.9	(%)
評価	(状況)婚姻率は、計画開始時点より0.9ポイント減少し、順調ではなく、基本計画開始時点の基準値を下回りました。 (原因)基本計画期間では、新型コロナウィルスによる出会い・交流機会の減少に加え、経済的な背景やライフスタイルの変化などにより、市民の未婚化が進んでいることが要因と考えられます。	4 3 2 1 0	3 2 2 1 0	2 2.5 3 3.5 4	3 2 2.5 3 3.5 4	基準 R03 R04 R05 R06

政策 02 子どもの育成支援の充実

施策 02 学校教育の充実

あるべき姿

子どもたちが魅力ある学校で楽しく学ぶことにより、生きる力が育まれています。

施策の成果状況と評価

指標	全国学力・学習状況調査結果の標準化得点(児童)(点) 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		98	99.0	99.0	100	☀ (向上)
評価	小学6年生の全国平均を100とした時の比較値です。 (状況)令和6年度は99.0で、基準値より1.0ポイント向上しましたが、基本計画目標値100には届きませんでした。経年では、98から100の間に推移し、依然として標準化得点は100を下回る状況が続いています。 (原因)授業改善は進んでいますが、標準化得点が依然として100を割っている状況が続いている原因として、思考力・判断力・表現力が育っていないこと。授業で理解した学習内容の定着・習熟を図るために時間の少なさ(特に、家庭学習時間)が考えられます。	(点)	120 100 80 60 40 20 0	100 99.0 99.0 100 100	100	☀ (向上) ● (対前年度) ○ (横ばい) ■ (目標達成度) ■ (中)
		基準 R03 R04 R05 R06				

指標	全国学力・学習状況調査結果の標準化得点(生徒)(点) 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		98	95.0	96.5	100	☂ (低下)
評価	中学3年生の全国平均を100とした時の比較値です。 (状況)令和6年度は96.5で、基準値より1.5ポイント低下し、基本計画目標値100には届きませんでした。経年では、95から99の間に推移し、依然として標準化得点は100を下回る状況が続いています。 (原因)授業改善は進んでいますが、標準化得点が依然として100を割っている状況が続いている原因として、学習内容の理解を共有する場面に課題。思考力・判断力・表現力が育っていないこと。授業で理解した学習内容の定着・習熟を図るために時間の少なさ(特に、家庭学習時間)が考えられます。	(点)	120 100 80 60 40 20 0	100 99.0 99.0 98.5 99.5	100	☂ (低下) ● (対前年度) ☀ (向上) ○ (目標達成度) ↓ (マイナス)
		基準 R03 R04 R05 R06				

指標	学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合(児童)(%) 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		87.1	87.3	89.1	95.0	☀ (向上)
評価	小学6年生の結果です。 (状況)令和6年度は89.1%で、基準値より2.0ポイント向上しましたが、基本計画目標値95.0%には届きませんでした。 (原因)各校で、いじめ防止の取組や、児童同士や児童と教師の人間関係づくりに力を入れていますが、不登校や不登校傾向の児童の増加が一因と考えられます。	(%)	100 80 60 40 20 0	87.1 87.3 89.1 95.0	95.0	☀ (向上) ● (対前年度) ☀ (向上) ○ (目標達成度) ■ (低)
		基準 R03 R04 R05 R06				

指標	学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合(生徒)(%) 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		83.9	85.3	81.6	90.0	☂ (低下)
評価	中学3年生の結果です。 (状況)令和6年度は81.6%で、基準値より2.3ポイント低下し、基本計画目標値90.0%に届きませんでした。 (原因)一部の学校・学級での生徒指導上の問題が、学校・学級生活へ影響を与えたことが大きな要因と考えられます。	(%)	100 80 60 40 20 0	83.9 85.3 81.6 90.0	90.0	☂ (低下) ● (対前年度) ☂ (低下) ○ (目標達成度) ↓ (マイナス)
		基準 R03 R04 R05 R06				

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 確かな学力の向上

指標	授業が分かる児童生徒の割合（児童）（%） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
		(%)	82.0	85.6	84.9	88.0	☀ (向上)
評価	小学6年生の結果です。 (状況)令和6年度は84.9%で、基準値より2.9ポイント向上しましたが、基本計画目標値88.0%には届きませんでした。 (原因)算数の基礎基本の定着や思考を問う問題の正答率が向上しないことが、理解度の伸びに影響を与えていると考えられます。	(%)	82.0	85.6	84.9	88.0	☀ (向上)
			82.0	85.6	84.9	88.0	☀ (向上)
			82.0	85.6	84.9	88.0	☁ (横ばい)
			82.0	85.6	84.9	88.0	目標達成度
			82.0	85.6	84.9	88.0	■ (低)

基本事業01 確かな学力の向上

指標	授業が分かる児童生徒の割合（生徒）（%） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
		(%)	76.9	72.2	79.8	80.0	☀ (向上)
評価	中学3年生の結果です。 (状況)令和6年度は79.8%で、基準値より2.9ポイント向上し、基本計画目標値80.0%とほぼ同程度になりました。 (原因)各校で生徒の授業改善が進んでいる効果だと考えられます。	(%)	76.9	72.2	79.8	80.0	☀ (向上)
		(%)	76.9	72.2	79.8	80.0	☀ (向上)
		(%)	76.9	72.2	79.8	80.0	☀ (向上)
		(%)	76.9	72.2	79.8	80.0	目標達成度
		(%)	76.9	72.2	79.8	80.0	■ (高)

基本事業01 確かな学力の向上

指標	1日1時間以上家庭学習をしている児童生徒の割合（児童）（%） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
		(%)	69.0	65.4	69.1	85.0	☁ (横ばい)
評価	小学6年生の結果です。 (状況)令和6年度は69.1%で、基準値より0.1ポイント向上しましたが、基本計画目標値85.0%には届きませんでした。 (原因)スマートフォンやゲームを使用する時間が増え、家庭での学習習慣が定着していない状況があると考えます。	(%)	69.0	65.4	69.1	85.0	☁ (横ばい)
		(%)	69.0	65.4	69.1	85.0	☀ (向上)
		(%)	69.0	65.4	69.1	85.0	☀ (向上)
		(%)	69.0	65.4	69.1	85.0	目標達成度
		(%)	69.0	65.4	69.1	85.0	■ (低)

基本事業01 確かな学力の向上

指標	1日1時間以上家庭学習をしている児童生徒の割合（生徒）（%） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
		(%)	57.6	49.9	62.2	70.0	☀ (向上)
評価	中学3年生の結果です。 (状況)令和6年度は62.2%で、基準値より4.6ポイント向上しましたが、基本計画目標値70.0%には届きませんでした。 (原因)スマートフォンやゲームを使用する時間が増え、家庭学習の習慣が身に付かない状況があると考えます。また、勉強することの意義や意味を理解できないことも大きな要因であると考えます。	(%)	57.6	49.9	62.2	70.0	☀ (向上)
		(%)	57.6	49.9	62.2	70.0	☀ (向上)
		(%)	57.6	49.9	62.2	70.0	☀ (向上)
		(%)	57.6	49.9	62.2	70.0	目標達成度
		(%)	57.6	49.9	62.2	70.0	■ (低)

基本事業01 確かな学力の向上

指標	授業でコンピュータなどのICTを使用している割合(児童) (%) 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		6.7	31.4	23.3	100	(向上)
評価	小学6年生の結果です。	(%)				
	(状況)「全国学力・学習状況調査質問紙」の「ほぼ毎日授業でコンピュータなどのICTを使用している児童の割合」が、令和6年度は23.3%となり、令和5年度より8.1ポイント低下、総合計画基準値より16.6ポイント向上しましたが目標値の100%には届きませんでした。 (原因)GIGAスクール構想によって整備された児童一人一台のタブレット端末や電子黒板の活用は推進されていますが、100%の達成にはもう少し時間を要すると考えられます。 後期基本計画からの新規指標	100	80	60	40	20

期間	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)
基準	10	10	100
R03	12	12	100
R04	40	40	100
R05	25	25	100
R06	20	20	100

基本事業01 確かな学力の向上

指標	授業でコンピュータなどのICTを使用している割合(生徒) (%) 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		2.6	13.7	28.9	100	(向上)
評価	中学3年生の結果です。	(%)				
	(状況)「全国学力・学習状況調査質問紙」の「ほぼ毎日授業でコンピュータなどのICTを使用している生徒の割合」が、令和6年度は28.9%で、令和5年度より15.2ポイント向上、総合計画基準値より26.3ポイント向上しましたが目標値の100%には届きませんでした。 (原因)GIGAスクール構想によって整備された児童一人一台のタブレット端末や電子黒板の活用は推進されていますが、100%の達成にはもう少し時間を要すると考えられます。 後期基本計画からの新規指標	100	80	60	40	20

期間	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)
基準	10	10	100
R03	12	12	100
R04	20	20	100
R05	15	15	100
R06	25	25	100

基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る児童生徒の割合(児童) (%) 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		57.8	64.6	62.2	70.0	(向上)
評価	小学5年生の結果です。	(%)				
	(状況)令和6年度は62.2%で、基準値より4.4ポイント向上しましたが、基本計画目標値70.0%には届きませんでした。 (原因)運動習慣の未定着化や生活習慣の乱れ等により、児童の基礎体力の低下傾向にあることが要因と考えられます。	80	60	40	20	0

期間	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)
基準	55	55	70
R03	65	65	70
R04	60	60	70
R05	60	60	70
R06	60	60	70

基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る児童生徒の割合(生徒) (%) 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		52.5	61.9	62.5	60.0	(向上)
評価	中学2年生の結果です。	(%)				
	(状況)令和6年度は62.5%で、基準値より10.0ポイント向上し、基本計画目標値60.0%を達成しました。 (原因)各校が体力向上に向け、運動面だけでなく健康教育にも取り組んだことが要因と考えられます。	80	60	40	20	0

期間	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)
基準	50	50	60
R03	60	60	60
R04	55	55	60
R05	60	60	60
R06	60	60	60

基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	不登校率（児童）（%） 【学校教育課】 各年度の指標値は1年前の値です。（公表時期による）	総合計画基準値 R05	実績値 R06	実績値 R06	目標値 R06	対基準値																		
評価	<p>（状況）令和5年度は3.21%で、基準値より2.25ポイント低下し、基本計画目標値0.30%に大幅に届きませんでした。</p> <p>（原因）いろいろな理由から集団への適応に困難を抱えている児童がいます。また、「学校だけが学びの場ではない」「無理をして登校しなくてもよい」という考え方方が広がってきています。各校において、アセスメントに基づく支援策検討の不十分さや、集団への適応が難しい児童に対する校内での受け入れ態勢を整えられない状況があります。そのため、不登校児童の人数が増え、長期化しているものと考えられます。</p>	(%) <table border="1"> <caption>不登校率（児童）（%）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (R06)</th> <th>目標値 (R06)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>1.0</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>1.0</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>1.8</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>2.2</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>3.2</td> <td>0.30</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (R06)	目標値 (R06)	基準	1.0	0.30	R03	1.0	0.30	R04	1.8	0.30	R05	2.2	0.30	R06	3.2	0.30	0.96	2.17	3.21	0.30
年度	実績値 (R06)	目標値 (R06)																						
基準	1.0	0.30																						
R03	1.0	0.30																						
R04	1.8	0.30																						
R05	2.2	0.30																						
R06	3.2	0.30																						

基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	不登校率（生徒）（%） 【学校教育課】 各年度の指標値は、1年前の値（公表時期による）	総合計画基準値 R05	実績値 R06	実績値 R06	目標値 R06	対基準値																		
評価	<p>（状況）令和5年度は6.02%で、基準値より2.19ポイント低下し、基本計画目標値3.15%に大幅に届きませんでした。</p> <p>（原因）いろいろな理由から集団への適応に困難を抱えている生徒がいます。また、「学校だけが学びの場ではない」「無理をして登校しなくてもよい」という考え方方が広がってきています。各校において、アセスメントに基づく支援策検討の不十分さや、集団への適応が難しい生徒に対する校内での受け入れ態勢を整えられない状況があります。そのため、小学校から不登校の状況が続いている生徒がいると考えられます。</p>	(%) <table border="1"> <caption>不登校率（生徒）（%）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (R06)</th> <th>目標値 (R06)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>4.0</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>4.2</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>4.0</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>5.0</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>5.8</td> <td>3.15</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (R06)	目標値 (R06)	基準	4.0	3.15	R03	4.2	3.15	R04	4.0	3.15	R05	5.0	3.15	R06	5.8	3.15	3.83	5.38	6.02	3.15
年度	実績値 (R06)	目標値 (R06)																						
基準	4.0	3.15																						
R03	4.2	3.15																						
R04	4.0	3.15																						
R05	5.0	3.15																						
R06	5.8	3.15																						

基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	基本的生活習慣ができる児童生徒の割合（児童）（%） 【学校教育課】 小学6年生の結果です。	総合計画基準値 R05	実績値 R06	実績値 R06	目標値 R06	対基準値																		
評価	<p>（状況）令和6年度は91.7%で、基準値より0.5ポイント向上しましたが、基本計画目標値92.0%にはやや届きませんでした。</p> <p>（原因）朝食摂取や早寝早起き等の望ましい生活習慣に関する意識付けが定着してきていると考えられます。</p>	(%) <table border="1"> <caption>基本的生活習慣ができる児童生徒の割合（児童）（%）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (R06)</th> <th>目標値 (R06)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>85</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>85</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>87</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>88</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>88</td> <td>92.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (R06)	目標値 (R06)	基準	85	92.0	R03	85	92.0	R04	87	92.0	R05	88	92.0	R06	88	92.0	91.2	91.6	91.7	92.0
年度	実績値 (R06)	目標値 (R06)																						
基準	85	92.0																						
R03	85	92.0																						
R04	87	92.0																						
R05	88	92.0																						
R06	88	92.0																						

基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	基本的生活習慣ができる児童生徒の割合（生徒）（%） 【学校教育課】 中学3年生の結果です。	総合計画基準値 R05	実績値 R06	実績値 R06	目標値 R06	対基準値																		
評価	<p>（状況）令和6年度は92.6%で、基準値より2.7ポイント向上し、基本計画目標値92.0%を達成しました。</p> <p>（原因）朝食摂取や早寝早起き等の望ましい生活習慣に関する意識付けが定着してきていると考えられます。</p>	(%) <table border="1"> <caption>基本的生活習慣ができる児童生徒の割合（生徒）（%）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (R06)</th> <th>目標値 (R06)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>85</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>85</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>90</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>88</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>90</td> <td>92.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (R06)	目標値 (R06)	基準	85	92.0	R03	85	92.0	R04	90	92.0	R05	88	92.0	R06	90	92.0	89.9	88.9	92.6	92.0
年度	実績値 (R06)	目標値 (R06)																						
基準	85	92.0																						
R03	85	92.0																						
R04	90	92.0																						
R05	88	92.0																						
R06	90	92.0																						

基本事業03 教育環境の確保

指標	学校施設の維持管理上の不具合による教育支障件数（件） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 学校施設の維持管理上の不具合による教育支障件数は、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調であり、総合計画目標値を達成しています。 (原因) 基本計画期間を通して、不具合箇所の早期発見・対応を徹底しており、施設設備の不具合発生による学校運営支障件数及び施設を原因とする給食への異物混入件数は発生しておりません。	(件)				 (向上)  (前年度)  (向上)  (目標達成度)  (達成)

基本事業03 教育環境の確保

指標	学校におけるセキュリティ管理に関する事故・トラブル件数（件） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 令和6年度は、令和5年度に引き続き0件を維持しており、目標値を達成しています。 (原因) 学校情報ネットワークの構築及び学校情報セキュリティポリシーに基づく運用が確実に実施されていることが考えられます。	(件)				 (向上)  (前年度)  (向上)  (目標達成度)  (達成)

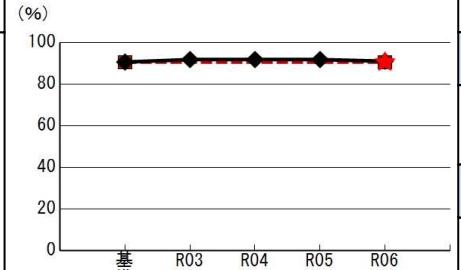
基本事業03 教育環境の確保

指標	心地よい学校生活を送るための施設・備品改善件数（計画期間内累計）(件) 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		-	46	75	↗	(比較不可)
評価	(状況) 心地よい学校生活を送るための施設・備品改善件数（計画期間内累計）は、令和3年度以降、累計で75件の整備を行いました。75件の内訳は、施設系が45件、教材系が30件です。 (原因) 快適な学習環境で学ぶことができるように、教育活動に必要な備品や教材等の整備を進めたことによるものです。	(件)				 (前年度)  (向上)  (目標達成度)  (---)

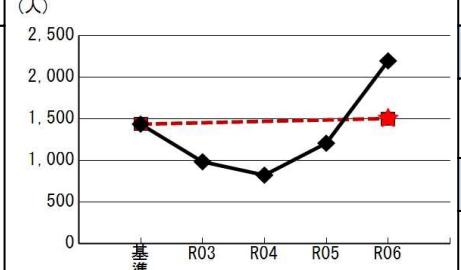
基本事業04 安全な学校生活・通学環境の確保

指標	学校生活に起因する事故件数（災害共済給付金請求件数）(件) 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		294	274	200	210	(向上)
評価	(状況) 令和6年度は200件で、基準値より94件向上し、基本計画基準値210件を達成しました。 (原因) 学校での指示が行き届き、事故が減少しているものと考えられます。	(件)				 (前年度)  (向上)  (目標達成度)  (達成)

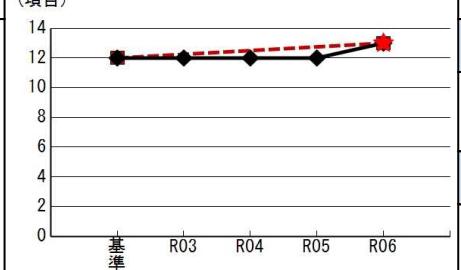
基本事業04 安全な学校生活・通学環境の確保

指標	通学環境に関する満足度（%） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	90.5	91.7	90.9	90.5
評価	(状況) 令和6年度は「満足」「やや満足」の割合が90.9%で、令和5年度に比べ0.8ポイント減少しましたが、ほぼ同じ割合となっています。総合計画目標値を達成しています。 (原因) 通学路の設定や通学バスの運行方法について、概ね適切に行われていると考えられます。		80 60 40 20 0	基準 R03 R04 R05 R06	80 82 84 86 88 90 92	☀ (向上) ☁ (横ばい) 目標達成度 👑 (達成)

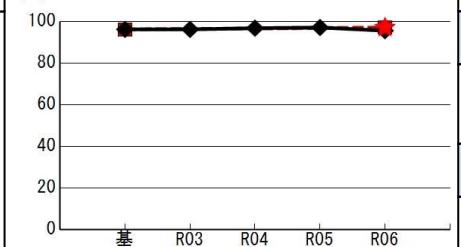
基本事業05 学校・家庭・地域の協働体制の推進

指標	地域等と連携した特色ある教育活動の支援者数（人） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(人)	1,432	1,203	2,192	1,500
評価	(状況) 地域等と連携した特色ある教育活動の支援者数は、基準より760人増加し、基本計画目標値1,500人を達成しました。 (原因) 基本計画期間を通して、各学校が教育課程に地域連携の内容を明確に位置づけ地域連携プログラムを作成・活用し、登下校の見守り運動や交通安全街頭指導など児童生徒の安全安心を確保するための活動が増えたことや、あいさつ運動や総合学習において地域と連携を図り活動することができたことが影響しているものと考えられます。		0 500 1,000 1,500 2,000 2,500	基準 R03 R04 R05 R06	1,432 1,203 800 700 1,100 1,400 1,500 2,192	☀ (向上) 目標達成度 👑 (達成)

基本事業06 経済的負担の軽減

指標	就学援助対象項目（項目） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(項目)	12	12	13	(比較不可)
評価	(状況) 令和6年度は357人に対し12項目（中学生は13項目）の就学援助費の支給を行いました。支給人数は令和5年度より11人減少しました。 (原因) 卒業などによる自然減と新規対象数が減少したことが原因と考えられます。国の基準改正により小学校新入学生徒学用品費の年間支給額を3,000円増額し57,060円としました。		0 2 4 6 8 10 12 14	基準 R03 R04 R05 R06	12 12 11 8 7 10 12 13	☀ (向上) 目標達成度 ---

基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	阿賀野市に愛着を持っている児童生徒の割合（児童）（%） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	96.1	97.0	95.5	97.0
評価	(状況) 令和6年度は95.5%で、基準値より0.6ポイント低下し、基本計画目標値97.0%に届きませんでした。 (原因) 新型コロナ禍中の活動自粛や地域行事の縮小の影響により、地域への関心や意識が薄れてきたことが考えられます。		0 20 40 60 80 100	基準 R03 R04 R05 R06	96.1 97.0 95.5 97.0	☂ (低下) 目標達成度 ⬇ (マイナス)

基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	阿賀野市に愛着を持っている児童生徒の割合（生徒）（%） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	87.1	90.1	91.7	90.0 (向上)
評価	(状況) 令和6年度は91.7%で、基準値より4.6ポイント向上し、基本計画目標値90.0%を達成しました。 (原因) 地域連携プログラムやキャリア教育の推進により、地域に対する愛着を持つ生徒が増えてきたことが考えられます。		87.1 R03 R04 R05 R06	90.1 75 82 85 90	91.7 85 90 92 92	(向上) (向上) (達成度)

基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	地域行事に参加している児童生徒の割合（児童）（%） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	86.2	80.6	83.8	90.0 (低下)
評価	(状況) 令和6年度は83.8%で、基準値より2.4ポイント低下し、基本計画目標値90.0%に届きませんでした。 (原因) コロナ禍中の地域行事等の見直しで、小学生が参加可能な行事が縮小されてきたことが考えられます。		86.2 R03 R04 R05 R06	80.6 78 75 78 82	83.8 78 75 78 82	(向上) (向上) (マイナス)

基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	地域行事に参加している児童生徒の割合（生徒）（%） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	55.9	42.1	58.9	60 (向上)
評価	(状況) 令和6年度は58.9%で、基準値より3.0ポイント向上し、基本計画目標値60.0%にやや届きませんでした。 (原因) 地域の活動が広がってきたことが考えられます。		55.9 R03 R04 R05 R06	42.1 45 50 42 58	58.9 55 58 42 60	(向上) (向上) (中)

基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	学校給食における地場産農産物使用率（%） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	19.0	17.6	17.9	30.0 (低下)
評価	(状況) 学校給食における地場産農産物使用率は、基準値より1.1ポイント低下の17.9%であり、順調ではなく、基本計画開始時点の基準値を下回りました。 (原因) 基本計画期間では、近年の天候不順や異常気象の影響を受け、作物の生育阻害や収穫量の減少等により、主要野菜であるじゃがいもや玉ねぎなど春夏野菜の市内産供給量が低下したことによるものです。		19.0 R03 R04 R05 R06	17.6 18 20 15 18	17.9 18 22 15 18	(横ばい) (横ばい) (マイナス)

政策3

高齢者や障がい者福祉の充実

P 52～P 58

施策 1. 高齢者福祉の充実

施策 2. 障がい者福祉の充実

政策 03 高齢者や障がい者福祉の充実

施策 01 高齢者福祉の充実

あるべき姿

住み慣れた地域で、可能な限り自立した生活を送っています。

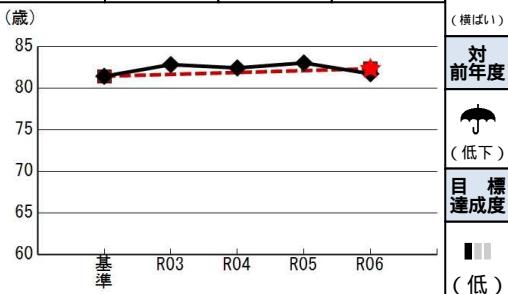
施策の成果状況と評価

指標	元気で介護状態にならずに生活している高齢者の割合 (%) 【高齢福祉課】	総合計画基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対基準値
			81.2	81.6	82.2	 (向上)
評価	<p>(状況) 元気で介護状態にならずに生活している高齢者の割合は、基準値より0.8ポイント向上しましたが、基本計画目標値である82.2%に届きませんでした。</p> <p>(原因) 過去3か年では、僅かながら上昇していますが、第1号被保険者が減少しており、要介護認定者数は横ばいの状態であるためと考えられます。</p> <p>* 第1号被保険者13,973人、事業対象者134人、要介護・要支援認定者2,544人</p>	(%)	100	80	82.2	 (向上)
		100	80	82.2	82.2	 (横ばい)

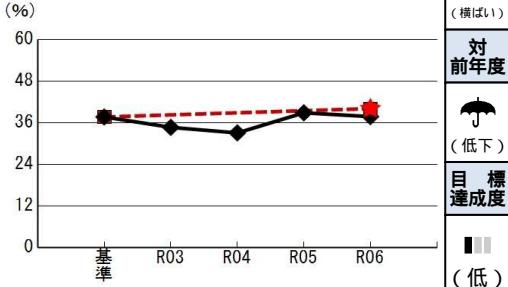
指標	介護サービスの満足度 (%) 【高齢福祉課】	総合計画基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対基準値
			53.4	51.9	55.0	 (向上)
評価	<p>(状況) 介護サービスの満足度は55.3%で、基準値より1.9ポイント、目標値より0.3ポイント向上し、基本計画目標値55.0%を達成しました。</p> <p>(原因) 不満、どちらかといえば不満と回答している人については、料金、サービス内容に対する不満の割合が高くなっていますが、利用していないのでわからないとの回答が多い状況です。</p>	(%)	100	60	55.0	 (向上)
		100	60	55.0	55.0	 (横ばい)

基本事業の成果状況と評価

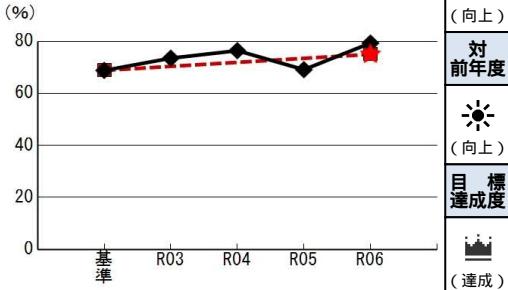
基本事業01 介護予防の推進

指標	要支援認定の新規該当者の平均年齢（歳） 【高齢福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(歳)	81.4	83.0	81.7	82.3  (横ばい)
評価	<p>(状況) 要支援認定の新規該当者の平均年齢は、基準値より0.3歳上昇しましたが、基本計画目標値である82.3歳に届きませんでした。</p> <p>(原因) 90歳以上の新規認定者数が大幅に減少した一方で、65歳から84歳までの認定者数がすべての年代で増加しています。原因疾患としては、生活習慣病に起因すると思われる脳卒中が増加しており、比較的若年での発症により認定申請に至る方が多いためと考えます。</p>		85 80 75 70 65 60	■ 基準 R03 R04 R05 R06	● 対前年度	 (低下)

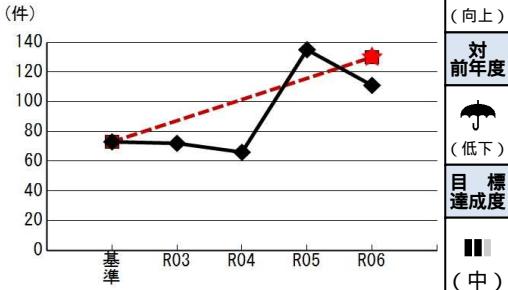
基本事業01 介護予防の推進

指標	社会参加・交流している高齢者の割合(サロン、老人クラブ) (%) 【高齢福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	37.6	38.8	37.7	40.0  (横ばい)
評価	<p>(状況) 社会参加・交流している高齢者の割合は、基準値より0.1ポイント向上しましたが、基本計画目標値には届きませんでした。</p> <p>(原因) 数年前と比べ就労している方は増えています。また、ほぼ毎日、または週に数回外出する方も増えつつあります。一方、コロナ禍を経て活動を再開するサロンもありますが、ボランティアや参加者の高齢化等で終了となつたところが多く、外出機会を保つ、増やすにはどのような手法が有効なのかを考え実践していく必要があります。</p>		60 48 36 24 12 0	■ 基準 R03 R04 R05 R06	● 対前年度	 (低下)

基本事業02 医療介護の連携

指標	介護保険利用者における医療と介護連携の満足度 (%) 【高齢福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	68.8	69.1	79.3	75.0  (向上)
評価	<p>(状況) 介護保険利用者における医療と介護連携の満足度は、基準値より10.5ポイント向上し、基本計画目標値75.0%を達成しました。</p> <p>(原因) 基本計画期間では、連携できていると感じている男性と女性の割合に大きな差はなく経過していましたが、令和6年度は、女性が男性より11.8ポイント上回っています。年齢構成では、年度毎に多少のばらつきがありましたが、50~60歳代で満足度が低下しており介護者の立場としての医療と介護連携に対する回答と考えられます。80歳以上の満足度は、期間中高い結果で推移しています。</p>		80 60 40 20 0	■ 基準 R03 R04 R05 R06	● 対前年度	 (向上)

基本事業02 医療介護の連携

指標	あがの市民病院に設置した医療介護相談窓口の相談件数(件) 【高齢福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	73	135	111	130  (向上)
評価	<p>(状況) 相談件数は、基準値より38件増加しましたが、基本計画目標値である130件に届きませんでした。</p> <p>(原因) 令和3年度、令和4年度と基準値を下回った背景としては、相談窓口対応者が日々の多忙な業務の中で相談件数の計上漏れ等があったことが要因の一つと考えられたため、相談件数の報告方法を令和5年度より簡素化しました。このことにより相談件数が飛躍的に増加し、令和5年度は目標値を達成することができたと考えられます。令和6年度は、目標値を下回りましたが、継続して正確な報告件数を計上できるよう検討します。</p>		140 120 100 80 60 40 20 0	■ 基準 R03 R04 R05 R06	● 対前年度	 (低下)

基本事業03 認知症施策の推進

指標	阿賀野市が認知症になつても安心して暮らせる地域と思う市民割合(%) 【高齢福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	48.2	44.1	55.0	傘(低下)
評価	基準値は令和2年度の値 (状況) 阿賀野市が認知症になつても安心して暮らせる地域と思う市民割合は、基準値より5.3ポイント減少の42.9%であり、順調でなく、基本計画開始時点の基準値を下回りました。 (原因) 認知症になつても安心して暮らせる地域だと思う割合は男性より女性の方が高くなっています。40~50歳代が他世代と比べ認知症になると安心して暮らせない思う率が高くなっています。この年代は親の世代が高齢者となり、親が認知症になつた際の相談先や、認知症サポーター養成講座などを通した認知症への正しい知識の普及啓発が積極的に行えていない世代でもあります。	100 88 76 64 52	40	42.9	55.0	対前年度
		52 40	40	42.9	55.0	雲(横ばい) 目標達成度

基本事業03 認知症施策の推進

指標	認知症サポーター数(人) 【高齢福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(人)	3,707	4,189	4,810	太陽(向上)
評価	(状況) 新規認知症サポーター数は、基準値より1,103人増加し、基本計画目標値4,700人を達成しました。 (原因) 対面での養成講座が令和5年度に引き続き開催できることと共に、中学生対象の講座を開催できたことが大きな要因と考えられます。	5,000 4,000 3,000 2,000 1,000 0	3,707	4,189	4,810	太陽(向上) 対前年度
		4,000 3,000 2,000 1,000 0	3,707	4,189	4,810	太陽(向上) 目標達成度

基本事業04 日常生活の支援

指標	多様な担い手(自治会、ボランティア、NPO、民間等)による生活支援サービス数(数値) 【高齢福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(数値)	16	45	44	太陽(向上)
評価	(状況) 多様な担い手による生活支援サービス数は、基準値より28増加し、基本計画目標値20を達成しました。 (原因) 基本計画期間では、計画当初拠点の居場所からサービスを創出していく予定でしたが、拠点の居場所の広場を運営していくことが精一杯であったため、高齢者の生活支援に賛同する市内外の事業所数に変更し、多くの事業所が登録して協力を得ることができました。	50 40 30 20 10 0	16	45	44	太陽(向上) 対前年度
		40 30 20 10 0	16	45	44	雲(横ばい) 目標達成度

基本事業04 日常生活の支援

指標	外出時の移動に困っている高齢者の割合(%) 【高齢福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	9.8	4.6	7.6	太陽(向上)
評価	(状況) 外出時の移動に困っている高齢者の割合は、基準値より2.2ポイント減少し、基本計画目標値8.0%を達成しました。 (原因) 計画期間を通して、外出時の移動に困っている高齢者の割合は、4%台から7%台の間で増減を繰り返していましたが、基準値を超えることなく推移していました。年代別では60歳代と70歳代前半、地区別では水原地区に高い傾向がありましたが、タクシーの利用が多い地区もあり、タクシーの利用が解決策のひとつとなっていると思われます。	10 8 6 4 2 0	9.8 8 6 4 2 0	4.6 7.6	7.6 8.0	太陽(向上) 対前年度
		8 6 4 2 0	9.8 8 6 4 2 0	4.6 7.6	7.6 8.0	傘(低下) 目標達成度

基本事業05 介護サービスの質と量の充実

指標	入所待機者数(要介護度3以上)(人) 【高齢福祉課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		89	53	86	50	○ (横ばい)
評価	(状況) 特別養護老人ホームの入所待機者数は86人で、基準値より3人減少しましたが、目標値に届きませんでした。(原因) 市内の特別養護老人ホームの定員は平成29年度以降583床で変わっています。令和2年1月にあかの市民病院が介護医療院を54床設置したことや市外の特別養護老人ホームなどへの入所も増えており、一時的に待機者が50人台に減少しましたが、令和6年度は、令和3年度以前の水準に戻りました。高齢化率の上昇、ひとりぐらしや高齢者世帯の増加により、施設入所を希望する高齢者が一定数いることが要因として考えられます。	(人)	100	80	50	○ (横ばい)

The chart displays the number of elderly waiting for institutional care over five months. The Y-axis represents the number of people (人), ranging from 0 to 100 in increments of 20. The X-axis shows the months: 基準 (Benchmark), R03, R04, R05, and R06. The data points are connected by a dashed red line. The values are: 基準 (86), R03 (86), R04 (53), R05 (50), and R06 (86). A red star marks the R05 data point.

月	実績値 (人)
基準	86
R03	86
R04	53
R05	50
R06	86

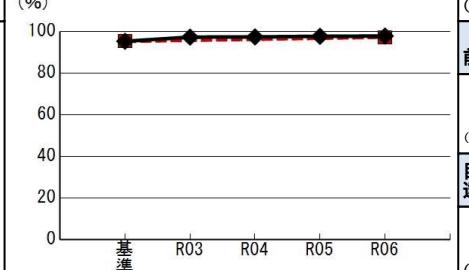
政策 03 高齢者や障がい者福祉の充実

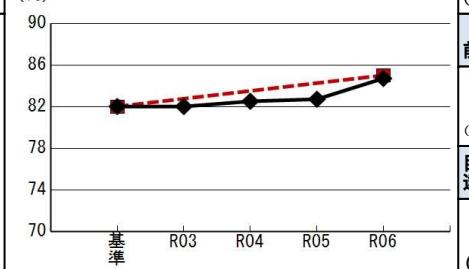
施策 02 障がい者福祉の充実

あるべき姿

障がい者がその障害の特性及び環境に応じて、地域で自立しながら、安心して暮らしています。

施策の成果状況と評価

指標	在宅で生活している障がい者の割合(%) 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	95.2	97.6	97.7	 (向上)
評価	(状況) 在宅で生活している障がい者の割合は、基準値/計画開始時点より2.5ポイント増加し、基本計画目標値97.2%を達成しました。 (原因) 基本計画期間では、共生社会の実現や地域移行推進の機運が高まってきました。しかし、施設を退所する理由は入所者の死亡や長期入院、介護保険施設への移行が多く、在宅で生活できない方がいる状況です。障がい者が地域で生活するためのグループホームや支援体制整備が求められています。		95.2	97.6	97.7	 (向上)  (横ばい)  (達成)

指標	在宅で安心して生活できていると感じる障がい者の割合(%) 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	82.0	82.7	84.7	 (向上)
評価	(状況) 在宅で安心して生活できていると感じる障がい者の割合は、基準値/計画開始時点より2.7ポイント増加しましたが、基本計画目標値である85.0%に届きませんでした。 (原因) 基本計画期間の毎年度の評価を通して、年代別の特徴がみられました。18歳以下は90%を超えていたものの、19歳以上は82~86%で推移しており、在宅で生活する時間が増えることで安否確認の見守りや声かけ支援を必要と感じている方が多いことが原因と思われます。		82.0	82.7	84.7	 (向上)  (横ばい)  (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 自立支援サービスの推進

指標	自立支援給付サービスの利用者数（年間延べ人数）（人） 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値			
			9,709	10,388	10,600	(横ばい)			
評価	<p>（状況）自立支援給付サービスの利用者数（年間延べ人数）は、基準値/計画開始時点より138人増加しましたが、基本計画目標値である10,600人に届きませんでした。</p> <p>（原因）基本計画期間では、共同生活援助（グループホーム）と就労継続支援のサービス利用者が増加しています。支援者の高齢化により自立や生活維持のための就労希望が増加していることが要因です。</p>	(人)	12,000	10,000	8,000	6,000	4,000	2,000	0
						(低下)	(マイナス)		

基本事業01 自立支援サービスの推進

指標	障がいの特性や能力に応じて適切なサービスを受けられていると感じる障がい者の割合（%） 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			80.0	69.3	71.2	85.0
評価	<p>（状況）障がいの特性や能力に応じて適切なサービスを受けられないと感じる障がい者の割合は、基準値/計画開始時点より8.8ポイント減少の71.2%であり、順調でなく、基本計画開始時点の基準値を下回りました。</p> <p>（原因）基本計画期間の毎年度の評価を通して、全ての年代において「市内に特性や能力に応じたサービスが無い」との声が多い結果となっています。特性や能力に応じた就労継続支援A型などの就労系サービスやグループホームなど居住系のサービスなどが市内に少ないことが原因と考えられます。</p>	(%)	100	80	71.2	85.0
						(横ばい)

基本事業01 自立支援サービスの推進

指標	就労訓練施設から就職し、1年以上働き続けている障がい者数（人） 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			23	36	38	28
評価	<p>（状況）就労訓練施設から就職し、1年以上働き続けている障がい者数は、基準値/計画開始時点より15人増加し、基本計画目標値28人を達成しました。</p> <p>（原因）基本計画期間では、就労に関する相談が増加しています。毎年1～5人が就労しており、就労移行支援や就労定着支援などのサービスを利用し適切な支援が行われたことが要因と考えられます。</p>	(人)	40	30	38	28
						(向上)

基本事業02 地域生活支援の基盤づくり

指標	住み慣れた地域で自分らしく生活を送ことができていると感じる障がい者の割合（%） 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			93.1	85.8	89.4	95.0
評価	<p>（状況）住み慣れた地域で自分らしく生活を送ることができていると感じる障がい者の割合は、基準値/計画開始時点より3.7ポイント減少の89.4%であり、順調でなく、基本計画開始時点の基準を下回りました。</p> <p>（原因）基本計画期間の毎年度の評価を通して、年代別の特徴がみられました。必要な支援として18歳未満では保護者の就労により「日中の居場所」の割合が高いものの、18歳以上では近年の全国各地で発生した災害も影響し「安否確認の見守り・声かけ・災害の手助け」の割合が高くなっています。災害時の不安が影響しているものと考えられます。</p>	(%)	100	85.8	89.4	95.0
						(横ばい)

基本事業02 地域生活支援の基盤づくり

指標	地域生活支援事業の利用者数（年間延べ人数）（人） 【社会福祉課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値																		
			3,099	3,133	3,136	3,300																		
評価	<p>（状況）地域生活支援事業の利用者数（年間延べ人数）は、基準値/計画開始時点より97人増加しましたが、基本計画目標値である3,300人に届きませんでした。</p> <p>（原因）基本計画期間では、地域生活支援事業利用者は3,136人おり、その内訳は自動車改造2人、手話奉仕員派遣49人、日常生活用具894人、音声訳8人、その他（移動支援、日中一時、訪問入浴）460人、地域活動支援センター1,724人となりました。手話奉仕員派遣及び地域活動支援センターの利用者の増加が顕著となっていました。</p>	<table border="1"> <caption>Regional Life Support Services User Data (FY2023)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値 (人)</th> <th>目標値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>3,099</td> <td>3,300</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>3,133</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>3,136</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td></td> <td>3,300</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td></td> <td>3,300</td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値 (人)	目標値 (人)	基準	3,099	3,300	R03	3,133		R04	3,136		R05		3,300	R06		3,300				
期間	実績値 (人)	目標値 (人)																						
基準	3,099	3,300																						
R03	3,133																							
R04	3,136																							
R05		3,300																						
R06		3,300																						

基本事業03 児童発達支援の充実

指標	障がい児支援を受けている人数（年間延べ人数）（人） 【社会福祉課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値																		
			2,432	3,103	2,549	2,500																		
評価	<p>（状況）障がい児支援を受けている人数（年間延べ人数）は、基準値/計画開始時点より117人増加し、基本計画目標2,500人を達成しました。</p> <p>（原因）基本計画期間では、支援を受けている人数は2,549人おり、その内訳は児童発達支援862人、放課後等デイサービス1,103人、保育所等訪問支援8人、児童相談支援584人となりました。療育訓練を行う事業所が増えたことや児童相談件数が増加したことが要因です。</p>	<table border="1"> <caption>Child Development Support User Data (FY2023)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値 (人)</th> <th>目標値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>2,432</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>3,103</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>2,549</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td></td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td></td> <td>2,500</td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値 (人)	目標値 (人)	基準	2,432	2,500	R03	3,103		R04	2,549		R05		2,500	R06		2,500				
期間	実績値 (人)	目標値 (人)																						
基準	2,432	2,500																						
R03	3,103																							
R04	2,549																							
R05		2,500																						
R06		2,500																						

政策 4

地域経済の活性化

P 60～P 69

施策 1. 農業の振興

施策 2. 商工業の振興

施策 3. 観光の振興

政策 04 地域経済の活性化

施策 01 農業の振興

あるべき姿

収益を向上させる農業経営が図られることで、農業産出額を増加させ、農業所得が増えています。

施策の成果状況と評価

指標	農業産出額（合計）（百万円） 【農林課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値	
		8,700	8,370	8,380	9,000	傘 (低下)	
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による） (状況)令和6年度に公表された令和5年の農業産出額（推計）は基準値より320百万円減少の8,380百万円（県内第8位）であり、順調でなく、基本計画開始時点の基準値を下回りました。 (原因)本市農業産出額のうち、米の占める割合が7割で、米の作付面積や作況、米価等の影響で数値が上下しますが、気候変動の影響により米価の販売額が低調であったことが要因と思われます。	(百万円)	9,500 9,000 8,500 8,000 7,500 7,000 6,500 6,000	9,000 9,200 8,800 8,500 8,200 8,000 7,800 7,500	8,500 8,700 8,400 8,100 7,900 7,700 7,500 7,300	8,000 8,200 8,400 8,600 8,800 9,000 9,200 9,400	対前年度 雲 目標達成度 マイナス

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 収益を向上させる農業経営

指標	農業産出額（野菜・果実・豆類・いも類・花き）（百万円） 【農林課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値																								
		630	540	530	1,000	傘 (低下)																								
各年度の指標は1年前の値（公表時期による）		(百万円)																												
評価	<p>（状況）令和6年度に公表された令和5年の農業産出額（推計）の野菜等は基準値より100百万円減少の530百万円であり、順調でなく、基準計画開始時点の基準値を下回りました。</p> <p>（原因）市町村の農業産出額は、都道府県の産出額を農林業センサス等の数値を用いて按分するものですが、気候変動に起因する高温・渇水等による収穫量の落ち込みや、規格外品の増加が要因と思われます。</p>	<table border="1"> <caption>農業産出額（野菜・果実・豆類・いも類・花き）（百万円）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (R05)</th> <th>実績値 (R06)</th> <th>目標値 (R06)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>630</td> <td>540</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>540</td> <td>530</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>540</td> <td>530</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>540</td> <td>530</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>530</td> <td>530</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	基準	630	540	1,000	R03	540	530	1,000	R04	540	530	1,000	R05	540	530	1,000	R06	530	530	1,000
年度	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)																											
基準	630	540	1,000																											
R03	540	530	1,000																											
R04	540	530	1,000																											
R05	540	530	1,000																											
R06	530	530	1,000																											

基本事業01 収益を向上させる農業経営

指標	スマート農業やデジタル技術を活用した経営に取り組む農業者（計画期間内累計）（人） 【農林課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値																								
			24	26	140	● (比較不可)																								
各年度の指標は1年前の値（公表時期による）		(人)																												
評価	<p>（状況）スマート農業等に取り組む農業者は2人増加し、累計26人となり、基本計画目標値には届きませんでした。</p> <p>（原因）農業者がスマート農業機械を導入する際、補助事業の活用を支援したことなどから、指標値は増加基調ではありますが、新規取組者が想定より増加しなかったことが要因です。</p>	<table border="1"> <caption>スマート農業やデジタル技術を活用した経営に取り組む農業者（計画期間内累計）（人）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (R05)</th> <th>実績値 (R06)</th> <th>目標値 (R06)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	基準	24	26	140	R03	24	26	140	R04	26	26	140	R05	26	26	140	R06	26	26	140
年度	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)																											
基準	24	26	140																											
R03	24	26	140																											
R04	26	26	140																											
R05	26	26	140																											
R06	26	26	140																											

基本事業01 収益を向上させる農業経営

指標	市内農産物の直売・店舗販売額（農産物直売所販売高）（百万円） 【農林課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値																								
		124	-	252	500	● (向上)																								
各年度の指標は隔年実施の調査によるものです。		(百万円)																												
評価	<p>（状況）直売所販売額は、252百万円となり、基本計画目標値には届きませんでした。</p> <p>（原因）道の駅あがのが開設されたことで、販売額は増加したものの、道の駅あがのの販売額が低調であったことが要因です。</p>	<table border="1"> <caption>市内農産物の直売・店舗販売額（農産物直売所販売高）（百万円）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (R05)</th> <th>実績値 (R06)</th> <th>目標値 (R06)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>124</td> <td>252</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>124</td> <td>252</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	基準	124	252	500	R03	124	252	500	R04	252	252	500	R05	252	252	500	R06	252	252	500
年度	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)																											
基準	124	252	500																											
R03	124	252	500																											
R04	252	252	500																											
R05	252	252	500																											
R06	252	252	500																											

基本事業01 収益を向上させる農業経営

指標	圃場整備率（%） 【農林課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値																								
		24.1	26.7	27.5	27.1	● (向上)																								
各年度の指標は1年前の値（公表時期による）		(%)																												
評価	<p>（状況）令和6年度に新潟県が取りまとめた令和5年度末ほ場整備率は27.5%で、総合計画基準値より3.4ポイント向上し、順調です。</p> <p>（原因）令和元年度以降、市内6地区（中ノ通、堀耕東、滝沢、発久、勝屋、下里）で197haの面整備が実施されたことにより増加したことが要因です。</p>	<table border="1"> <caption>圃場整備率（%）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (R05)</th> <th>実績値 (R06)</th> <th>目標値 (R06)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>24.1</td> <td>27.5</td> <td>27.1</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>24.1</td> <td>26.7</td> <td>27.1</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>26.7</td> <td>27.5</td> <td>27.1</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>27.5</td> <td>27.5</td> <td>27.1</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>27.5</td> <td>27.5</td> <td>27.1</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	基準	24.1	27.5	27.1	R03	24.1	26.7	27.1	R04	26.7	27.5	27.1	R05	27.5	27.5	27.1	R06	27.5	27.5	27.1
年度	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)																											
基準	24.1	27.5	27.1																											
R03	24.1	26.7	27.1																											
R04	26.7	27.5	27.1																											
R05	27.5	27.5	27.1																											
R06	27.5	27.5	27.1																											

基本事業02 デジタル化の推進

指標	スマート農業やデジタル技術を活用した経営に取り組む農業者（計画期間内累計）【再掲】（人） 【農林課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			24	26	140	(比較不可)
評価	(状況)スマート農業等に取り組む農業者は2人増加し、累計26人となり、基本計画目標値には届きませんでした。 (原因)農業者がスマート農業機械を導入する際、補助事業の活用を支援したことなどから、指標値は増加基調ではあります が、新規取組者が想定より増加しなかったことが要因です。	(人)	160 140 120 100 80 60 40 20 0	26	140	(比較不可) 対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 ■ (低)

基本事業03 意欲のある農業者の育成

指標	農業法人数（法人） 【農林課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			32	35	38	42
評価	(状況)農業法人数は3法人増加し、累計38法人となり、基本計画目標値には届きませんでした。 (原因)担い手が不足する中、法人設立数は増加基調であります が、法人設立検討段階で留まっている方がいることが要因です。	(法人)	50 40 30 20 10 0	38	42	

基本事業03 意欲のある農業者の育成

指標	新規就農者数（計画期間内累計）（人） 【農林課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			13	15	20	(比較不可) 対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 ■ (高)
評価	(状況)新規就農者は2人増加し、累計15人となり、基本計画目標値には届きませんでした。 (原因)地域おこし協力隊を含め新規就農研修中の者は増加しておりますが、新規就農まで時間を要することが要因です。	(人)	25 20 15 10 5 0	15	20	

基本事業04 地域循環の創出

指標	農業産出額（生乳）（百万円） 【農林課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			630	680	660	690
評価	(状況)令和6年度に公表された令和5年の農業産出額（推計）のうち生乳は、基準値より30百万円増加の660百万円（県内第3位）となりましたが、基本計画目標値である690百万円に届きませんでした。 (原因)本市農業産出額のうち、畜産の占める割合が約2割でそのうち3割を生乳が占めています。飼料の高騰等で酪農界全体の経営が厳しくなっていることが要因です。	(百万円)	800 600 400 200 0	660	690	

基本事業04 地域循環の創出

指標	農業産出額（野菜・果実・豆類・いも類・花き）【再掲】（百万円） 【農林課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
		630	540	530	1,000	傘 (低下)	
各年度の指標は1年前の値（公表時期による）		(百万円)					
評価	<p>（状況）令和6年度に公表された令和5年の農業産出額（推計）の野菜等は基準値より100百万円減少の530百万円であり、順調でなく、基準計画開始時点の基準値を下回りました。</p> <p>（原因）市町村の農業産出額は、都道府県の産出額を農林業センサス等の数値を用いて按分するものですが、気候変動に起因する高温・渇水等による収穫量の落ち込みや、規格外品の増加が要因と思われます。</p>	1,200	1,000	800	600	400	
		600	540	530	530	200	
		0	0	0	0	0	
		基準	R03	R04	R05	R06	

年度	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)
基準	630	540	1,000
R03	540	530	530
R04	530	530	530
R05	530	530	530
R06	530	1,000	1,000

基本事業04 地域循環の創出

指標	たい肥散布面積 (ha) 【農林課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
		635	638	642	700	雲 (横ばい)	
(状況) たい肥散布面積は基準値より7ha増加しましたが、総合計画目標値である700haに届きませんでした。		(ha)					
評価	<p>（状況）たい肥散布面積は基準値より7ha増加しましたが、総合計画目標値である700haに届きませんでした。</p> <p>（原因）環境保全型農業直接支払交付金事業に取り組む面積は若干増加したものの、安全安心農産物生産推進事業を再構築した有機農業ステップアップ事業に取り組む面積は横ばいであります。</p>	800	700	600	600	500	
		600	600	620	620	400	
		0	0	0	0	0	
		基準	R03	R04	R05	R06	

年度	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)
基準	635	638	700
R03	638	600	600
R04	642	620	620
R05	642	620	620
R06	642	642	700

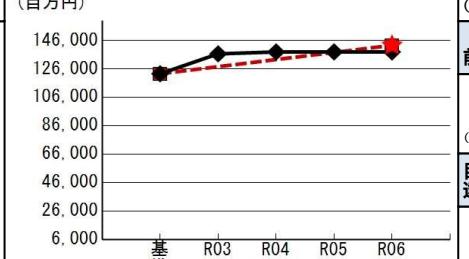
政策 04 地域経済の活性化

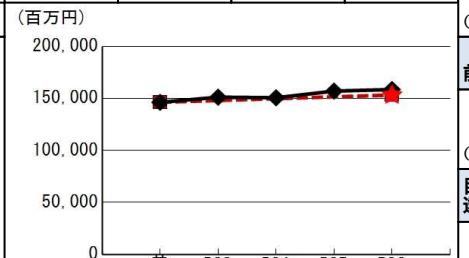
施策 02 商工業の振興

あるべき姿

市内総生産額の増加により、雇用が創出され、地域経済が活性化しています。

施策の成果状況と評価

指標	製造品出荷額等（百万円） 【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		122,557	137,943	137,943	142,574	 (向上)
評価	各年度の指標は2年前の値（公表時期による）	(百万円)				 (向上)
	(状況) 製造品出荷額等は基準値より15,386百万円増加しましたが、基本計画目標値である142,574百万円に届きませんでした。 (原因) 基本計画期間では、市内の事業所数はほぼ横ばいでありますから、景気の緩やかな回復基調のもとでの設備投資等を要因とした生産体制の拡大により、1事業所当たりの製造品出荷額が増加していると考えられます。 なお、業種別の出荷額では、食料品製造業、化学工業、電子部品・デバイス・電子回路製造業の順となっています。					

指標	市内総生産額（第2次・第3次産業）（百万円） 【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		146,166	156,960	158,459	153,138	 (向上)
評価	各年度の指標は2年前の値（公表時期による）	(百万円)				 (向上)
	(状況) 市内総生産額（第2次・第3次産業）は、基準値より12,293百万円増加し、基本計画目標値153,138百万円を達成しました。 (原因) 基本計画期間では、市内の事業所数はほぼ横ばいでありますから、事業所数の増加ではなく、景気の緩やかな回復基調のもとでの設備投資等を要因とした生産体制の拡大により、1事業所当たりの生産額が増加していると考えられます。生産額では、製造業や不動産業・建設業を含む第2次産業が半数以上を占めています。					

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 魅力的な働き場の維持・増加

指標	市内工業団地の事業所で働いている市民の数（人） 【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(人)	1,293	1,258	1,280	1,552
評価	(状況) 市内工業団地の事業所で働いている市民の数は、基準値より13人減少し、1,280人となり、目標値1,552人を下回り、基本計画目標値を達成できませんでした。 (原因) 基本計画期間では、求人に対して応募も増加したが、離職も多かったことが考えられます。	(人)	2,000 1,500 1,000 500 0	1,400 1,200 1,000 800 600 400 200 0	1,552	△(マイナス)

基本事業01 魅力的な働き場の維持・増加

指標	市内工業団地の事業所で働いている市民の割合（%） 【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	34	44	44	40
評価	(状況) 市内工業団地の事業所で働いている市民の割合は、基準値より10%上回り44%となりました。目標値40%を上回り、基本計画目標値を達成しました。 (原因) 基本計画期間では、通勤距離の近い条件を望む市民が増加していると考えられます。	(%)	30 35 40 45 50	30 35 40 45 50	40	△(マイナス)

基本事業01 魅力的な働き場の維持・増加

指標	法人設立件数（件） 【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	19	18	24	23
評価	(状況) 法人設立件数は基準値より5件増加し、24件となり、目標値23件を上回り基本計画目標値を達成しました。 (原因) 基本計画期間では、起業にチャレンジする人が増加したことなどが考えられます。	(件)	15 20 25 30 35 40 45 50	15 18 20 22 24 26 28 30	23	△(マイナス)

基本事業02 デジタル化の推進

指標	労働生産性が向上している企業の割合（%） 【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	29	25	25	40
評価	(状況) 労働生産性が向上している企業の割合は、基準値より4%減少の25%であり、順調でなく、基本計画開始時点の基準値を下回りました。 (原因) 基本計画期間では、売上高及び労働生産人口の減に伴う従業者数の減少によるものと考えます。	(%)	30 35 40 45 50	25 28 30 32 35 38 40 42 45	40	△(マイナス)

基本事業03 域内調達の増加

指標	域内調達額が増加している企業の割合(%)	【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値								
			14	16	16	40	(横ばい)								
評価	(状況) 域内調達額が増加している企業の割合は、基準値より2%増加しましたが、基本計画目標値である40%に届きませんでした。 (原因) 基本計画期間では物流コスト削減のため、域内からの調達が増加していることが考えられます。		(%)	50	40	30	20	10	0	基準	R03	R04	R05	R06	(低)
							(横ばい)								

基本事業04 事業所の経営安定化

基本事業04 事業所の経営安定化

基準事業④ 事業者の経営実証化		総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値																				
指標																										
		0	1,076	1,333	500	 (向上)																				
評価	<p>（状況）プッシュ型メディア配信「事業者支援」の登録者数は、基準値より1,333者増加し、基本計画目標値500者を達成しました。</p> <p>（原因）基本計画期間に阿賀野市公式LINE登録者の増加に伴い、事業者支援の登録者数も増加したことが要因と思われます。</p>	(者)	 <table border="1"> <caption>登録者数（者）</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>実績値 (R05)</th> <th>実績値 (R06)</th> <th>目標値 (R06)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>0</td> <td>850</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>900</td> <td>950</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>1,000</td> <td>1,100</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>1,333</td> <td>1,333</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>	年次	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	R03	0	850	500	R04	900	950	500	R05	1,000	1,100	500	R06	1,333	1,333	500	 (向上)	 (向上)	 (達成)
年次	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)																							
R03	0	850	500																							
R04	900	950	500																							
R05	1,000	1,100	500																							
R06	1,333	1,333	500																							

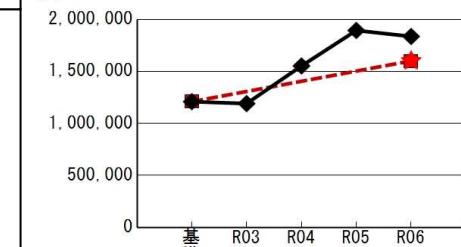
政策 04 地域経済の活性化

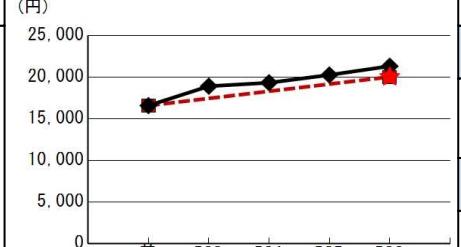
施策 03 観光の振興

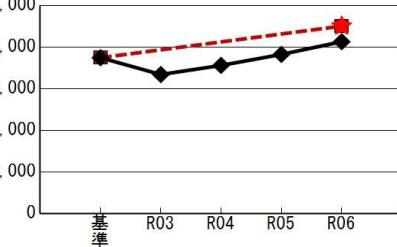
あるべき姿

観光客入込数及び観光消費額の増加により、観光産業が活性化しています。

施策の成果状況と評価

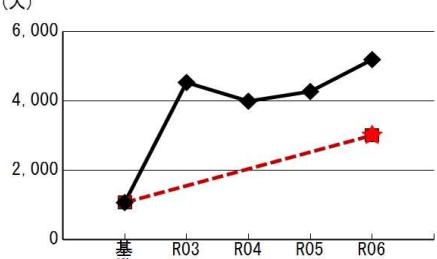
指標	観光客入込数（人） 【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		1,208,159	1,892,739	1,834,803	1,600,000	(向上)
評価	(状況)令和6度年は1,834,803人で、令和5年度より57,936人減となりましたが、総合計画基準値より626,644人増加し、向上しています。 (原因)コロナ禍後は、多くのイベントが再開され観光地点の入込数は徐々に戻りつつあります。令和4年のオープンから観光地の拠点となっている「道の駅あがの」の入込数と、ヤスダヨーグルトへの入込数が順調であること、アウトドア志向の高まりによりいこいの森などのキャンプ場や登山人気による五頭連峰への入込客が増えています。	(人)	2,000,000 1,500,000 1,000,000 500,000 0		1,834,803	(達成)

指標	観光客1人当たりの消費額(宿泊)(円) 【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		16,554	20,233	21,286	20,000	(向上)
評価	(状況)令和6年度は21,286円で、総合計画基準値より4,732円向上しており、順調です。 (原因)消費額の内訳は、五頭温泉郷等の宿泊代19,819円、お土産代1,467円となっています。宿泊する観光客は、市内主要観光施設のヤスダヨーグルトや五頭山麓うららの森などでお土産を買って帰る方が多いと思われます。 後期基本計画からの新規指標	(円)	25,000 20,000 15,000 10,000 5,000 0		21,286	(達成)

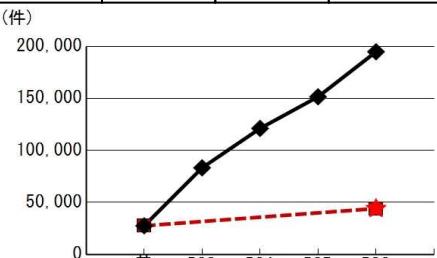
指標	観光客1人当たりの消費額(日帰り)(円) 【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		7,480	7,639	8,250	9,000	(向上)
評価	(状況)令和6年度は8,250円で、総合計画基準値より770円向上しています。 (原因)消費額の内訳は、レジャー費5,315円、お土産代等1,467円、外食費1,468円です。お子さま連れの家族は、レジャー施設を訪れることが多いと思われます。 後期基本計画からの新規指標	(円)	10,000 8,000 6,000 4,000 2,000 0		8,250	(中)

基本事業の成果状況と評価

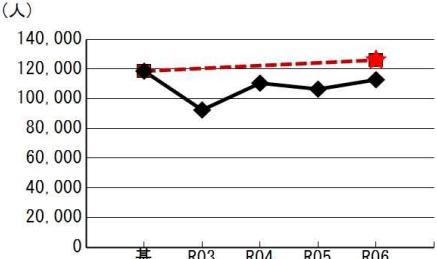
基本事業01 情報発信の強化

指標	市及び市観光協会のSNSの登録者数(人)	【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値														
				1,060	4,263	5,184	(向上)														
評価	<p>(状況) 令和6年度は阿賀野市観光協会フェイスブックのフォロワー数1,527人、阿賀野市LINE公式アカウント「イベント観光」カテゴリ登録者数3,657人、SNS利用者数5,184人増加で、令和4年度より921人増加し、目標を達成しており順調です。</p> <p>(原因) 情報の取得や閲覧等に、チラシや紙面よりSNSを利用する人が多くなっていると思われます。</p> <p>後期基本計画からの新規指標</p>	 <p>グラフ説明: 2023年(基準)から2024年(RO3)までのSNS登録者数の推移。実績値は毎年上昇傾向にあるが、目標値は達成していない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値(人)</th> <th>目標値(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>1,060</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>RO3</td> <td>4,263</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>RO4</td> <td>5,184</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>RO5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>RO6</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値(人)	目標値(人)	基準	1,060	3,000	RO3	4,263	3,000	RO4	5,184	3,000	RO5			RO6			(向上) (向上) (達成)
期間	実績値(人)	目標値(人)																			
基準	1,060	3,000																			
RO3	4,263	3,000																			
RO4	5,184	3,000																			
RO5																					
RO6																					

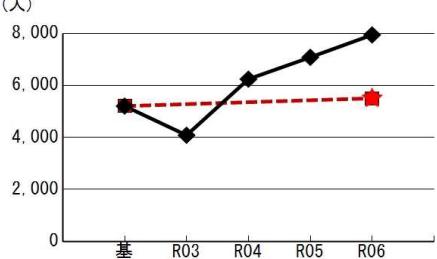
基本事業01 情報発信の強化

指標	観光協会ホームページアクセス件数(件)	【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値														
				27,425	151,456	194,699	44,000 (向上)														
評価	<p>(状況) 令和6年度は194,699件で、令和5年度(151,456件)より43,243件増加し、総合計画基準値より167,274件上回り、目標値を達成して順調です。</p> <p>(原因) 観光協会HP「あがのスポット」の写真素材のページ掲載など、定期的に更新してHPの充実をはかっています。</p> <p>後期基本計画からの新規指標</p>	 <p>グラフ説明: 2023年(基準)から2024年(RO3)までのホームページアクセス件数の推移。実績値は毎年上昇傾向にあるが、目標値は達成していない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値(件)</th> <th>目標値(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>27,425</td> <td>44,000</td> </tr> <tr> <td>RO3</td> <td>151,456</td> <td>44,000</td> </tr> <tr> <td>RO4</td> <td>194,699</td> <td>44,000</td> </tr> <tr> <td>RO5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>RO6</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値(件)	目標値(件)	基準	27,425	44,000	RO3	151,456	44,000	RO4	194,699	44,000	RO5			RO6			(向上) (向上) (達成) (達成)
期間	実績値(件)	目標値(件)																			
基準	27,425	44,000																			
RO3	151,456	44,000																			
RO4	194,699	44,000																			
RO5																					
RO6																					

基本事業02 宿泊客数の増加

指標	五頭温泉郷宿泊客数(人)	【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値														
				118,562	106,445	112,788	126,000 (低下)														
評価	<p>(状況) 令和6年度は112,788人で、令和5年度より6,343人増加し、総合計画基準値より5,774人減少しており、停滞しています。</p> <p>(原因) コロナの影響で減少した宿泊者数は、コロナ禍前の状況には戻りきっておりませんが、五頭温泉郷は顧客満足度調査(新潟県観光地満足度調査)で常に上位となっており、自然、温泉、食等を求める一定数のリピーターが有ります。</p> <p>後期基本計画からの新規指標</p>	 <p>グラフ説明: 2023年(基準)から2024年(RO3)までの五頭温泉郷宿泊客数の推移。実績値は毎年上昇傾向にあるが、目標値は達成していない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値(人)</th> <th>目標値(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>118,562</td> <td>126,000</td> </tr> <tr> <td>RO3</td> <td>106,445</td> <td>126,000</td> </tr> <tr> <td>RO4</td> <td>112,788</td> <td>126,000</td> </tr> <tr> <td>RO5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>RO6</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値(人)	目標値(人)	基準	118,562	126,000	RO3	106,445	126,000	RO4	112,788	126,000	RO5			RO6			(向上) (向上) (目標達成度) (マイナス)
期間	実績値(人)	目標値(人)																			
基準	118,562	126,000																			
RO3	106,445	126,000																			
RO4	112,788	126,000																			
RO5																					
RO6																					

基本事業02 宿泊客数の増加

指標	宿泊施設の連泊(2泊以上)利用者数(人)	【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値														
				5,201	7,077	7,938	5,500 (向上)														
評価	<p>(状況) 令和6年度は7,938人で、令和5年度より861人増で、総合計画基準値より2,737人増加し、向上しています。</p> <p>(原因) 夏の猛暑などの影響で入込客数に影響しましたが、五頭温泉郷では施設全体で、お客様がゆっくり安心して宿泊できるよう、お客様へのおもてなし、親切な案内対応、施設の清掃、整理の徹底など、観光客の滞在延長に繋がるよう取り組みを行っています。</p> <p>後期基本計画からの新規指標</p>	 <p>グラフ説明: 2023年(基準)から2024年(RO3)までの連泊利用者数の推移。実績値は毎年上昇傾向にあるが、目標値は達成していない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値(人)</th> <th>目標値(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>5,201</td> <td>5,500</td> </tr> <tr> <td>RO3</td> <td>7,077</td> <td>5,500</td> </tr> <tr> <td>RO4</td> <td>7,938</td> <td>5,500</td> </tr> <tr> <td>RO5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>RO6</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値(人)	目標値(人)	基準	5,201	5,500	RO3	7,077	5,500	RO4	7,938	5,500	RO5			RO6			(向上) (向上) (目標達成度) (達成)
期間	実績値(人)	目標値(人)																			
基準	5,201	5,500																			
RO3	7,077	5,500																			
RO4	7,938	5,500																			
RO5																					
RO6																					

基本事業03 観光関連事業者の連携強化

指標	観光関連事業者の連携事業数（事業） 【商工観光課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値																		
		2	2	3	7	(向上)																		
評価	<p>(状況) 令和6年度は3事業で、総合計画基準値より1事業数増です。</p> <p>(原因) 誘客推進事業として「月岡温泉・五頭温泉郷周遊ライナー」を10月1日～3月末まで運行、「阿賀野満喫日帰りバスツアー」を11月に6コースを実施、定期観光バス及びレンタサイクル実証事業を11月から12月にかけて実施しました。 後期基本計画からの新規指標</p>	(事業)	<table border="1"> <caption>観光関連事業者の連携事業数（事業）</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>				期間	実績値	目標値	基準	2	2	R03	2	2	R04	2	2	R05	2	7	R06	3	7
期間	実績値	目標値																						
基準	2	2																						
R03	2	2																						
R04	2	2																						
R05	2	7																						
R06	3	7																						

政策5

生活に密着した住環境整備の促進

P 71～P 91

施策 1. 土地の有効利用

施策 2. 道路環境の充実

施策 3. 公共交通の充実

施策 4. 上水道の安定供給

施策 5. 汚水処理の推進

施策 6. 生活衛生・環境の保全

施策 7. 地球環境・自然環境の保全

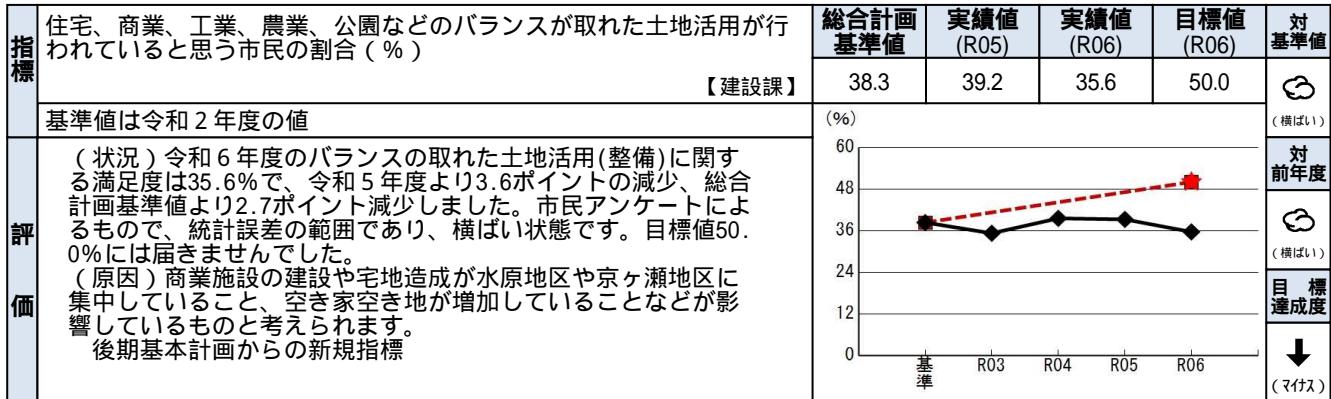
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 01 土地の有効利用

あるべき姿

各地区の特性を踏まえたバランスのとれた土地の有効活用が行われています。

施策の成果状況と評価



基本事業の成果状況と評価

基本事業01 交流拠点としての「道の駅あがの」の推進

指標	「道の駅あがの」の進捗率（%） 【建設課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		6	100	100	100	☀ (向上)
評価	(状況)令和4年度に整備が完了しました。 (原因)予定していた全工事が完了しました。		(%)	100	100	☀ (向上) 対前年度 目標達成度 達成)

期間	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)
R03	0%	80%	100%
R04	100%	100%	100%
R05	100%	100%	100%
R06	100%	100%	100%

基本事業02 適正な開発の促進

指標	全建築申請中に占める都市計画用途地域内の申請割合（%） 【建設課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		40.9	29.5	41.3	↗	☁ (横ばい)
評価	(状況)令和6年度の都市計画区域内において行われた建築行為のうち、用途地域内で建築行為が行われた割合は41.3%で、令和5年度より11.8ポイント増加し、総合計画基準値40.9%よりも0.4ポイント増加しました。 (原因)これまで進んでいた用途地域外の宅地造成等の開発行為が近年減少したことが要因と考えられます。 後期基本計画からの新規指標		(%)	50	40	☀ (向上) 目標達成度 達成)

期間	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)
R03	40.9%	39.5%	41.3%
R04	39.5%	38.0%	38.0%
R05	38.0%	35.0%	35.0%
R06	35.0%	40.0%	41.3%

基本事業02 適正な開発の促進

指標	年間農地開発面積に占める用途地域内開発面積の割合（%） 【建設課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		22.5	8.2	9.2	↗	☂ (低下)
評価	(状況)令和6年度に、住宅や店舗等に活用するために用途地域内で農地転用された面積割合は9.2%で、令和5年度8.2%より1.0ポイント向上し、総合計画基準値より13.3ポイント低下しました。 (原因)用途地域内の転用では、個人住宅1,264m ² 、倉庫及び駐車場2,219m ² が主として見られました。一方、用途地域外では、キャンプ場等用地14,748m ² や事業用倉庫等の施設建設や駐車場の造成が多く、前年度と同様の傾向が見られました。近年、用途地域内に比べて用途地域外での宅地造成、商業施設や事業用倉庫駐車場等の造成が多い傾向にあります。		(%)	35	30	☀ (向上) 目標達成度 達成) ↓ (マイナス)

期間	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)
R03	22.5%	20.0%	22.5%
R04	20.0%	30.0%	30.0%
R05	30.0%	10.0%	10.0%
R06	10.0%	8.2%	9.2%

基本事業03 家屋の適正管理

指標	老朽危険空き家件数(件) 【建設課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		81	69	71	今後設定	☀ (向上)
評価	(状況)市内における老朽危険空き家の総数は71件で前年度から2件増となりました。基準値81件から10件減少しました。 (原因)条例に基づく指導・助言を継続して実施してきたことにより、老朽危険空き家の解体や除却が進んだものの、管理不全の空き家の経年劣化により緩やかに増加傾向にある状況と考えられます。 後期基本計画からの新規指標		(件)	100	80	☀ (向上) 対前年度 目標達成度 ---

期間	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)
R03	81	79	79
R04	79	65	65
R05	65	68	68
R06	68	71	71

基本事業03 家屋の適正管理

指標	木造住宅の耐震化率（%） 【建設課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
			76.4	79.2	79.7	(向上)	
評価	(状況) 令和6年度は79.7%で、前年度79.2%から0.5ポイント、基準値76.4%から3.3ポイント向上し、順調です。 (原因) 令和6年1月1日の能登半島地震発生の影響で、住宅の耐震化にかかる問い合わせが急増したため、前倒して4月から受付を開始しました。しかし、急激なニーズの高まりに対して、十分な診断士を確保できなかつたため、耐震診断件数は前年同様4件でした。耐震改修は問い合わせが数件あったものの実施した住宅はありませんでした。毎年、新築が100件以上、旧耐震の滅失家屋が50~90件程度あることにより、徐々に耐震化率が向上していると考えられます。	(%)	76.4	79.2	79.7	今後設定	(向上)
			76.4	79.2	79.7	今後設定	(横ばい)

基本事業04 公園の維持管理と整備充実

指標	憩の場としての公園の満足度（%） 【公園管理事務所】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
			67.2	68.0	71.7	70.0	(向上)
評価	(状況) 令和6年度は71.7%で、令和5年度より3.7%上昇しました。総合計画目標値(令和6年度)1.7ポイント上回り目標を達成しました。 (原因) 公園の維持管理は滞りなく管理しています。令和4年度にオープンした道の駅あがでの各種イベントの開催で公園の認知が高まったものと思われます。	(%)	67.2	68.0	71.7	70.0	(向上)
			67.2	68.0	71.7	70.0	(向上)

政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 02 道路環境の充実

あるべき姿

市内外への安全かつ円滑な移動に必要な道路が整備され、適切に維持管理されています。

施策の成果状況と評価

指標	道路の整備状況が充実していると感じている市民の割合(%) 【建設課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値		
		73.7	77.7	76.1	80.0	 (向上)		
評価	(状況)令和6年度は76.1%で、基準値より2.4ポイント向上しましたが、目標値より3.9ポイント下回り、基本計画目標値に届きませんでした。 (原因)国道49号水原バイパスは部分供用しましたが、今後はバイパス等の全線開通により市内の道路整備状況の満足度も向上するものと考えられます。	(%)	100	80	60	20	0	 (向上)  (低下)  (目標達成度)  (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 市外へのアクセス向上

指標	市内における国県道の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）(km) 【建設課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値							
		(km)	6.36	6.52	9.8	(比較不可)							
評価	<p>（状況）令和6年度の拡幅・改良・新設延長は、新潟五泉間瀬線の0.16kmの供用があったため6.52kmとなりましたが、目標値の9.8kmには届きませんでした。</p> <p>（原因）水原バイパスが部分共用の状況であるなど、国県道整備に遅れが出たものですが、順次整備は進められています。</p>	<table border="1"> <caption>Line Chart Data (km)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>6.5</td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値	R03	0	R04	6.0	R05	6.5	R06	6.5	<ul style="list-style-type: none"> 前年度 (比較不可): ☀ (比較不可) 目標達成度 (R06): ☀ (向上) (目標達成度) 中 (R06): ■ (中)
期間	実績値												
R03	0												
R04	6.0												
R05	6.5												
R06	6.5												

基本事業02 生活道路の維持管理と整備充実

指標	市道の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）(km) 【建設課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値							
		(km)	1.55	2.41	2.5	(比較不可)							
評価	<p>（状況）令和6年度は、0.86kmの道路を改良整備しましたが、目標値に0.09km届きませんでした。</p> <p>（原因）国道49号水原バイパスの供用に合わせ、関連アクセス道路の整備を進めているためです。今後は、水原バイパスの供用に合わせ、指標値が向上するものと考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>Line Chart Data (km)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>2.4</td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値	R03	1.2	R04	1.5	R05	1.5	R06	2.4	<ul style="list-style-type: none"> 前年度 (比較不可): ☀ (比較不可) 目標達成度 (R06): ☀ (向上) (目標達成度) 高 (R06): ■ (高)
期間	実績値												
R03	1.2												
R04	1.5												
R05	1.5												
R06	2.4												

基本事業02 生活道路の維持管理と整備充実

指標	歩行空間の整備延長（計画期間累計）(km) 【建設課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値							
		(km)	2.0	2.16	2.8	(比較不可)							
評価	<p>（状況）令和6年度は0.16kmの歩道を整備し、改良済み区間の供用を開始しましたが、目標値に0.64km届きませんでした。</p> <p>（原因）国道49号水原バイパスへの接続道路が未供用となっているためです。今後は水原バイパスの全線開通により、接続する県・市道も供用され、指標値が向上するものと考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>Line Chart Data (km)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>2.2</td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値	R03	0.9	R04	1.3	R05	2.0	R06	2.2	<ul style="list-style-type: none"> 前年度 (比較不可): ☀ (比較不可) 目標達成度 (R06): ☀ (向上) (目標達成度) 高 (R06): ■ (高)
期間	実績値												
R03	0.9												
R04	1.3												
R05	2.0												
R06	2.2												

基本事業03 効率的な除排雪の推進

指標	除排雪に満足している市民の割合(%) 【建設課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値							
		(%)	70.5	64.8	64.9	70.5							
評価	<p>（状況）令和6年度は64.9%で、令和5年度より0.1ポイント増加しました。総合計画目標値には5.6ポイント届きませんでした。</p> <p>（原因）令和6年度の累計降雪量は369.0cmで、過去5年間で2番目に多かったことから、例年以上に除雪作業に苦慮したことなどが原因の一つと考えます。</p>	<table border="1"> <caption>Line Chart Data (%)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値	R03	70	R04	58	R05	62	R06	65	<ul style="list-style-type: none"> 前年度 (低下): ☁ (横ばい) 目標達成度 (R06): ☁ (横ばい) (目標達成度) マイナス (R06): ↓ (マイナス)
期間	実績値												
R03	70												
R04	58												
R05	62												
R06	65												

基本事業04 橋りょうの長寿命化

指標	長寿命化が図られた橋りょう数（累計）（橋） 【建設課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値			
		12	17	20	↗	☀ (向上)			
評価	<p>（状況）令和6年度修繕橋梁は3橋であり、累計修繕数が20橋となりました。</p> <p>（原因）修繕計画に基づき修繕を実施したことによるものです。</p> <p>後期基本計画からの新規指標</p>	(橋)	100	80	60	40	20	0	● (達成)

年度	実績値	目標値
基準	10	12
R03	12	12
R04	14	15
R05	16	20
R06	20	20

政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 03 公共交通の充実

あるべき姿

公共交通が充実し、市民生活における移動の利便性が向上しています。

施策の成果状況と評価

指標	公共交通機関の満足度（%） 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値							
		49.4	48.9	51.3	65.0	 (横ばい)							
評価	(状況) 令和6年度は51.3%で、令和5年度より2.4ポイント増加し、総合計画基準値からも1.9ポイント増加しましたが、依然停滞しています。 (原因) 65歳以上の年代では総合計画基準値を上回りました。これは免許返納制度による支援事業や75歳以上フリーパス交付事業による効果と考えられます。しかしながら20歳から59歳の満足度は依然低い水準で推移しています。また、地域別では安田地区、水原地区で50%を下回っており、地域的な差が生まれています。	(%)	100	80	60	40	20	0	 (横ばい)	対前年度	 (横ばい)	目標達成度	 (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 市内の交通手段の確保

指標	市内移動の公共交通機関の満足度（%） 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			52.4	51.3	54.4	(横ばい)
評価	<p>（状況）令和6年度は54.4%で、令和5年度より3.1ポイント上昇し、総合計画基準値からも2.0ポイント高くなりました。</p> <p>（原因）中高校生を子供を持つ年代の40歳～59歳では43.9%と大変低い数値になっています。</p> <p>また、地域別では水原地区、京ヶ瀬地区は基準値を上回っていますが、安田地区、 笹神地区は基準値を下回っており、市内交通の満足度については地域格差が生じています。</p>		(%)	100 80 60 40 20 0	R03 R04 R05 R06	(横ばい) (対前年度) (目標達成度) (低)

基本事業01 市内の交通手段の確保

指標	市営バスの年間総利用者数（人） 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			94,950	81,170	74,641	(低下)
評価	<p>（状況）令和6年度は74,641人で、令和5年度より6,529人減少し、総合計画基準値からも20,309人減少しており、停滞しています。</p> <p>（原因）新型コロナの位置付けが第5類に移行し、人流も戻りつつありましたが、10月から定期定路線の一部をAIオンデマンドバスに移行し、これで冬期間市営バスを通学で利用していた小学生が、スクールバスに移行いたしましたが減少の要因と思われます。</p>		(人)	95,000 90,000 85,000 80,000 75,000 70,000 65,000 60,000	R03 R04 R05 R06	(低下) (対前年度) (低下) (目標達成度) (マイナス)

基本事業02 市外への交通手段の確保

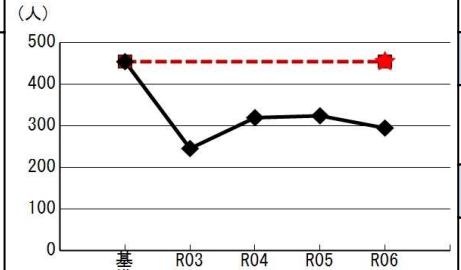
指標	市外移動の公共交通機関の満足度（%） 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			46.3	46.5	48.2	(向上)
評価	<p>（状況）令和6年度は48.2%で、令和5年度より1.7ポイント上昇しましたが、総合計画基準値からは1.9ポイントの上昇にとどまり、停滞しています。</p> <p>（原因）満足しない理由として、新潟方面へのJR直通化（59.9%）、新潟・新津方面へのJR増便（57.3%）、新潟駅へのバス増便（45.9%）が多数を占め、新潟方面へのアクセスについて不便さを感じている人が多いことが原因と思われます。</p>		(%)	100 80 60 40 20 0	R03 R04 R05 R06	(向上) (対前年度) (向上) (目標達成度) (低)

基本事業02 市外への交通手段の確保

指標	水原駅の1日平均乗者数（人） 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			767	703	-	(低下)
評価	<p>（状況）近公表値（JR東日本公表 令和5年乗車人員）は無人駅となったことに伴い、未公表となり令和6年度の実績値は、取得できていません。ただし、市内駅乗車人数調べ（上り下り早朝のみ）よれば、対前年度は横ばいを推移し停滞しています。</p> <p>（原因）通勤・通学での利用に依存していることが停滞の要因と思われます。</p>		(人)	800 750 700 650 600	R03 R04 R05 R06	(対前年度) (比較不可) (目標達成度) (マイナス)

基本事業02 市外への交通手段の確保

指標	市外バス（新潟行き路線バス・高速バス）の1日平均利用者数（人） 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値						
			453.5	323.3	293.9	 (低下)						
評価	(状況)令和6年度は293.9人で、総合計画基準値より159.6人下回り、前年度からは29.4人の減少にとどまりました。 (原因)新型コロナウイルスは落ち着いたものの、コロナ前のような人出は戻らず、人口減や高齢免許保有者の増加により、バスの利用は回復していません。	(人)	500	400	300	200	100	0	 (対前年度)	 (低下)	 (目標達成度)	 (マイナス)
			453.5	323.3	293.9	453.5						



期間	実績値(人)
基準	453.5
R03	323.3
R04	293.9
R05	453.5
R06	453.5

政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 04 上水道の安定供給

あるべき姿

安全な水道水が安定的に供給されています。

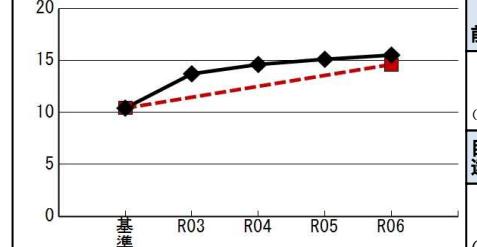
施策の成果状況と評価

指標	安全・安心な水道水が供給されていると感じる市民の割合(%) 【(上水道)】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	96.9	96.7	96.8	98.0
評価	(状況)令和6年度は年度は96.8%で、令和5年度より0.1ポイント増加し、総合計画基準値よりも0.1ポイント減少していますが、統計誤差の範囲であり、現状維持と考えます。 (原因)現状で水質や施設の維持管理が適切に行われている結果と考えます。		100 80 60 40 20 0	■ 100 ◆ 100 ◆ 100 ◆ 100 ■ 100	■ 100 ◆ 100 ◆ 100 ◆ 100 ■ 100	 (横ばい)  (目標達成度)  (マイナス)

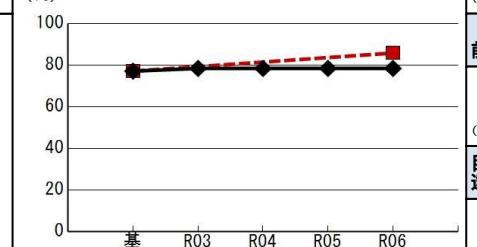
指標	大規模断水事故件数(件) 【(上水道)】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	0	0	0	 (向上)
評価	(状況)平成28年度から大規模断水の発生はなく0件を維持しております、目標を達成し順調です。 (原因)大規模断水の解消を図るため、仕切弁の新設を推進し断水発生時の区域の縮小化を図っています。また、水道近接の工事とは事前協議を徹底し、事故防止に努めています。	5 4 3 2 1 0	■ 0 ◆ 0 ◆ 0 ◆ 0 ■ 0	■ 0 ◆ 0 ◆ 0 ◆ 0 ■ 0	■ 0 ◆ 0 ◆ 0 ◆ 0 ■ 0	 (向上)  (目標達成度)  (達成)

基本事業の成果状況と評価

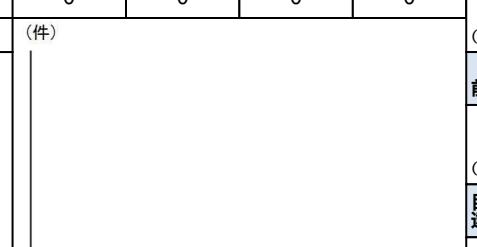
基本事業01 安定供給の推進

指標	管路の耐震化率（%） 【（上水道）】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	10.4	15.1	15.5	14.6  (向上)
評価	<p>（状況）令和6年度の管路耐震化率は15.5%で、令和5年度より0.4ポイント増加し、総合計画基準値では5.1ポイント増加し、目標値を達成しています。併せて、新水道ビジョンとの推移比較を含めて順調です。</p> <p>（原因）平成28年度に策定した新水道ビジョンの事業計画に基づき、耐震管（鉄管やポリエチレン管）に布設替えを計画的に実施できています。</p> <p>【令和6年度実績】13路線の耐震化</p>		20 15 10 5 0	R03 R04 R05 R06	基準	 (対前年度)  (横ばい)  (目標達成度)  (達成)

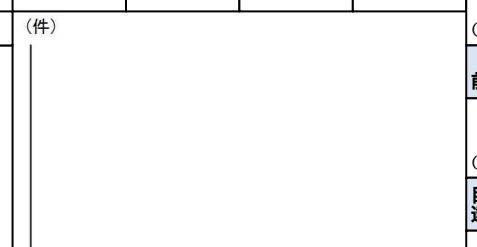
基本事業01 安定供給の推進

指標	浄水施設の耐震化率（%） 【（上水道）】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	77.0	78.3	78.3	85.7  (横ばい)
評価	<p>（状況）令和6年度は78.3%で基準値より1.3ポイント向上しておりますが、ここ3年間変化はなく、総合計画目標値には届きませんでした。</p> <p>（原因）基本計画期間は、他の工事との兼合いにより先送りや施設の耐震診断調査を先行して行った結果、工事に着手でなかったことが要因です。</p>		100 80 60 40 20 0	R03 R04 R05 R06	基準	 (対前年度)  (横ばい)  (目標達成度)  (低)

基本事業02 安全供給の推進

指標	浄水施設の機能不全件数（件） 【（上水道）】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	0	0	0	 (向上)
評価	<p>（状況）継続して基準値0件を維持しており、令和6年度も基本計画目標値を達成しています。</p> <p>（原因）毎日の維持点検等による小修繕の実施、設備機器の定期点検、補修や設備更新計画を着実に推進した結果です。</p>		(件)	R03 R04 R05 R06	基準	 (対前年度)  (向上)  (目標達成度)  (達成)

基本事業02 安全供給の推進

指標	水道水の水質検査において基準を上回った件数（件） 【（上水道）】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	0	0	0	 (向上)
評価	<p>（状況）継続して基準値0件を維持しており、令和6年度も基本計画目標値を達成しています。</p> <p>（原因）年1回の法定検査51項目及び毎日の検査項目である残塩素濃度、品質管理（濁り、臭い、色、pH）を適切に実施して、設備保全を行っているためです。</p>		(件)	R03 R04 R05 R06	基準	 (対前年度)  (向上)  (目標達成度)  (達成)

基本事業03 健全経営の推進

指標	有収率(%) 【(上水道)】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		(%)	84.8	85.6	84.6	88.7
評価	(状況)令和6年度の年度の有収率は84.6%で、令和5年度より1.0ポイント減少しました。総合計画基準値より0.2ポイント下回っています。 (原因)夏季の高温時の水質管理による、水道本管からの排水作業が要因と考えられます。					↑ (マイナス) 対前年度 傘 (低下) 目標達成度 ↓ (マイナス)

基本事業03 健全経営の推進

指標	経常収支比率(一般会計基準外繰入金除く)(%) 【(上水道)】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		(%)	107.2	109.1	110.0	太陽 (向上)
評価	(状況)平成28年度の105.4%から、総合計画(毎年)目標値の100.0%を上回っており、令和6年度は令和5年度の109.1%から0.9ポイント上回り、良好な経営状態が続いている。 (原因)給水人口の減少により給水収益は減少傾向にあり、経常収益は横ばいから微減が続いている。一方経常費用については支払利息が年々減少しており、経常収支比率としては、順調な数値となっています。					↑ (マイナス) 対前年度 雲 (横ばい) 目標達成度 ↑ (達成)

政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 05 汚水処理の推進

あるべき姿

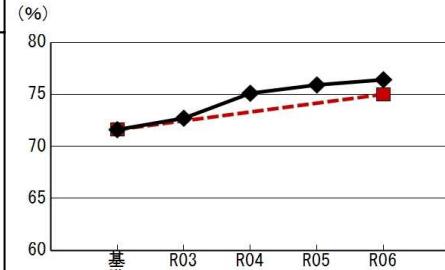
公共用水域の水質の保全のため、適正に汚水処理する世帯が増えています。

施策の成果状況と評価

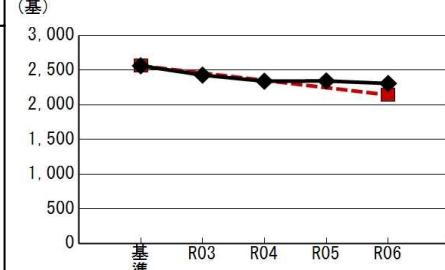
指標	汚水処理人口普及率(%) 【上下水道局(下水道)】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	95.9	97.7	97.7	97.9  (向上)
評価	(状況)令和6年度は97.7%で、令和5年度から横ばいでしたが、総合計画基準値より1.8ポイント増加し順調です。 (原因)下水道整備が計画的に進められています。新築や改築で下水道または合併処理浄化槽への接続世帯が増加していますが、人口減少が大きいことで横ばいにとどまっていると考えられます。		100 80 60 40 20 0	100 97.7 97.7 97.9	100 97.7 97.7 97.9	 (横ばい)  (高)

基本事業の成果状況と評価

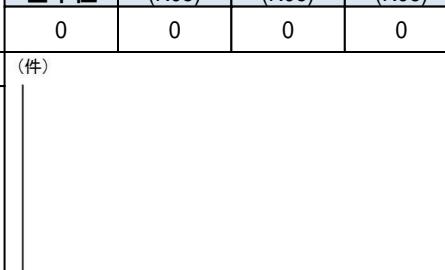
基本事業01 汚水処理施設の整備と接続の促進

指標	水洗化率(%) 【上下水道局(下水道)】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	71.6	75.9	76.4	75.0
評価	(状況) 令和6年度は76.4%で、令和5年度より0.5ポイント増加し、総合計画基準値より4.8ポイント増加し順調です。 (原因) 下水道整備が計画的に進められており、新築や改築で下水道または合併処理浄化槽への接続世帯が増加していることが要因と考えられます。		71.6	75.9	76.4	75.0
			(%)	70	75	80

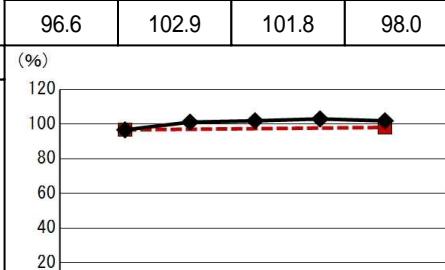
基本事業01 汚水処理施設の整備と接続の促進

指標	単独浄化槽設置基数(基) 【上下水道局(下水道)】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(基)	2,560	2,342	2,305	2,140
評価	(状況) 令和6年度は2,305基で、令和5年度より37基減少し、総合計画基準値より25基減少(改善)し、順調です。 (原因) リフォーム補助金や普及促進事業の活用等により、単独処理浄化槽から下水道への切り替えがあこなわれ減少となりました。これにより住環境の改善、自然水域の保全が図られました。		(基)	2,500	2,300	2,100
			0	2,500	2,300	2,100

基本事業02 汚水処理施設の維持管理の推進

指標	浄化センター・管路施設の不具合・トラブル件数(件) 【上下水道局(下水道)】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 令和6年度は0件で、総合計画開始以降0件を維持し、目標値を達成しており、順調です。 (原因) 施設の不具合・トラブルの発生を未然に防ぐために、日常の点検・メンテナンスを怠ることなく実施しています。また、施設の老朽化や消耗の具合などを勘案し、必要に応じて予防保全または事後保全を適切に実施しており、市民生活に影響を及ぼすような事案は発生しておりません。		0	0	0	0
			(件)	0	0	0

基本事業03 下水道経営の健全化

指標	経常収支比率(%) 【上下水道局(下水道)】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	96.6	102.9	101.8	98.0
評価	(状況) 令和6年度は101.8%で、令和5年度より1.1ポイント減少し、総合計画基準値より5.2ポイント増加し、目標値を達成しています。 (原因) 下水道使用料の増加等による収益の増加、営業費用の減少が要因と考えられます。		96.6	102.9	101.8	98.0
			100	100	100	100

基本事業03 下水道経営の健全化

指標	一般会計からの基準外繰入金（千円） 【上下水道局（下水道）】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		338,994	335,918	339,029	209,740	△
評価	<p>(状況) 令和6年度は339,029千円で、令和5年度より3,111千円増加し、総合計画基準値より35千円増加しています。</p> <p>(原因) 使用料等で賄えない財源不足を補填するためです。 後期基本計画からの新規指標</p>	(千円)	350,000 300,000 250,000 200,000 150,000 100,000 50,000 0	338,994 335,918 339,029 209,740	339,029 339,029 339,029 209,740	 (横ばい)  (低下)  (マイナス)  (目標達成度)

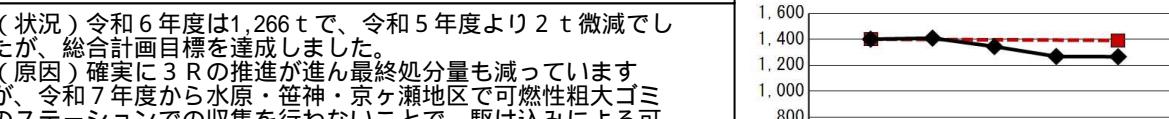
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 06 生活衛生・環境の保全

あるべき姿

ごみや生活公害の少ないまちになっています。

施策の成果状況と評価

指標	最終処分量（t） 【市民生活課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値  (向上)						
		1,401	1,268	1,266	1,392							
評価	<p>（状況）令和6年度は1,266tで、令和5年度より2t微減でしたが、総合計画目標を達成しました。</p> <p>（原因）確実に3Rの推進が進ん最終処分量も減っていますが、令和7年度から水原・篠神・京ヶ瀬地区で可燃性粗大ゴミのステーションでの収集を行わないことで、駆け込みによる可燃性粗大ゴミの量が増えたことに伴い、最終処分量が微減となつたと推測されます。</p>	(t)	1,600	1,400	1,200	1,000	800	600	400	200	0	
		基準	R03	R04	R05	R06						 (横ばい)

指標	生活衛生・環境に関する苦情件数(件) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		134	145	189	120	(件)
評価	(状況) 令和6年度は163件で、総合計画基準値より43件上回っております。また、令和5年度より18件増加しました。 (原因) 内訳は、生活環境関連業務が36件、廃棄物処理業務が26件、動物死骸処理関連業務が118件、水質保全関連業務が9件です。動物死骸処理関連業務が令和5年度より38件増加したこと主な原因です。	250	200	150	100	50
		0				

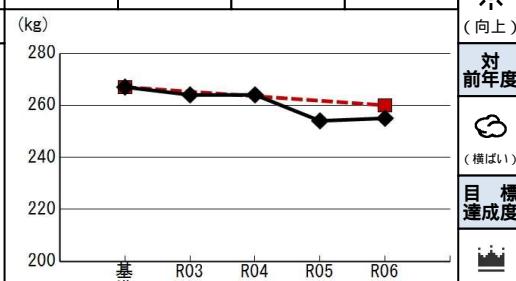
The chart displays the number of complaints from citizens related to health and environment over four years (R03 to R06). The y-axis represents the number of complaints, ranging from 0 to 250 in increments of 50. The x-axis shows the years R03, R04, R05, and R06. The data points are as follows:

年	実績値(件)
R03	145
R04	150
R05	135
R06	190

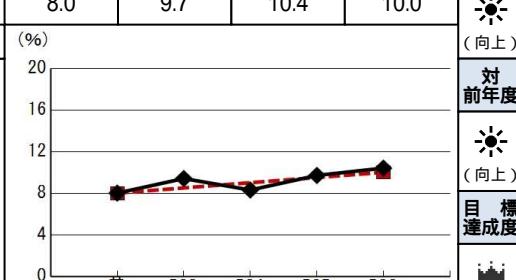
A red dashed line represents the trend, showing a slight overall increase from R03 to R06.

基本事業の成果状況と評価

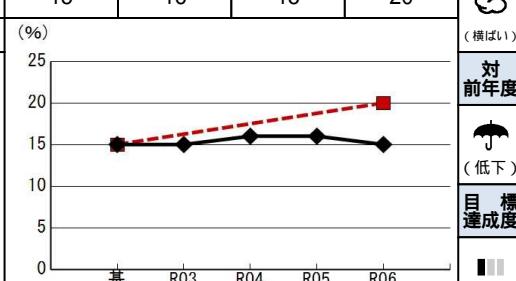
基本事業01 3 Rの推進

指標	市民1人当たりのごみの年間排出量 [リデュース] (kg) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対基準値
		(kg)	267	254	255	 (向上)
評価	(状況) 令和6年度は255kgで、令和5年度より1kg微増でした。 (原因) 令和7年度から水原・ 笹神・ 京ヶ瀬地区で可燃性粗大ゴミのステーションでの収集を行わないことで、駆け込みによる可燃性粗大ゴミの量が増えたことに伴い、市民一人当たりのごみの年間排出量が微増となったと推測されます。		280	260	260	 (対前年度)
			260	255	255	 (横ばい)

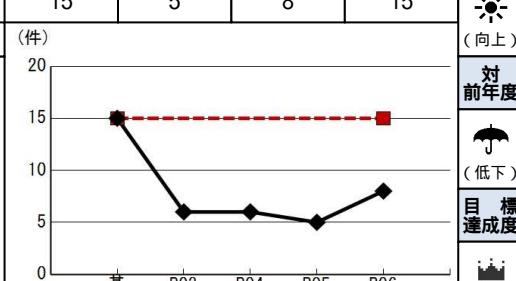
基本事業01 3 Rの推進

指標	使用しなくなった製品の再利用や詰替品の利用などを積極的に行っている市民の割合 [リユース] (%) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対基準値
		(%)	8.0	9.7	10.4	 (向上)
評価	(状況) 令和6年度は10.4%で令和5年度より0.7ポイント増加しました。 (原因) 4 Rの推進啓発活動の効果が徐々にでてきたことが推測されます。		20	16	12	 (対前年度)
			16	12	8	 (向上)

基本事業01 3 Rの推進

指標	ごみの資源化率 [リサイクル] (%) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対基準値
		(%)	15	16	15	 (横ばい)
評価	(状況) 令和6年度は15%で、令和5年度から1ポイント減少ししました。 (原因) 令和7年度から水原・ 笹神・ 京ヶ瀬地区で可燃性粗大ゴミのステーションでの収集を行わないことで、駆け込みによる可燃性粗大ゴミの量が増えたことに伴い、全体的な資源化率が低下したと推測されます。		25	20	15	 (対前年度)
			20	15	15	 (低下)

基本事業02 生活衛生・環境の確保

指標	公害(騒音・振動・悪臭・水質汚濁)苦情件数(件) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対基準値
		(件)	15	5	8	 (向上)
評価	(状況) 令和6年度は悪臭が5件、騒音が3件の計8件で、令和5年度より3件増加しました。増加の内訳は悪臭が2件、騒音が1件です。 (原因) 公害に対する市民意識が高まり、市民の監視の目が厳しくなったことが推測されます。		20	15	15	 (対前年度)
			15	5	5	 (低下)

基本事業02 生活衛生・環境の確保

空き地の管理及び害虫駆除に関する苦情件数（件）		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
指標	【市民生活課】					
	(状況)令和6年度は空き家に関する案件が15件、カラスの駆除に関する案件が1件の計16件で、令和5年度と同数でした。 (原因)人口減により空き地が増える中、継続的な空き地適切な管理の呼びかけや空き家管理に対する必要性が市民に芽吹きつつあると推測されます。	32	16	16	20	 (向上)
評価	(件)	35	30	25	20	 (横ばい)

基本事業02 生活衛生・環境の確保

犬・猫の飼育マナーに関する苦情件数(件)		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値									
指標	【市民生活課】	42	16	11	25	(向上)									
		(件)													
評価	<p>(状況) 令和6年度は猫が5件、犬が6件の計11件で、令和5年度より4件減少しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 飼育マナーの向上啓発と飼育マナーを守ろうとする市民意識が高まっていると推測されます。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>実績値(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>	年次	実績値(件)	R03	42	R04	16	R05	11	R06	25	(向上)	(達成)	対前年度
年次	実績値(件)														
R03	42														
R04	16														
R05	11														
R06	25														

基本事業03 適正なごみ処理の推進

指標	不法投棄の発生確認件数（件） 【市民生活課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
						(件)
	(状況) 令和6年度は26件で、令和5年度と同じ件数でした。 (原因) 繼続的な環境保全巡視員および環境パトロールによる 巡視活動や、不法投棄防止を呼び掛ける看板の設置などの成果 と推測されます。	37	26	26	30	 (向上)
評価						 (横ばい)  (達成度)

基本事業03 適正なごみ処理の推進

基準事業03 週止などの処理の推進		総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値													
指標	野焼きの苦情件数(件)																		
	【市民生活課】	8	7	13	0	傘 (低下)													
	(件)																		
評価	<p>(状況)令和6年度は13件で、令和5年度より6件増加しました。</p> <p>(原因)継続して広報紙による啓発活動を行っていますが、特に年配者の方が野焼きが原則禁止であるとの認識が低く、また、野焼きを監視する市民の目がより一層厳しくなっていると推測されます。</p>	14	12	10	8	6	4	2	0	基準	R03	R04	R05	R06	傘 (低下)	対 前年度	傘 (低下)	目標 達成度	△ (又入)

基本事業03 適正なごみ処理の推進

指標	分別不適合率(焼却量に対する不燃物の含有率) (%) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	0.4	3.3	4.1	傘(低下)
評価	(状況) 令和6年度のごみ焼却量に対する不燃物の含有率は4.1%で、令和5年度より0.8ポイント増加し、依然として目標値の達成までは大きな差が生じています。 (原因) 不燃物を燃えるごみと混ぜて捨てる市民がいるためで、分別方法を理解しないまま捨てている市民が一定数いると推測されます。		10 8 6 4 2 0	4 3 2 1 0	4 3 2 1 0	傘(低下) ↓(マイナス)

基本事業04 ごみ処理体制の適正化

指標	市民1人当たりのごみの処理コスト(円) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(円)	11,543	12,072	12,206	10,700
評価	(状況) 令和6年度は12,206円で、令和6年度より134円増加しました。 (原因) ごみ処理施設運営に必要な燃料費や電気料などの経費の増加が原因を推測されます。		20,000 18,000 16,000 14,000 12,000 10,000 8,000	18,000 12,000 10,000	12,206 10,700	傘(低下) ↓(マイナス)

基本事業04 ごみ処理体制の適正化

指標	ごみ処理における事故件数(件) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	0	0	0	太陽(向上)
評価	(状況) 令和6年度の事故件数は0件で、総合計画開始以降0件を維持しており、目標を達成しています。 (原因) 各処理施設において安全管理を徹底しており、事故を防ぐことができました。		(件)	R03 R04 R05 R06	R03 R04 R05 R06	太陽(向上) 太陽(向上) 太陽(達成)

基本事業04 ごみ処理体制の適正化

指標	災害時の廃棄物処理に関する情報提供が十分に行われていると思う市民の割合(%) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	13.9	15.0	15.0	太陽(向上)
評価	(状況) 令和6年度は15.0%で、令和5年度と同ポイントでした。(原因) 市民への情報提供が不足していることが主な原因と推測されます。		80 60 40 20 0	70 60 40 20 0	70.0	太陽(向上) 雲(横ばい) 目標達成度 ■(低)

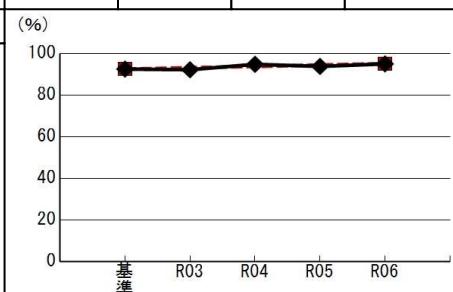
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

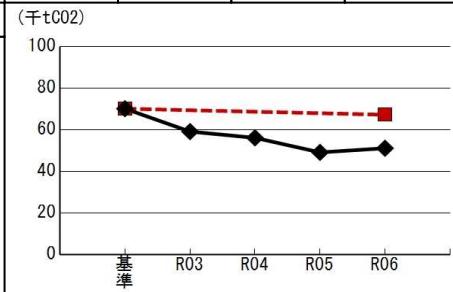
施策 07 地球環境・自然環境の保全

あるべき姿

自然を守り、地球にやさしい暮らしや事業を推進しています。

施策の成果状況と評価

指標	自然環境に満足している市民の割合(%) 【市民生活課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		92.4	93.7	94.9	95.0	 (向上)
評 価	(状況)令和6年度94.9%で、令和5年度から1.2ポイント増加しました。 (原因)例年92~94%で推移しており、必ずしも増加傾向にあるという判断はできませんが、自然に触れる機会や魅力を伝え るPRが不足していると推測されます。	 (%) 100 80 60 40 20 0 基準 R03 R04 R05 R06	93.7	94.9	95.0	 (向上)  (目標達成度)  (高)

指標	部門別CO2排出量(家庭系)(千tCO2) 【市民生活課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		70	49	51	67.1	 (向上)
評 価	各年度の指標は2年前の値 自治体カルテより抜粋 (状況)令和6年度は51千トン-CO2で、令和5年度より2千トン-CO2増加減少しました。 (原因)今年度公表された自治体カルテでは、令和5年度の数値が51千トン-CO2と令和6年度を同数になっており、CO2排出量の算定誤差があります。	 (千tCO2) 100 80 60 40 20 0 基準 R03 R04 R05 R06	49	51	67.1	 (対前年度)  (低下)  (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 自然環境の保全

指標	大気の基準値を上回った件数(件) 【市民生活課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況)令和6年度は0件で、総合計画開始以降0件を維持しております。順調です。 (原因)大気汚染に関する注意報等の発令規準(PM2.5一日平均70μg/m3以上、光化学スモッグ0.12PPM以上)内で推移しており、良好な環境が保たれています。	(件)	5 4 3 2 1 0	R03 R04 R05 R06	基準	☀ (向上)
						目標達成度

基本事業01 自然環境の保全

指標	河川等の水質基準を上回った件数(件) 【市民生活課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況)令和6年度は0件で、全調査地点において年間の水質が環境基準に適合しております。順調となっています。 (原因)定期的な水質調査により河川水質の変化を把握することで、環境基準を超えるような水質悪化の防止に努めているためと考えています。	(件)	5 4 3 2 1 0	R03 R04 R05 R06	基準	☀ (向上)
						目標達成度

基本事業02 地球環境の保全

指標	再生可能エネルギー発電設備導入件数(件) 【市民生活課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		586	694	737	786	☀ (向上)
評価	(状況)令和6年12月末時点で737件で、総合計画基準値より15件増加しております。順調です。 (原因)一般家庭や事業所において地球温暖化対策や災害時の自家消費型発電等について関心が高まっていると考えられます。また、電気料高騰も再生可能エネルギー発電設備導入の後押しになっていると推測されます。	(件)	800 600 400 200 0	R03 R04 R05 R06	基準	☀ (向上)
						目標達成度

基本事業02 地球環境の保全

指標	市の施設における温室効果ガス(CO2)排出量(tCO2) 【管財課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		11,567	10,169	9,257	10,500	☀ (向上)
評価	(状況)阿賀野市のCO2排出量は、基準値より2,310t減少して9,257tとなり、目標値10,500tを下回り、基本計画目標値を達成しました。 (原因)基本計画期間では、道の駅あがの及び阿賀北葬斎場が集計対象施設となり増加しましたが、分田小学校の閉校及び安田幼稚園の閉園並びにデイサービス第二永寿園、デイサービスおおむろの丘及び環境センターの廃止により減少したことが主な要因です。	(tCO2)	12,000 11,000 10,000 9,000 8,000 7,000	R03 R04 R05 R06	基準	☀ (向上)
						目標達成度

政策 6

市民協働の推進

P 93～P 106

施策 1. 市民によるまちづくり活動の推進と支援

施策 2. 生涯学習の充実

施策 3. 人権を尊重するひとづくり

施策 4. 開かれた市政の推進と効果的な情報発信

政策 06 市民協働の推進

施策 01 市民によるまちづくり活動の推進と支援

あるべき姿

市民と行政が協働してまちづくりを行っています。

施策の成果状況と評価

指標	市民と行政が協働してまちづくりを行っていると感じる市民の割合(%) 【市長政策・市民協働課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	51.9	53.0	53.6	55.0
評価	(状況)令和6年度は53.6%で、基準値より1.7ポイント向上しましたが、目標値の55.0%には届きませんでした。 (原因)計画期間において、20~50歳代の生産年齢世代の「行っている」または「どちらかというと行っている」と感じている市民の割合が減少しています。	100 80 60 40 20 0	51.9 53.0 53.6 55.0	53.0 53.6 53.6 53.6	55.0	☀ (向上) ☁ (横ばい) 目標達成度 ■ (中)

指標	コミュニティ活動に参加している市民の割合(%) 【市長政策・市民協働課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	53.8	53.5	56.0	60.0
評価	(状況)令和6年度は56.0%で、基準値より2.2ポイント向上しましたが、目標値の60.0%には届きませんでした。 (原因)計画期間中は新型コロナウイルス感染症の影響でコミュニティ活動が停滞し、徐々に活動が再開されているものの、一旦停滞した自治会活動の活性化には相当の労力必要となっています。	100 80 60 40 20 0	53.8 53.5 56.0 60.0	53.5 56.0 56.0 56.0	60.0	☀ (向上) ☀ (向上) 目標達成度 ■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 自治会活動の活性化

指標	活動が困難になっている行事がある自治会の割合 (%) 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			42.3	24.9	35.0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 令和6年度は前年度より5.8ポイント減少し、19.1%と目標値を達成しました。</p> <p>(原因) コロナ禍のような活動制限がなくなり、行事や集会を再開し、コミュニケーションを取れるようになったことが要因と考えられます。</p> <p>令和6年度アンケートから、設問を「自治会活動が円滑に行われていると感じる」に変更</p>	(%)	50	40	30	20
			40	30	20	10

期間	実績値
基準	42.3
R03	24.9
R04	19.1
R05	35.0
R06	35.0

基本事業02 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア活動団体登録数(団体) 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			117	110	140	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 令和6年度は110団体で、昨年度と変わらない数となっており、計画期間の後半は、総合計画基準値を下回る状態となっています。</p> <p>(原因) コロナ禍が受けたとはいえ、新たに新規登録する団体は少なく、構成員の高齢化や死亡等により活動を休止する団体もあり、横ばいの状態が続いている。</p>	(団体)	160	140	120	100
			120	100	100	80

期間	実績値
基準	117
R03	110
R04	110
R05	140
R06	140

基本事業02 市民活動の活性化

指標	ボランティア活動や市民協働活動に取り組む市民の割合 (%) 【市長政策・市民協働課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			7.8	10.2	15.0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) ボランティア活動等に取り組む市民の割合は、基準値より1.4ポイント向上しましたが、ここ2年間は減少傾向で、目標値15.0%には届きませんでした。</p> <p>(原因) 40歳代における参加割合が減少しているほか、20歳代、30歳代では「参加したことがない」という割合が90%を超える結果となっています。若い世代は仕事や子育てなどのためボランティア活動等に向ける時間が限られることや、活動に対する興味が薄れていることが要因と考えられます。</p>	(%)	20	16	12	8
			12	10	8	4

期間	実績値
基準	7.8
R03	10.2
R04	9.2
R05	15.0
R06	15.0

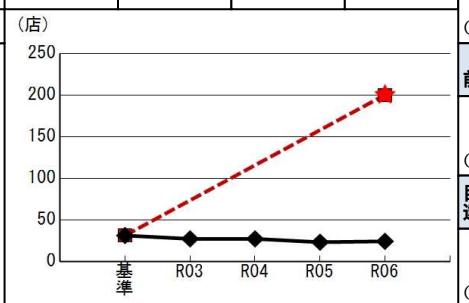
基本事業03 ポイント制度を活用した地域の活性化の推進

指標	加盟店におけるポイントカードの利用件数(件) 【企画財政課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			29,198	23,036	21,943	40,000
評価	<p>(状況) 加盟店におけるポイントカードの利用件数は、計画開始時点より7,255件減少の21,943件であり、順調ではなく、基本計画開始時点の基準値を下回りました。</p> <p>(原因) 基本計画期間を通して、加盟店の減少が続き、根本的な原因である「ポイントの利用しづらさ」を解消することができませんでした。市内店舗では既に独自のスタンプカードやポイントがあることや、全国的なお店で使える汎用性の高いポイントが生活の中で広まっていることが要因と考えられます。</p>	(件)	50,000	40,000	30,000	20,000
			30,000	25,000	20,000	10,000

期間	実績値
基準	29,198
R03	23,036
R04	21,943
R05	40,000
R06	40,000

基本事業03 ポイント制度を活用した地域の活性化の推進

指標	地域ポイントカード加盟店数（店） 【企画財政課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値					
			31	23	200	 (低下)					
評価	<p>(状況) 地域ポイントカード加盟店数は、計画開始時点より7店減少の24店であり、順調ではなく、基本計画開始時点の基準値を下回りました。</p> <p>(原因) 基本計画期間では、加盟店の経営者の高齢化等により事業継続ができずに終了している店舗が見られました。また、既に店舗独自でポイントカード等のサービスを行っているケースもあり、加盟することにおいて手数料やランニングコスト以上のメリットを見いだせていないことが要因です。</p>	(店)	250	200	150	100	50	0	 (向上)	 (目標達成度)	 (マイナス)



期間	実績値	目標値
基準	31	200
R03	23	
R04	24	
R05	24	
R06	24	

政策 06 市民協働の推進

施策 02 生涯学習の充実

あるべき姿

生涯学習に取り組み、豊かな人生を過ごしているとともに、学習成果を地域や社会に還元する市民が増えています。
多くの市民がスポーツに親しんでいます。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合(%) 【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
		(%)	10.8	9.6	11.3	15.0	(横ばい)
評価	(状況)令和6年度は11.3%で、令和5年度よりも1.7ポイント上昇し、基準値よりも0.5ポイント上昇しました。目標値からは、3.7ポイント到達せず、基本計画目標値を達成することができませんでした。 (原因)市民アンケートから分析すると、20歳から49歳までは平均14.0%と基準値を3.2ポイント上回り、目標値に近い取り組み状況ですが、40歳から59歳では平均5.9%と基準値及び目標値を下回る結果となっています。原因としては、仕事や家事により多忙な年代でもあり学習に取り組む余裕がないこと、学習への興味や必要性を感じにくいことなどが原因と考えられます。	(%)	20	16	12	8	(向上)
		0	20	16	12	8	(目標達成度)

指標	学習成果を家庭や地域や社会に還元している市民の割合(%) 【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
		(%)	6.7	6.8	6.3	10.0	(横ばい)
評価	(状況)令和6年度は6.3%で、基準値より0.4ポイント減少し、総合計画目標値10.0%には3.7ポイント届きませんでした。 (原因)年代別に検証したところ、65歳以上が6割を超えており、シニア世代からの還元が多い状況です。反して、20~30代は2割にも満たない状況であり、子育てや就労している世代からの還元は難しいという結果となりました。	(%)	20	16	12	8	(横ばい)
		0	20	16	12	8	(目標達成度)

指標	週1回以上、スポーツに親しんでいる市民の割合(%) 【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
		(%)	14.4	13.9	37.0	20.0	(向上)
評価	(状況)令和6年度は37.0%となり、令和5年度より23.1ポイント、基準値より22.6ポイント上昇し、また目標値からも17.0ポイント上昇しており、基本計画目標値を達成することができました。 (原因)令和5年度において、アンケート内容の検討を行い、スポーツに含まれる運動に「ウォーキング、ラジオ体操などを含む」追記を令和6年度に行なったことから、手軽に実施できる運動を実践している市民が反映されたと考えられます。	(%)	40	30	20	10	(向上)
		0	40	30	20	10	(目標達成度)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 主体的な学習活動の推進

指標	市民主体の年間学習活動回数（延べ）（回） 【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			4,899	5,011	5,976	(向上)
評価	(状況) 学習活動回数は、令和5年度より965回、基準値より1,077回増加しました。また目標値より1,009回増加したことにより、基本計画目標値を達成することができました。 (原因) コロナ禍においては活動自体が自粛となり、高齢化による活動の休止が重なった結果、数値は減少しましたが、近年は活動が回復した結果となりました。	(回)	6,000			● (向上)
		4,000	4,000	5,000	6,000	● (向上)
		2,000				● (目標達成度)
		0				● (達成)

基本事業01 主体的な学習活動の推進

指標	社会教育関係団体認定件数（件） 【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			92	83	83	● (低下)
評価	(状況) 前年と比較しても増減はありませんでした。総合計画基準値および目標値のいずれも達成することができませんでした。 (原因) コロナ禍の影響で団体が解散となったことにより、依然として停滞しています。	(件)	120			● (対前年度)
		100	100	100	100	● (横ばい)
		80				● (目標達成度)
		60				● (マイナス)
		40				
		20				
		0				

基本事業02 学習機会の提供と生涯学習施設の利用促進

指標	学習機会（テーマ・教室）が充実していると感じる市民の割合（%） 【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			7.8	6.5	7.2	● (低下)
評価	(状況) 令和6年度は7.2%で、基準値より0.6ポイント減少し、総合計画目標値10.0%には2.8ポイント届きませんでした。 (原因) コロナ禍のため学習機会となる講座や教室が実施できない状況でしたが、コロナ禍明けにおける市主催の講座や教室、イベントにおいては、多くの市民が参加しており、以前の現状まで戻りつつあります。	(%)	20			● (対前年度)
		16	16	16	16	● (向上)
		12				● (目標達成度)
		8				● (マイナス)
		4				
		0				

基本事業02 学習機会の提供と生涯学習施設の利用促進

指標	生涯学習施設の満足度（%） 【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			82.7	81.8	81.8	● (低下)
評価	(状況) 令和6年度は81.8%で、基準値より0.6ポイント減少し、総合計画目標値10.0%には3.2ポイント届きませんでした。 (原因) 多くの所管施設が老朽化によって施設の不具合が年々増加しており、修繕が追い付かない状況となっています。なお、施設設備への指標値はほぼ横ばい状態ですが、施設に関するクレームは実際に増加しており、市民が快適に利用できる施設を目指すためには早急な対応が必要と考えます。	(%)	100			● (対前年度)
		92	92	92	92	● (横ばい)
		84	84	84	84	● (目標達成度)
		76				● (マイナス)
		68				
		60				

基本事業02 学習機会の提供と生涯学習施設の利用促進

指標	この1年間に生涯学習施設を利用したことがある市民の割合(%) 【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値																													
		(%)	18.2	17.5	18.1	(横ばい)																													
評価	(状況) 令和6年度は18.1%で、基準値より0.1ポイント減少し、総合計画目標値20.0%には1.9ポイント届きませんでした。 (原因) 利用施設の多くが公民館と図書館という結果となっており、図書館についてはどの世代も利用しています。しかし公民館に関しては65歳以上が約6割を占めている現状であり、今後は若い世代が利用しやすい環境づくりが必要と考えます。	<table border="1"> <caption>生涯学習施設を利用した市民の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>18.2</td> <td>17.5</td> <td>18.1</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>17.5</td> <td>17.5</td> <td>17.5</td> <td>17.5</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>17.5</td> <td>17.5</td> <td>17.5</td> <td>17.5</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>17.5</td> <td>17.5</td> <td>17.5</td> <td>17.5</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>17.5</td> <td>17.5</td> <td>17.5</td> <td>17.5</td> </tr> </tbody> </table>	期間	R03	R04	R05	R06	基準	18.2	17.5	18.1	20.0	R03	17.5	17.5	17.5	17.5	R04	17.5	17.5	17.5	17.5	R05	17.5	17.5	17.5	17.5	R06	17.5	17.5	17.5	17.5			
期間	R03	R04	R05	R06																															
基準	18.2	17.5	18.1	20.0																															
R03	17.5	17.5	17.5	17.5																															
R04	17.5	17.5	17.5	17.5																															
R05	17.5	17.5	17.5	17.5																															
R06	17.5	17.5	17.5	17.5																															

基本事業03 スポーツに触れる機会の提供とスポーツ施設の利用促進

指標	スポーツ講座・教室・大会の年間参加者数(人) 【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値																														
		(人)	16,687	11,554	12,101	18,000	(低下)																													
評価	(状況) 令和6年度は12,101人となり、令和5年度より4.7ポイント上昇したものの、基準値より4,586人減少し、また目標値からも5,899人到達せず、基本計画目標値を達成することができませんでした。 (原因) 基本計画期間内に発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うスポーツ人口の影響(運動離れ)及び人口の減少に伴う定期利用団体所属人数の減少が影響しているものと考えられます。(スポーツ少年団の団員数は、令和元年度で1,001人でしたが、令和6年度で788人と21.3ポイント減少しています)	<table border="1"> <caption>スポーツ講座・教室・大会の年間参加者数 (人)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>16,687</td> <td>16,687</td> <td>16,687</td> <td>16,687</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>11,554</td> <td>11,554</td> <td>11,554</td> <td>11,554</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>11,554</td> <td>11,554</td> <td>11,554</td> <td>11,554</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>12,101</td> <td>12,101</td> <td>12,101</td> <td>12,101</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>12,101</td> <td>12,101</td> <td>12,101</td> <td>12,101</td> </tr> </tbody> </table>	期間	R03	R04	R05	R06	基準	16,687	16,687	16,687	16,687	R03	11,554	11,554	11,554	11,554	R04	11,554	11,554	11,554	11,554	R05	12,101	12,101	12,101	12,101	R06	12,101	12,101	12,101	12,101				
期間	R03	R04	R05	R06																																
基準	16,687	16,687	16,687	16,687																																
R03	11,554	11,554	11,554	11,554																																
R04	11,554	11,554	11,554	11,554																																
R05	12,101	12,101	12,101	12,101																																
R06	12,101	12,101	12,101	12,101																																

基本事業03 スポーツに触れる機会の提供とスポーツ施設の利用促進

指標	この1年間に生涯スポーツ施設を利用したことがある市民の割合(%) 【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値																														
		(%)	14.2	13.4	14.4	16.0	(横ばい)																													
評価	(状況) 令和6年度は14.4%となり、令和5年度よりも1.0ポイント、基準値より0.2ポイント微増となりましたが、目標値から1.6ポイント到達せず、基本計画目標値を達成することができませんでした。 (原因) 令和6年度のアンケートから分析すると、20歳から49歳までは平均20%、75歳以上は平均18.5%と目標値を上回る結果となっていますが、50歳から74歳までの平均は11.2%と目標値を下回る結果となっています。50歳代はスポーツに割く時間が不足し、60歳代以降は、体力・意識の変化により、以前と同じような運動が難しくなったことが要因と考えられます。	<table border="1"> <caption>生涯スポーツ施設を利用した市民の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>14.2</td> <td>14.2</td> <td>14.2</td> <td>14.2</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>13.4</td> <td>13.4</td> <td>13.4</td> <td>13.4</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>13.4</td> <td>13.4</td> <td>13.4</td> <td>13.4</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>14.4</td> <td>14.4</td> <td>14.4</td> <td>14.4</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>16.0</td> <td>16.0</td> <td>16.0</td> <td>16.0</td> </tr> </tbody> </table>	期間	R03	R04	R05	R06	基準	14.2	14.2	14.2	14.2	R03	13.4	13.4	13.4	13.4	R04	13.4	13.4	13.4	13.4	R05	14.4	14.4	14.4	14.4	R06	16.0	16.0	16.0	16.0				
期間	R03	R04	R05	R06																																
基準	14.2	14.2	14.2	14.2																																
R03	13.4	13.4	13.4	13.4																																
R04	13.4	13.4	13.4	13.4																																
R05	14.4	14.4	14.4	14.4																																
R06	16.0	16.0	16.0	16.0																																

基本事業03 スポーツに触れる機会の提供とスポーツ施設の利用促進

指標	生涯スポーツ施設の維持管理上の支障件数(市民に迷惑をかけた件数)(件) 【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値																														
		(件)	0	0	0	(向上)																														
評価	(状況) 生涯スポーツ施設の維持管理上の支障件数(市民に迷惑をかけた件数)は、0件となり、目標値及び基本計画目標値を達成しました。 (原因) 不具合が生じた際は修繕を行っており、求めているスポーツ施設環境が提供されていると、市民が感じていることが要因と思われます。	<table border="1"> <caption>生涯スポーツ施設の維持管理上の支障件数 (件)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	期間	R03	R04	R05	R06	基準	0	0	0	0	R03	0	0	0	0	R04	0	0	0	0	R05	0	0	0	0	R06	0	0	0	0				
期間	R03	R04	R05	R06																																
基準	0	0	0	0																																
R03	0	0	0	0																																
R04	0	0	0	0																																
R05	0	0	0	0																																
R06	0	0	0	0																																

基本事業04 文化財の保護・活用

指標	【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	0	0	0	(向上)
評価	(状況)令和6年度は0件で、指定文化財に毀損は認められておらず、総合計画開始以降0件を維持しており、順調です。 (原因)指定文化財が適切に管理されています。					(対前年度)
						(目標達成度)

基準	R03	R04	R05	R06
----	-----	-----	-----	-----

基本事業04 文化財の保護・活用

指標	【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	12.4	11.8	9.3	14.0
評価	(状況)令和6年度は9.3%で、令和5年度より2.5ポイント低下し、総合計画基準値より3.1ポイント下回りました。 (原因)展示物に大きな変化がなかったことや、夏季に猛暑が続く中、外出意欲が少なくなったことが原因であると考えられます。					(対前年度)
						(目標達成度)

基準	R03	R04	R05	R06
----	-----	-----	-----	-----

基本事業05 読書活動の推進

指標	【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(冊)	3.83	4.43	4.55	5.20
評価	(状況)令和6年度は4.55冊で、令和5年度より0.12冊増加しています。 (原因)計画的な図書の除籍により、蔵書数は微増です。					(対前年度)
						(目標達成度)

基準	R03	R04	R05	R06
----	-----	-----	-----	-----

基本事業05 読書活動の推進

指標	【生涯学習課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(冊)	2.05	2.40	2.37	3.00
評価	(状況)令和6年度は2.37冊で、令和5年度から1.3ポイント減少し、目標値に達しませんでした。 (原因)令和3年度からのパワーアップ事業により貸出冊数は増加傾向にありました。しかし、コロナ禍明けから一人当たりの貸出冊数が減少しています。外出時間が増え家で読む時間が減少していることが推測されます。					(対前年度)
						(横ばい)

基準	R03	R04	R05	R06
----	-----	-----	-----	-----

政策 06 市民協働の推進

施策 03 人権を尊重するひとづくり

あるべき姿

人権尊重の理念が根付き、差別や偏見のないまちになっています。

施策の成果状況と評価

指標	差別や偏見のないまちになっていると感じる市民の割合(%) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	52.2	50.5	54.3	60.0
評価	(状況)令和6年度は54.3%で令和5年度より3.8ポイント上昇しております。また、総合計画基準値よりも2.1ポイント上昇しております。 (原因)学校やイベントを通した教育啓発活動や一般市民への啓発機会が増えたことが要因と考えられます。	100 80 60 40 20 0	52.2 50.5 R03 R04 R05 R06	54.3	60.0	☀ (向上) ● (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 高齢者の人権擁護の推進

指標	高齢者虐待認知件数(件) 【高齢福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	22	8	2	
評価	本指標は成果ではなく、現状を把握するためのものです。 (状況) 基本計画期間を通して警察からの通報がいちばん多い現状です。警察は高齢者にかかわる相談ができるだけ市へ繋ぎ情報共有し重症化防止に取り組んでいます。 (原因) 事実確認の結果、夫婦間トラブルや高齢者虐待防止法の定義に該当せず、虐待ではないまたは判断できないケースが多くありました。	(件)	25	20		(比較不可)
		20	15			対前年度

期間	実績値(R05)	実績値(R06)
R03	22	8
R04	8	8
R05	8	10
R06	10	10

基本事業02 障がい者の人権擁護の推進

指標	障がい者虐待認知件数(件) 【社会福祉課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	0	12	14	
評価	本指標は成果ではなく、現状を把握するためのものです。 (状況) 虐待通報件数は14件で昨年度より2件増加しました。警察からの通報が9件で一番多いです。虐待判定は4件で家族によるものでした。施設職員からの虐待は0件でした。 (原因) 施設向け虐待防止研修会から施設内虐待が減少しました。通報の中で家族からの虐待が多いのは、家庭内不和や家族ケンカが要因です。障がい者の理解を啓発するとともに、関係者と情報共有をはかり、家族支援をはかることが必要です。家族支援についての研修を実施していきます。	(件)	20	16		(比較不可)
		16	12			対前年度

期間	実績値(R05)	実績値(R06)
R03	0	0
R04	12	12
R05	12	12
R06	14	14

基本事業03 子どもの人権擁護の推進

指標	児童虐待認知件数(件) 【健康推進課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	73	53	58	
評価	本指標は成果ではなく、現状を把握するためのものです。 (状況) 令和6年度58件で、令和元年度より15件減少しました。 (原因) 相談窓口の周知により、相談件数は増加傾向にあります。児童虐待防止の啓発により、児童虐待認知件数は減少したと考えられます。	(件)	100	80		(比較不可)
		80	60			対前年度

期間	実績値(R05)	実績値(R06)
R03	73	73
R04	53	53
R05	53	58
R06	58	58

基本事業03 子どもの人権擁護の推進

指標	いじめの認知件数(件) 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	141	249	282	
評価	本指標は成果ではなく、現状を把握するためのものです。 各年度の指標値は、1年前の値(公表時期による)	(件)	300	250		(比較不可)
	(状況) 小学校の認知件数は203件で、中学校の認知件数は79件でした。小中学校ともに認知件数が増えています。 (原因) いじめの定義が正しく理解されるようになり、被害者の心情に寄り添って「いじめ」を積極的に認知するようになっています。また、人権に対する意識が高まり、人権を傷つけるような言動も「いじめ」として認知するようになってきています。そのため、認知件数が増えています。いじめを見逃さず、人権を守ろうとする意識が増しています。	250	200			対前年度

期間	実績値(R05)	実績値(R06)
R03	141	141
R04	249	249
R05	249	282
R06	282	282

基本事業03 子どもの人権擁護の推進

指標	いじめの解消率（%） 【学校教育課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	92.1	72.7	81.2	傘(低下)
評価	各年度の指標値は、1年前の値（公表時期による） (状況)令和5年度の小学校のいじめ解消率は81.8%で、中学校のいじめ解消率は79.7%でした。基準値より10.9ポイント低下し、基本計画目標値96.0%に届きませんでした。 (原因)いじめの解消率について、児童生徒の様子をその後も注意深く見守り、慎重に判断するようになっています。3か月以上は見守り、本人及び保護者にその後の状況を直接聞いて解消の判断をしています。その結果、解消率が下がっていますが、安易に判断をしない意識が増しています。	100 80 60 40 20 0	85 75 80 70 78	85 75 80 70 78	96.0	対前年度 太陽(向上) 目標達成度 マイナス
		基準 R03 R04 R05 R06				

基本事業04 男女共同参画の推進

指標	固定的な性別役割分担意識を持つ市民の割合（%） 【企画財政課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	28.2	16.7	16.4	太陽(向上)
評価	(状況)固定的な性別役割分担意識を持つ市民の割合は、計画開始時点より11.8ポイント減少し、基本計画目標値22.0%を達成しました。 (原因)基本計画期間の毎年度の評価を通して、50歳台までの世代では一桁～10%台と低く、そこから年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られましたが、年々、75歳以上の割合についても低くなっています。男女共同参画についての市民全体の意識が変化してきていることが要因と考えられます。	100 80 60 40 20 0	30 25 20 18 15	25 20 18 15 18	22.0	対前年度 雲(横ばい) 目標達成度 山(達成)
		基準 R03 R04 R05 R06				

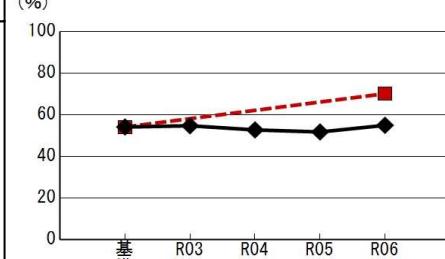
基本事業04 男女共同参画の推進

指標	家庭において男女共同参画を行っている市民の割合（%） 【企画財政課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	39.3	42.8	40.6	太陽(向上)
評価	(状況)家庭において男女共同参画を行っている市民の割合は、計画開始時点より1.3ポイント増加しましたが、基本計画目標値である45.0%には届きませんでした。 (原因)基本計画期間の毎年度の評価を通して、男性が40～50%台、女性が30%台で推移しており、女性が男性よりも15ポイント前後低い傾向がありました。近年は、男性の育児休業の取得促進や在宅勤務の普及により、男性も家事・育児に携わる機会が増えているものと捉えていますが、制度の活用が十分に広がっていないこと、また、男性の家庭での取組が期待する水準まで達していないことが考えられます。	100 80 60 40 20 0	38 39 40 41 42	38 39 40 41 42	45.0	対前年度 傘(低下) 目標達成度 低
		基準 R03 R04 R05 R06				

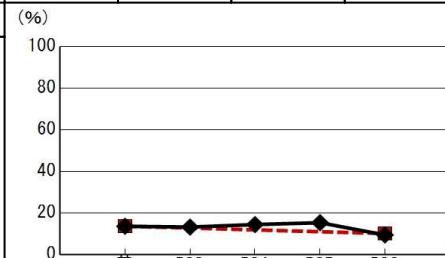
基本事業05 同和問題の意識の向上

指標	同和問題を知っている市民の割合（%） 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	33.0	31.7	34.5	45.0
評価	(状況)令和6年度は34.5%で、令和5年度より2.8ポイント増加となります。総合計画基準値より1.5ポイント上昇しております。 (原因)学校やイベントを通した教育啓発活動や一般市民への啓発機会が増えたことが要因と考えられます。	100 80 60 40 20 0	30 32 34 36 38	32 34 36 38 40	45.0	対前年度 太陽(向上) 目標達成度 低
		基準 R03 R04 R05 R06				

基本事業06 人権意識の向上

指標	水俣病に関する偏見・差別が存在することを知っている市民の割合(%) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	54.0	51.6	54.8	 (横ばい)
評価	(状況)令和6年度は、54.8%で、令和5年度より3.2ポイント上昇し、総合計画基準値より0.8ポイント上昇しております。 (原因)学校やイベントを通した教育啓発活動、一般市民への啓発により上昇したものと考えられます。		100 80 60 40 20 0	R03 R04 R05 R06	● (高)	 (横ばい)  (向上)  (低)

基本事業06 人権意識の向上

指標	この1年間に人権侵害を受けたことがある市民の割合(%) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	13.5	15.2	9.3	10.0  (向上)  (横ばい)
評価	(状況)令和6年度は9.3%で、令和5年度より5.9ポイント減少し、総合計画基準値より4.2ポイント減少しております。 (原因)令和6年度の内容は、女性の人権が33.3%で依然高い数値となっており、時代背景と世代による認識の違いが原因と考えられます。次に男性の人権が15.6%となっていますが、子どもの人権が前回の調査と比べ7.4ポイントと減少していることが大きな要因となっております。		100 80 60 40 20 0	R03 R04 R05 R06	● (高) ◆ (中) ○ (低)	 (横ばい)  (向上)  (達成)

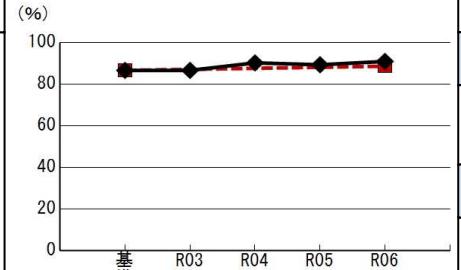
政策 06 市民協働の推進

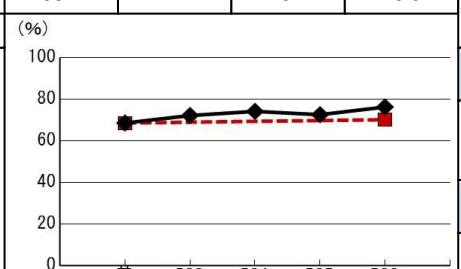
施策 04 開かれた市政の推進と効果的な情報発信

あるべき姿

広報・広聴や情報公開の仕組みが整い、開かれた行政になっています。

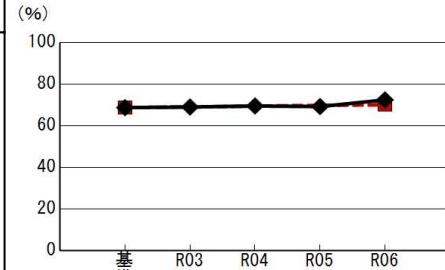
施策の成果状況と評価

指標	市からの情報提供に満足している市民の割合(%) 【市長政策・市民協働課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
		(%)	86.5	89.2	90.8	 (向上)	
評価	(状況)令和6年度は90.8%で、基準値を4.3ポイント上回り、目標値も達成しています。 (原因)満足している割合で「量」は91.7%、「質や内容」は89.9%となっており、どちらも前年度より上昇しています。各課でホームページやLINEでの情報発信を積極的に行っており、また、広報紙も一部ページをカラー化するなど、市民からより関心を持ってもらえるような取り組みを行いました。	 (%): 100, 80, 60, 40, 20, 0 基準: 86.5 R03: 89.2 R04: 90.8 R05: 88.5 R06: 90.8	86.5	89.2	90.8	88.5	 (向上)

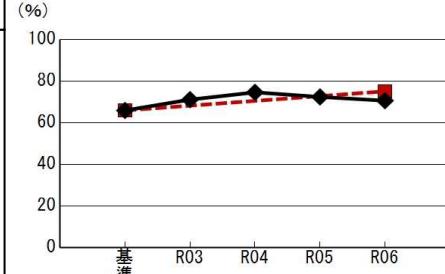
指標	市からの情報発信や広聴等により、開かれた行政になっていると感じる市民の割合(%) 【市長政策・市民協働課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
		(%)	68.4	72.4	76.1	70.0	 (向上)
評価	(状況)令和6年度は76.1%で、基準値を7.7ポイント上回り、目標値も達成しています。 (原因)60歳代以上では80%前後と高い割合ですが、50歳代以下では60%~70%台となっています。広報紙以外にも各課でホームページやLINEでの情報発信を積極的に行っており、全体の割合は上がりましたが、若い世代に響くような情報発信がまだ足りていないと考えます。パブリックコメントや市長へのたよりなども、まだ認識されていないと考えます。	 (%): 100, 80, 60, 40, 20, 0 基準: 68.4 R03: 72.4 R04: 76.1 R05: 70.0 R06: 76.1	68.4	72.4	76.1	70.0	 (向上)

基本事業の成果状況と評価

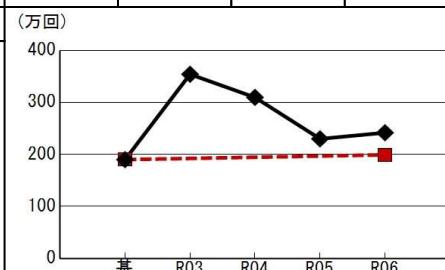
基本事業01 広報・広聴活動の充実

指標	広報紙で定期的に市政情報を見ている市民の割合(%) 【市長政策・市民協働課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	68.6	69.1	72.3	 (向上)
評価	(状況)令和6年度は72.3%で、基準値を3.7ポイント上回り、目標値も達成しました。 (原因)令和5年度より一部ページをカラー化し、写真や図・イラストなどを多く使うことで、読みやすく魅力的な紙面作成に取り組んだことにより、市民から手に取っていただく機会が増えたものと考えます。		68.6	69.1	72.3	 (向上)

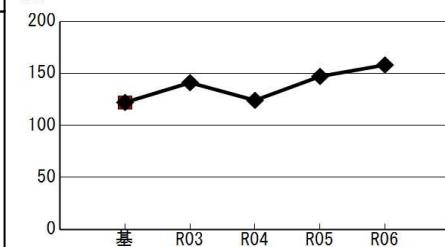
基本事業01 広報・広聴活動の充実

指標	ホームページの内容充実度(%) 【市長政策・市民協働課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(%)	65.8	72.3	70.5	 (向上)
評価	(状況)令和6年度は70.5%で、基準値を4.7ポイント上回りましたが、目標値には届きませんでした。 (原因)令和6年度は4月の市長選、8月の阿賀野市大花火大会の延期時、10月の市議選もあり、アクセス数では前年度を上回りましたが、充実度が目標値に届かなかったのは、情報の検索がしにくい、情報が古いままなどの状況もあり、市民が満足する内容になっていないことが考えられます。		65.8	72.3	70.5	 (向上)

基本事業01 広報・広聴活動の充実

指標	年間ホームページアクセス数(万回) 【市長政策・市民協働課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(万回)	189.8	229.7	241.5	 (向上)
評価	(状況)令和6年度のアクセス数は241.5万回で、基準値を上回り、目標値も達成しました。 (原因)令和6年度は4月の市長選、8月の阿賀野市大花火大会の延期時、10月の市議選もあったことから、アクセス数が増加したものと考えます。		189.8	229.7	241.5	 (向上)

基本事業01 広報・広聴活動の充実

指標	広聴等による意見・提案・質問数(件) 【市長政策・市民協働課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		(件)	122	147	158	 (比較不可)
評価	本指標は成果ではなく、活動推移を見るものです。 (状況)令和6年度に市長へのたよりとして寄せられた意見・提案・質問数は158件で、基準値を36件上回りました。 (原因)同じ投稿者から複数回、同じ内容で同時に複数人から投稿されたものが多く、増加しました。		122	147	158	 (比較不可)

基本事業01 広報・広聴活動の充実

指標	ブッシュ型メディア配信の登録者数(人) 【市長政策・市民協働課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		-	9,546	10,410	6,500	(比較不可)
評価	(状況)令和6年度のLINE登録者数は9,627人、Xのフォロワー数は783人、合計10,410人となり、目標値を達成しました。 (原因)LINEによる各課の情報発信が定着しており、配信頻度が向上し、登録者数が増加したと考えます。	(人)	12,000 10,000 8,000 6,000 4,000 2,000 0	■ ◆ ◆ ◆ ■	● ● ● ● ●	(比較不可) 対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 👑 (達成)

基本事業02 情報公開の充実

指標	不服申立てによる情報公開決定件数(件) 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況)計画期間中は、情報公開に関する不服申立てによる情報公開決定件数は、0件を維持しており、順調であり、目標を達成しています。 (原因)根拠法令等の提示や丁寧な説明を行うなど適正な運用がなされていると考えられます。	(件)	■ ◆ ◆ ◆ ■	● ● ● ● ●	☀ (向上) 対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 👑 (達成)	

基本事業03 市民等による情報発信の推進

指標	この1年間で知人・友人に對し、阿賀野市への居住・観光を勧めたことのある市民の割合(%) 【企画財政課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		20.1	13.3	12.8	25.0	☂ (低下)
評価	(状況)この1年間で知人・友人に對し、阿賀野市への居住・観光を勧めたことのある市民の割合は、計画開始時点より7.3ポイント減少の12.8%であり、順調ではなく、基本計画開始時点の基準値を下回りました。 (原因)基本計画期間の毎年度の評価を通して、「勧める機会がなかった」という回答が大半を占めている特徴がみられました。新型コロナウイルス感染症の影響で他地域の人と会う機会を控えたことで新たな生活様式の考え方が広まり、現時点でも人と会う機会を抑えている傾向があると思われます。	(%)	40 32 24 16 8 0	■ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆	● ● ● ● ● ●	☂ (低下) 対前年度 ☂ (低下) 目標達成度 ⬇ (マイナス)

基本事業03 市民等による情報発信の推進

指標	市公式SNSのフォロワー数(人) 【市長政策・市民協働課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		-	2,080	2,499	3,700	(比較不可)
評価	(状況)令和6年度のInstagramフォロワー数は1,716人、Xのフォロワー数は783人、合計2,499人となり、前年度よりも増加しましたが、まだ目標値には達していません。 (原因)インスタグラムは更新回数も増やし、テレビ放映や観光大使の情報などを掲載することで、フォロワー数が増加したものと考えます。Xは安全安心メールの配信情報が主ですが、クマやイノシシの目撃情報なども多かったことから、安全安心メール登録者以外の方も情報を得るために登録していただいたこともあります。	(人)	4,000 3,000 2,000 1,000 0	■ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆	● ● ● ● ● ●	(比較不可) 対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 █ (中)

政策 7

信頼される行政経営

P 108～P 116

施策 1. 行政経営の推進

施策 2. 適切な事務執行とサービス提供

政策 07 信頼される行政経営

施策 01 行政経営の推進

あるべき姿

効率的・効果的な行財政運営が行われています。

施策の成果状況と評価

指標	効率的・効果的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合(%) 【企画財政課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
		(%)	45.9	49.7	52.9	☀ (向上)	
評価	(状況)効率的・効果的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合は、計画開始時点より7ポイント向上しましたが、基本計画目標値に届きませんでした。 (原因)基本計画期間の毎年度の評価を通して、年齢別では40~50歳台で評価が低い傾向がみられました。また、地区別では、笠神地区では他地区と比べてやや評価が低い傾向にありました。職業別では、ほとんどの職業では肯定的な評価でしたが、会社員、公務員などの評価は低い傾向が見られ、目標値まで届かなかった要因と考えられます。	100 80 60 40 20 0	45.9	49.7	52.9	70.0	☀ (向上)
		対前年度	目標達成度	基準	R03	R04	R05

指標	総合計画の施策成果指標の向上割合(%) 【企画財政課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値	
		(%)	36.5	46.3	60.4	100	☀ (向上)
評価	(状況)基本計画に掲げた27施策に係る成果指標のうち、基準値より成果が向上している指標の割合は、60.4%となり、総合計画基準値から23.9ポイント向上しましたが、基本計画目標値に届きませんでした。 (原因)政策全体的に成果指標の向上が見られ、特に「安全・安心な暮らしの実現」「生活に密着した住環境整備の促進」「市民協働の推進」の分野で向上した指標が多くありました。 後期基本計画からの新規指標	100 80 60 40 20 0	36.5	46.3	60.4	100	☀ (向上)
		対前年度	目標達成度	基準	R03	R04	R05

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 成果重視の行政経営の推進

指標	総合計画の基本事業成果指標の向上割合（%） 【企画財政課】	対象は、目標達成度の算出が可能な106基本事業です。	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値											
			54.2	53.2	57.8	100	太陽 (向上)											
評価	<p>（状況）目標達成度の算出が可能な106基本事業に係る成果指標のうち、総合計画基準値より成果が向上している指標の割合は57.8%となり、総合計画基準値から3.6ポイント向上しましたが、基本計画目標値には届きませんでした。</p> <p>（原因）計画期間を通して、新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限され、成果指標が伸び悩む状況が続きましたが、着実に行政経営の考え方に基づく取組を進めてきたことで、新型コロナウイルスの影響緩和に伴い、最終的には成果の上積みを図ることができたと思われます。</p> <p>後期基本計画からの新規指標</p>	<table border="1"> <caption>Data for Line Chart</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>目標達成度 (%)</th> <th>実績 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>55</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>60</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>60</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>100</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	年	目標達成度 (%)	実績 (%)	R03	55	50	R04	60	50	R05	60	55	R06	100	60	(%)
年	目標達成度 (%)	実績 (%)																
R03	55	50																
R04	60	50																
R05	60	55																
R06	100	60																

基本事業01 成果重視の行政経営の推進

基本事業01 成果重視の行政経営の推進

基本事業01 成果重視の行政経営の推進

基準事業01 成果重視の行政経営の促進		総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値									
指標	行政評価と予算・決算が連動していると感じる職員の割合(%)														
	【企画財政課】	48.4	57.6	64.3	100	太陽 (向上)									
		(%)													
評 価	<p>(状況) 行政評価と予算・決算が連動していると感じる職員の割合は、計画開始時点より15.9ポイント向上しましたが、基本計画目標値に届きませんでした。</p> <p>(原因) 基本計画期間を通して、行政経営システムによる評価・検証作業と、それに伴う事業の構築・見直しが次年度予算と連動していくことが定着してきているとみられます。年代別では、25～34歳がこれまで40%台だったものが50%台へと向上しており、主に実務を担う年代でも定着が進みつつあるものと思われます。</p>	<table border="1"> <caption>Line Chart Data</caption> <thead> <tr> <th>Quarter</th> <th>Actual Value (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	Quarter	Actual Value (%)	R03	48	R04	55	R05	55	R06	65			太陽 (向上)
Quarter	Actual Value (%)														
R03	48														
R04	55														
R05	55														
R06	65														
						対 前年度									
						太陽 (向上)									
						目標 達成度									
						■ (低)									

基本事業02 健全な財政運営の推進

指標	実質公債費比率(%)	【企画財政課】				対基準値			
		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)				
評価	(状況)令和6年度は9.4%で、前年度より0.4ポイント低下し、健全な状況を堅持しています。 (原因) 笠神体育館整備事業や笠神中学校耐震改修事業に係る市債の償還完了に伴う元利償還金の減少（1億8千万円）や、あがの市民病院整備事業のために借入した企業債の元利償還金に係る一般会計から病院事業会計への繰入金の減少（1億4千万円）により、分子構造が減少したことに加え、普通交付税等の増に伴い、分母である標準財政規模が増加したことでの、単年度比率が2.0ポイント減少したことから、3か年平均でも低下につながった。	8.9	9.8	9.4	11.3	傘(低下)			
		(%)	12	10	8	6	4	2	0
			■	■	■	■	■	■	■
			R03	R04	R05	R06			
			基準						

基本事業02 健全な財政運営の推進

指標	将来負担比率(%)	【企画財政課】				対基準値				
		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)					
評価	(状況)令和6年度は66.6%で、前年度より8.2ポイント悪化しましたが、計画期間を通じて目標を達成しています。 (原因) 堅調に増える寄附金を積立したふるさと基金や、財政調整基金への積立（全体で5億6千万円）をしたもの、広域ごみ処理施設整備事業及び京ヶ瀬学校給食センター整備事業に係る一般会計における借入残高の増（24億5千万円）や、五泉地域衛生施設組合における借入残高の増に伴う将来的な組合負担金の増加（2億4千万円）に伴い、比率が上昇することになりました。なお、財政計画でもこの比率上昇を見込んでおり、想定の範囲内での推移であります。	135.2	58.4	66.6	139.6	太陽(向上)				
		(%)	140	120	100	80	60	40	20	0
			■	■	■	■	■	■	■	■
			R03	R04	R05	R06				
			基準							

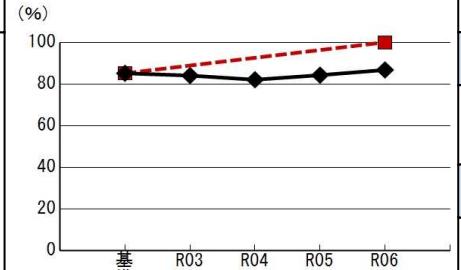
基本事業02 健全な財政運営の推進

指標	財政調整基金残高比率(%)	【企画財政課】				対基準値				
		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)					
評価	災害などに対応するため、一定規模を確保するものです。	15.6	19.6	22.2	20.0	太陽(向上)				
	(状況)令和6年度は22.2%で、前年度より2.6ポイント向上しており、計画どおり最終年度の目標を達成しました。 (原因) 各種事業を予定どおり推進したことにより、国税収入の上振れ等に伴う普通交付税の追加交付を有効に活用することで、前年度同様に10億円規模の単年度収支が見込まれたため、残高比率20%を達成するために必要な3億8千万円を積立し、目標値達成につなげました。 近年頻発する地震や、昨今の物価高騰等、万が一の災害時に市民を守るために柔軟な活用が必要とされることから、引き続き、残高比率20%の堅持に努めます。	(%)	25	20	15	10	5	0		
			■	■	■	■	■	■	■	■
			R03	R04	R05	R06				
			基準							

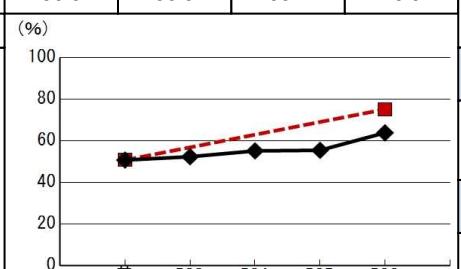
基本事業03 組織・人事マネジメントの充実

指標	職員数(人)	【総務課】				対基準値	
		総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)		
評価	(状況)令和6年度の職員数は451人で、総合計画基準値より17人減少し、阿賀野市定員適正化計画の令和6年度計画値である461人を下回り、目標を達成しました。 (原因) 基本計画期間内において、退職者数が新規採用者及び再任用者数を上回ったことが要因です。	468	462	451	461	太陽(向上)	
		(人)	480	460	440	420	400
			■	■	■	■	■
			R03	R04	R05	R06	
			基準				

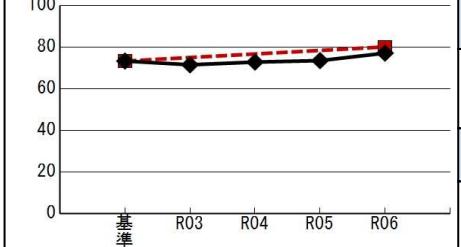
基本事業03 組織・人事マネジメントの充実

指標	市の職員がそれぞれの職責を果たしていると感じる職員の割合 (%) 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			85.1	84.2	86.7	○(横ばい)
評価	(状況)令和6年度は86.7%で、総合計画基準値より1.6ポイント向上しましたが、総合計画目標値100%には届きませんでした。 (原因)基本計画期間では、指標値はほぼ横ばいとなっており、平均して8割の職員は概ね職責を果たしていると認識しています。一方で、25歳から44歳までの階層が指標値より低い傾向となっています。部署や年齢によって意識の差がある等の不満を感じている職員が少なからずいることが要因と思われます。	(%) 	84.2	86.7	100	○(横ばい)

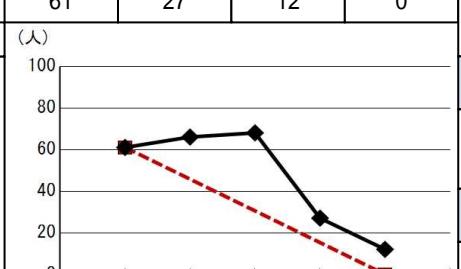
基本事業03 組織・人事マネジメントの充実

指標	組織間・組織内連携が十分に図られていると感じる職員の割合 (%) 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			50.6	55.3	63.7	○(向上)
評価	(状況)令和6年度は63.7%で、総合計画基準値より13.1ポイント向上しましたが、総合計画目標値75%には届きませんでした。 (原因)基本計画期間を通して、情報共有し事務を遂行している、協力相談体制が整っていると肯定意見がある一方で、組織間連携の不十分さに対する否定意見がありました。	(%) 	55.3	63.7	75.0	○(向上)

基本事業03 組織・人事マネジメントの充実

指標	組織・職員が市民・地域の問題や行政課題に対応し、迅速かつ適切に対応・解決できていると感じる職員の割合 (%) 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			73.2	73.4	77.0	○(向上)
評価	(状況)令和6年度は77.0%で、総合計画基準値より3.8ポイント向上しましたが、総合計画目標値80%には届きませんでした。 (原因)基本計画期間を通して、多くの職員は市民・地域の問題や行政課題に対し、迅速、誠実に対応していると感じていますが、一方で、問題や課題が多岐に渡り対応が困難であること、人員不足や業務多忙等のため、すべてが迅速に対応できないと感じている職員がいることが要因と思われます。	(%) 	73.4	77.0	80.0	○(向上)

基本事業03 組織・人事マネジメントの充実

指標	年次有給休暇の取得が年間5日未満の職員数(人) 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
			61	27	12	○(向上)
評価	(状況)令和6年度は12人で、総合計画基準値より49人減となりましたが、総合計画目標値0人は達成できませんでした。 (原因)総合計画期間を通して、特定事業主行動計画の年次有給休暇の取得目標数値や、休暇取得の促進の周知を積極的に行なったことが要因の一つだと思われます。	(人) 	61	27	12	○(向上)

基本事業04 公共施設等のマネジメントの推進

指標	公共建築物の保有量（面積）(m ²) 【管財課】	総合計画基準値 (R05)	実績値(R06)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
						(m ²)
評価	(状況) 公有建築物の保有量(面積)は、基準値より752.39m ² 減少しましたが、基本計画目標値には届きませんでした。 (原因) 基本計画期間では、「五頭の麓のくらし館」の解体や分田小学校、安田幼稚園の閉校等により普通財産となつことから減少もありましたが、「道の駅あがの」の新築や「旧前山小学校体育館」を行政財産に財産分類訂正したこと、阿賀北広域組合からの財産移管等により増加したことが主な要因です。	186,430.78	185,676.21	185,678.39	183,430.78	☀ (向上) ● (対前年度) ☁ (横ばい) ■ (目標達成度) ■ (低)

基本事業05 行政のデジタル化の推進

指標	I C T等を活用した住民サービス事業数及び業務改善件数(計画期間累計)(件) 【企画財政課】	総合計画基準値 (R05)	実績値(R06)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
						(件)
評価	(状況) 令和6年度は81件で、前年度より14件増加、目標値とした20件を大きく上回る成果となりました。前年度からの増加の内訳は、汎用的電子申請システムの活用業務が8件、その他ICTを活用した業務改善が6件となりました。 (原因) 汎用的電子申請システムの導入によって大きな効果が得られました。その他の取組を含め、DX推進計画に基づく取組み事項を着実に実施したことが主な要因です。後期基本計画からの新規指標	67	81	20		● (比較不可) ☀ (向上) ■ (目標達成度) ■ (達成)

基本事業06 移住・定住の促進

指標	移住・定住ホームページアクセス数(件) 【企画財政課】	総合計画基準値 (R05)	実績値(R06)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
						(件)
評価	(状況) 移住・定住ホームページアクセス数は、計画開始時点より32,358件減少の11,973件であり、順調ではなく、基本計画開始時点の基準値を下回りました。 (原因) 基本計画期間では、移住・定住専門サイトから「あがのライフ」のバナーが一時的に外れたことがあり、再度バナー表示を復活させた後も、以前のアクセス数には回復していません。本サイトにアクセスしても、中のページまで閲覧せずに離脱した割合(直帰率)が高いことから、ファーストビューが検索ニーズを満たしていないことや情報更新回数が少ないことが要因と考えられます。	44,331	13,112	11,973	50,000	☂ (低下) ☂ (低下) ■ (目標達成度) ⬇ (マイナス)

基本事業06 移住・定住の促進

指標	15歳から64歳までの転出超過数(人) 【企画財政課】	総合計画基準値 (R05)	実績値(R06)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
						(人)
評価	(状況) 15歳から64歳までの転出超過数は、計画開始時点より107人減少し、基本計画目標値150人を達成しました。 (原因) 基本計画期間を通して、職業・学業を理由とした転出超過がありました。一方で、住宅・家族を理由とするものは転入超過の状況が継続しており、住宅整備や子育て環境の魅力が転入を後押ししていると思われます。転出・転入両面において、転出超過の抑制が図られているものと考えられます。	249	30	142	150	☀ (向上) ☂ (低下) ■ (目標達成度) ■ (達成)

政策 07 信頼される行政経営

施策 02 適切な事務執行とサービス提供

あるべき姿

職員が適切な事務執行を行い、行政サービスが提供されています。

施策の成果状況と評価

指標	適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数（件） 【総務課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		0	0	0	0	 (向上)
評価	(状況) 令和6年度は0件で昨年度に引き続き0件でした。 (原因) 職位職階に応じたコンプライアンス研修の実施や各課・局における内部統制及び心理的安全性の確保を含むコミュニケーションが徐々に改善されてきたものと考えられます。	(件)	0	1	0	 (向上)  (達成) 対前年度 目標達成度

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 情報の適切な管理

指標	情報漏えい件数(件) 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値
		0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 総合計画開始以降0件を維持しており、順調であり、目標値を達成しています。 (原因) 各課局において情報管理の徹底が図られている成果と考えられます。	(件)				(達成)

基本事業02 課税徴収事務の適正執行

指標	市税収納率(%) 【税務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値										
		94.76	95.94	95.69	96.02	(向上)										
評価	(状況) 市税収納率は、基準値より0.93ポイント増加しましたが、基本計画目標値である96.02%に届きませんでした。 (原因) 納税相談や個々の状況把握に努め、催告書等を適宜発送し、積極的な滞納整理(財産調査や差押え、公売、捜索など)を推進しましたが、新型コロナウイルス感染症や物価高などの影響により納付困難案件が増加したことが要因と考えられます。	(%) <table border="1"> <caption>月別市税収納率</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R03</td><td>94.76</td></tr> <tr><td>R04</td><td>95.94</td></tr> <tr><td>R05</td><td>95.69</td></tr> <tr><td>R06</td><td>96.02</td></tr> </tbody> </table>	期間	実績値 (%)	R03	94.76	R04	95.94	R05	95.69	R06	96.02				(達成)
期間	実績値 (%)															
R03	94.76															
R04	95.94															
R05	95.69															
R06	96.02															

基本事業03 出納事務の適正執行

指標	会計事務処理における誤払い・支払い遅延件数(件) 【会計課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値										
		0	0	0	0	(向上)										
評価	(状況) 令和6年度は0件で、総合計画基準値と変わりなく、順調です。 (原因) 会計事務処理における誤払い・支払い遅延はありませんでした。常に正確かつ適正な出納事務に努めたことにより、適正な事務執行に努めている成果と考えられます。 後期基本計画からの新規指標	(件) <table border="1"> <caption>月別誤払い・支払い遅延件数</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R03</td><td>0</td></tr> <tr><td>R04</td><td>2</td></tr> <tr><td>R05</td><td>0</td></tr> <tr><td>R06</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	期間	実績値(件)	R03	0	R04	2	R05	0	R06	0				(達成)
期間	実績値(件)															
R03	0															
R04	2															
R05	0															
R06	0															

基本事業04 積極的な選挙啓発と適正な選挙事務の執行

指標	各種選挙の管理執行上の問題件数(件) 【市民生活課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値										
		0	0	1	0	(低下)										
評価	(状況) 令和6年4月21日執行阿賀野市長選挙及び阿賀野市議会議員補欠選挙は管理執行上の問題はありませんでした。令和6年10月27日執行衆議院議員総選挙においては管理執行上のミス1件がありました。同日執行の阿賀野市議会議員一般選挙は問題ありませんでした。 (原因) 在外選挙人から投票用紙の請求を受けた職員が請求を失念したことが原因です。	(件) <table border="1"> <caption>月別選挙事務問題件数</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R03</td><td>0</td></tr> <tr><td>R04</td><td>2</td></tr> <tr><td>R05</td><td>0</td></tr> <tr><td>R06</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	期間	実績値(件)	R03	0	R04	2	R05	0	R06	1				(マイナス)
期間	実績値(件)															
R03	0															
R04	2															
R05	0															
R06	1															

基本事業05 迅速・確実な窓口サービスの提供

指標	窓口の職員対応に満足している市民の割合（%） 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値									
		(%)	90.6	92.2	93.0	95.0	☀ (向上)								
評価	<p>（状況）令和6年度は93.0%で、令和5年度から0.8ポイント増加し、総合計画基準値より2.4ポイント増加し順調です。</p> <p>（原因）職員一人ひとりがより良い接遇に努めることや満足度の向上に取り組んだものと考えられます。年々、少しずつ向上しているものの、目標値には至っていないため、引き続き市民目線での接遇向上のほか、わかりやすい窓口の配置や手続きの簡便さについても検討していく必要があります。</p>	<table border="1"> <caption>窓口の職員対応に満足している市民の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>90.6</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>92.2</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>93.0</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値 (%)	R03	90.6	R04	92.2	R05	93.0	R06	95.0	80 60 40 20 0	R03 R04 R05 R06	☀ (向上) ● (達成)
期間	実績値 (%)														
R03	90.6														
R04	92.2														
R05	93.0														
R06	95.0														

基本事業05 迅速・確実な窓口サービスの提供

指標	窓口業務での不適切な事務処理を行った件数（綱紀委員会の指摘件数）(件) 【総務課】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値									
		(件)	0	0	0	☀ (向上)									
評価	<p>（状況）令和6年度は0件で、総合計画開始以降0件を維持しております。順調です。</p> <p>（原因）各窓口において、適切な事務処理に努めている成果と考えられます。不適正な事務処理を減少させるには、各課はもとより組織全体のガバナンス体制を構築し、より強化していく必要があるため、管理職や管理職以外など、役割に応じた研修を継続的に実施していく必要があります。</p>	<table border="1"> <caption>窓口業務での不適切な事務処理を行った件数 (件)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値 (件)	R03	0	R04	0	R05	0	R06	0	0 0 0 0	R03 R04 R05 R06	☀ (向上) ● (達成)
期間	実績値 (件)														
R03	0														
R04	0														
R05	0														
R06	0														

基本事業06 監査事務の適正執行

指標	法令等に基づく監査事務処理を怠った件数(件) 【監査委員事務局】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値									
		(件)	0	0	0	☀ (向上)									
評価	<p>（状況）令和6年度は0件で、総合計画開始以降0件を維持しております。順調です。</p> <p>（原因）法令等に基づき適正に執行されるよう常に心掛けていることが要因です。</p>	<table border="1"> <caption>法令等に基づく監査事務処理を怠った件数 (件)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値 (件)	R03	0	R04	0	R05	0	R06	0	0 0 0 0	R03 R04 R05 R06	☀ (向上) ● (達成)
期間	実績値 (件)														
R03	0														
R04	0														
R05	0														
R06	0														

基本事業07 議会事務の適正執行

指標	議会運営に支障をきたした事案数(件) 【議会事務局】	総合計画基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R06)	対基準値									
		(件)	0	0	0	☀ (向上)									
評価	<p>（状況）令和6年度は0件でした。</p> <p>（原因）法令等に基づき、適正な議会事務処理に努めている成果と考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>議会運営に支障をきたした事案数 (件)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	期間	実績値 (件)	R03	0	R04	1	R05	0	R06	0	0 1 0 0	R03 R04 R05 R06	☀ (向上) ● (達成)
期間	実績値 (件)														
R03	0														
R04	1														
R05	0														
R06	0														

基本事業08 情報システムの適切な管理

指標	システムダウン件数（件） 【企画財政課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 総合計画開始以降、0件を維持しており、順調であり、総合計画目標値を達成しています。 (原因) 定期的にシステム及び機器等のメンテナンス作業を実施するなどして、適正な管理に努めている成果と考えられます。	(件)				★★ (達成)

基本事業08 情報システムの適切な管理

指標	ウイルス感染件数（ウイルス対策ソフトで駆除されたものは除く。） （件） 【企画財政課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 総合計画開始以降、0件を維持しており、順調であり、総合計画目標値を達成しています。 (原因) ソフト面（研修や通知等により職員のセキュリティに対する行動や意識が浸透）及びハード面（常時ウイルス検知ソフト・機器により監視）の両方が効果的に機能している成果と考えられます。	(件)				★★ (達成)

参考

第2期阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略における横断的目標

P 118～P 120

横断的目標 1. 多様な人材の活躍を推進する

横断的目標 2. 新しい時代の流れを力にする

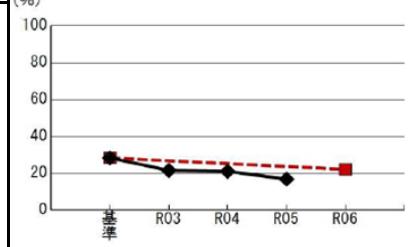
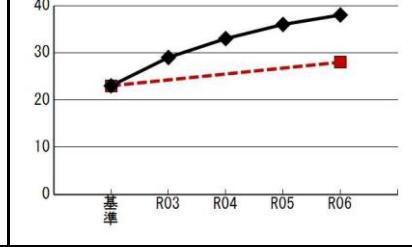
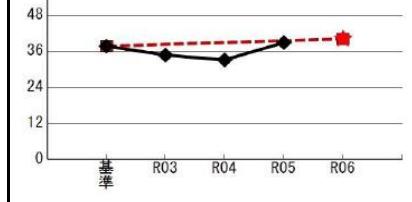
参考 第2期阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略における横断的目標

横断的目標 1 多様な人材の活躍を推進する

基本的方向

性別・障がいの有無・年齢に関わらず、誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を目指します。

■目標に対する成果状況と評価

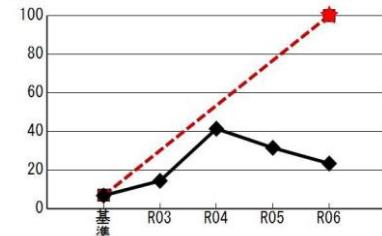
指標 ①	固定的な性別役割分担意識を持つ市民の割合 (%) 【企画財政課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		28.2	16.7	16.4	22	 (向上)
評 価	(状況)固定的な性別役割分担意識を持つ市民の割合は、計画開始時点より11.8ポイント減少し、基本計画目標値22.0%を達成しました。 (原因)基本計画期間の毎年度の評価を通して、50歳台までの世代では一桁～10%台と低く、そこから年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られましたが、年々、75歳以上の割合についても低くなっています。男女共同参画についての市民全体の意識が変化してきていることが要因と考えられます。		(%) 100 80 60 40 20 0	R03 R04 R05 R06	基準	 (横ばい)  (対前年度)  (達成度)  (達成)
指標 ②	就労訓練施設から就職し、1年以上働き続けている障がい者数 (人) 【社会福祉課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		23	36	38	28	 (向上)
評 価	(状況)就労訓練施設から就職し、1年以上働き続けている障がい者数は、基準値/計画開始時点より15人増加し、基本計画目標値28人を達成しました。 (原因)基本計画期間では、就労に関する相談が増加しています。毎年1～5人が就労しており、就労移行支援や就労定着支援などのサービスを利用し適切な支援が行われたことが要因と考えられます。		(人) 40 30 20 10 0	R03 R04 R05 R06	基準	 (向上)  (対前年度)  (達成度)  (達成)
指標 ③	社会参加・交流している高齢者の割合 (サロン、老人クラブ) (%) 【高齢福祉課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
		37.6	38.8	37.7	40	 (横ばい)
評 価	(状況)社会参加・交流している高齢者の割合は、基準値より0.1ポイント向上しましたが、基本計画目標値には届きませんでした。 (原因)数年前と比べ就労している方は増えています。また、ほぼ毎日、または週に数回外出する方も増えつつあります。一方、コロナ禍を経て活動を再開するサロンもありますが、ボランティアや参加者の高齢化等で終了となったところも多く、外出機会を保つ、増やすにはどのような手法が有効なのかを考え実践していく必要があります。		(%) 60 48 36 24 12 0	R03 R04 R05 R06	基準	 (低下)  (対前年度)  (達成度)  (低)

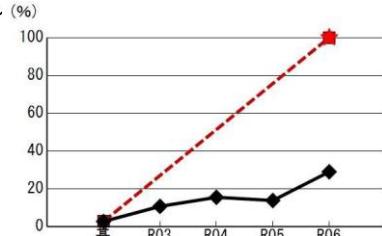
横断的目標 2 新しい時代の流れを力にする

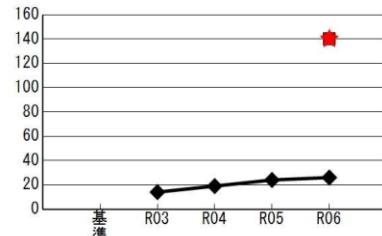
基本的方向

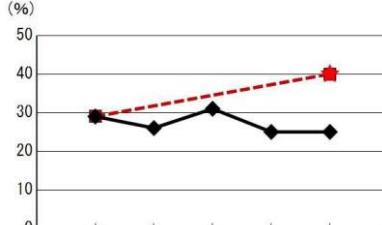
学力向上や農業技術向上、市内外の公共交通の利便性の向上など、幅広い分野で未来技術を活用します。

■目標に対する成果状況と評価

指標①	授業でコンピュータなどのICTを使用している割合(児童)(%) 【学校教育課】	総合計画基準値 6.7	実績値(R05) 31.4	実績値(R06) 23.3	目標値(R06) 100	対基準値  (向上)
評価	小学6年生の結果です。 (状況)「全国学力・学習状況調査質問紙」の「ほぼ毎日授業でコンピュータなどのICTを使用している児童の割合」が、令和6年度は23.3%となり、令和5年度より8.1ポイント低下、総合計画基準値より16.6ポイント向上しましたが目標値の100%には届きませんでした。 (原因)GIGAスクール構想によって整備された児童一人一台のタブレット端末や電子黒板の活用は推進されていますが、100%の達成にはもう少し時間を要すると考えられます。 ※後期基本計画からの新規指標	(%)  R03: 10, R04: 40, R05: 25, R06: 20				

指標①	授業でコンピュータなどのICTを使用している割合(生徒)(%) 【学校教育課】	総合計画基準値 2.6	実績値(R05) 13.7	実績値(R06) 28.9	目標値(R06) 100	対基準値  (向上)
評価	中学3年生の結果です。 (状況)「全国学力・学習状況調査質問紙」の「ほぼ毎日授業でコンピュータなどのICTを使用している生徒の割合」が、令和6年度は28.9%で、令和5年度より15.2ポイント向上、総合計画基準値より26.3ポイント向上しましたが目標値の100%には届きませんでした。 (原因)GIGAスクール構想によって整備された児童一人一台のタブレット端末や電子黒板の活用は推進されていますが、100%の達成にはもう少し時間を要すると考えられます。 ※後期基本計画からの新規指標	(%)  R03: 5, R04: 10, R05: 10, R06: 25				

指標①	スマート農業やデジタル技術を活用した経営に取り組む農業者(計画期間内累計)(人) 【農林課】	総合計画基準値 24	実績値(R05) 26	実績値(R06) 140	目標値(R06) 140	対基準値  (比較不可)
評価	(状況)スマート農業等に取り組む農業者は2人増加し、累計26人となり、基本計画目標値には届きませんでした。 (原因)農業者がスマート農業機械を導入する際、補助事業の活用を支援したことなどから、指標値は増加基調ではありますか、新規取組者が想定より増加しなかったことが要因です。	(人)  R03: 10, R04: 15, R05: 20, R06: 25				

指標①	労働生産性が向上している企業の割合(%) 【商工観光課】	総合計画基準値 29	実績値(R05) 25	実績値(R06) 25	目標値(R06) 40	対基準値  (低下)
評価	(状況)労働生産性が向上している企業の割合は、基準値より4%減少の25%であり、順調でなく、基本計画開始時点の基準値を下回りました。 (原因)基本計画期間では、売上高及び労働生産人口の減に伴う従業者数の減少によるものと考えます。	(%)  R03: 30, R04: 30, R05: 25, R06: 25				

指標 ①	ICT等を活用した住民サービス事業数及び業務改善件数(計画期間累計)(件) 【企画財政課】	総合計画 基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R06)	対 基準値
			67	81	20	(比較不可)
評価	(状況)令和6年度は81件で、前年度より14件増加、目標値とした20件を大きく上回る成果となりました。前年度からの増加の内訳は、汎用的電子申請システムの活用業務が8件、その他ICTを活用した業務改善が6件となりました。 (原因)汎用的電子申請システムの導入によって大きな効果が得られました。その他の取組を含め、DX推進計画に基づく取組み事項を着実に実施されました。 ※後期基本計画からの後期基本計画からの新規指標	(件)	100	80	60	20

The chart illustrates the performance of the indicator over four periods (R03 to R06). The Y-axis represents the number of items (件), ranging from 0 to 100. The X-axis represents the period (R03, R04, R05, R06). The data points show a significant increase from R03 to R05, reaching the target value of 20, and then slightly increasing to 81 at R06.

Period	Actual Value (件)	Target Value (件)
R03	10	20
R04	15	20
R05	67	20
R06	81	20





阿賀野市まちづくり報告書

令和7年10月

発行／阿賀野市

編集／総務部企画財政課

〒959-2092 新潟県阿賀野市岡山町10番15号

TEL:0250-62-2510

<http://www.city.agano.niigata.jp>